

# 奈良県立医科大学概要

令和4年度



公立大学法人

奈良県立医科大学



公立大学法人  
奈良県立医科大学

## 建学の精神

平成 29 年 4 月 4 日：制定

最高の医学と最善の医療をもって地域の安心と社会の発展に貢献します

## 大学の理念

平成 6 年 3 月 8 日：制定  
平成 17 年 12 月 13 日：改正

本学は、医学、看護学およびこれらの関連領域で活躍できる人材を育成するとともに、国際的に通用する高度の研究と医療を通じて、医学および看護学の発展を図り、地域社会さらには広く人類の福祉に寄与することを理念とする。

## 各分野の理念と方針

平成 29 年 4 月 4 日：制定

### 教 育

**理念** 豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

- 方針**
- 1 良き医療人育成プログラムの実践
  - 2 教員の教育能力開発と教育の質保証
  - 3 教育全般に関する外部有識者評価と学生参加の推進
  - 4 学習環境と教育環境の充実

### 研 究

**理念** 研究の成果を患者への最善の医療に生かし奈良県民の健康増進を図るとともに、最先端の研究により医学の進歩に貢献します。

- 方針**
- 1 研究基本方針の明確化
  - 2 研究推進体制の効率化と強化
  - 3 研究の外部評価の導入
  - 4 奈良県民の健康増進への貢献

### 診 療

**理念** 患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

- 方針**
- 1 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践
  - 2 奈良県内基幹病院としての機能の充実
  - 3 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進
  - 4 各領域の担い手となる医療人の育成

### 法人運営

**理念** 最高の医学の追究、最善の医療の追求を使命として、互いに連携しながら自らの職務に誇りと情熱をもって取り組み、課題に対して自ら行動できる人材を確保・育成することで、教育・研究・診療の理念を実現し、発展し続ける法人運営を実践します。

- 方針**
- 1 ガバナンス体制の確立
  - 2 持続可能な経営基盤の確立
  - 3 働きがいのある職場づくり
  - 4 積極的な情報発信

# 目 次

## 第1章 概 要

1. 沿 革 .....	1
2. 名称・位置 .....	8
3. 施 設 .....	8
(1) 土 地 .....	8
(2) 建 物 .....	8
4. 公立大学法人奈良県立医科大学 組織機構図 .....	9
5. 役 職 員 .....	12
(1) 役職員名簿 .....	12
(2) 大学院研究指導教員名簿 .....	17
6. 職 員 構 成 .....	19
(1) 役 職 員 数 .....	19
(2) 教 員 数 .....	20
7. 歴代校長・学長 .....	21
8. 歴代部局長 .....	21
9. 歴 代 役 員 .....	23
10. 名 誉 教 授 .....	24

## 第2章 予算・決算

1. 令和3年度決算 .....	25
2. 年度別予算 .....	27

## 第3章 大学・大学院

教育目標 .....	28
1. 学生定員及び現員 .....	31
2. 県内・県外別学生数 .....	31
3. 志願者数及び入学者数 .....	32
4. 卒 業 者 数 .....	33
5. 卒業後の状況 .....	34
6. 学位授与者数 .....	34
7. 研究生数、専修生数、医科学研究生数及び博士研究員数 .....	35
8. 解 剖 件 数 .....	35
9. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業 .....	35
10. 総合研究施設の状況 .....	36
1. 共同利用施設 .....	36
(1) 動物実験施設 .....	36
(2) 大学共同研究施設 .....	36
(3) 組換え DNA 実験施設 .....	36

(4) ラジオアイソトープ (RI) 実験施設	36
2. 各施設実験登録者数	36
11. 寄附・共同研究等講座の設置状況	37
12. 国際交流協定締結機関	37
13. 国内協定締結機関	37
14. 教育研究に関する協定 (連携大学院)	37
15. 大学発ベンチャー企業	37
16. 公開講座「くらしと医学」開催状況	38

#### 第4章 附属図書館

1. 蔵書	39
2. 利用者数	39
3. 図書館間相互協力	39
4. 情報提供サービス	39
5. 電子ジャーナル・電子ブック	39

#### 第5章 附属病院

1. 診療体制	40
(1) 許可病床数	40
(2) 外来診療室数	41
2. 患者統計	42
(1) 入院・外来患者数	42
(ア) 入院患者数 (年度別)	42
(イ) 新入退院患者数・平均在院日数 (年度別)	43
(ウ) 外来患者数 (年度別)	44
(エ) 入院・外来患者数の推移	45
(2) 中央診療施設稼働状況	46
(ア) 中央臨床検査部検査件数 (年度別)	46
(イ) 輸血部関係 (年度別)	47
(ウ) 中央手術部手術件数 (年度別)	48
(エ) 中央放射線部診療患者延数 (年度別)	48
(オ) 集中治療部患者延数 (年度別)	49
(カ) リハビリテーション関係	49
(キ) 透析部透析件数 (年度別)	49
(ク) 病院病理部関係 (年度別)	49
(ケ) 医療技術センター関係 (令和3年度)	50
(コ) 中央内視鏡部診療件数 (年度別)	53
(サ) 超音波診療件数 (年度別)	53
(3) 病理解剖件数 (年度別)	54
(4) 分娩件数 (年度別)	54

(5) 薬剤関係（年度別）	55
(6) 栄養管理関係	55
(ア) 提供食数（年度別）	55
(イ) 栄養指導件数（年度別）	55
(ウ) NST 介入件数（年度別）	55
(7) 総合相談窓口、がん相談支援センター、患者・家族支援室の相談実績	56
(ア) 相談件数（年度別）	56
(イ) 相談件数内訳（令和3年度）	57
3. 診療収入関係	58
(1) 診療収入額（年度別）	58
(2) 特別療養環境室（個室等）室料差額収益額（年度別）	58
4. 附属病院の主な医療機器設置状況	59
5. 総合医療情報システム（電子カルテシステム）	60
○ <b>大学総合案内</b>	61
○ <b>病院総合案内</b>	62
○ <b>奈良県立医科大学・附属病院配置図</b>	63
○ <b>奈良県立医科大学位置図・大学・附属病院付近図</b>	64

# 第1章 概要

## 1. 沿革

昭和20年 4月	奈良県立医学専門学校設立 校舎を当分の間、高市郡八木町小房（現 橿原市小房町）に置く 奈良県農業会経営の奈良県協同病院（高市郡畝傍町大字四条840、現橿原市四条町840）を買収、附属病院（215床）とする
昭和20年 7月	奈良県立医学専門学校第1回入学式挙行
昭和21年 4月	校舎を高市郡畝傍町畝傍（現 橿原市畝傍町）50番地に移転
昭和22年 7月	奈良県立医科大学（旧制）予科開校、予科3個学年を同時に入学させる 附属吉野保健センター診療部開設
昭和22年 9月	附属厚生女学部開設
昭和23年 4月	奈良県立医科大学（旧制）学部開設、入学定員40人
昭和25年 3月	医学専門学校第1回生卒業
昭和26年 3月	学制改革により予科、医学専門学校廃止
昭和27年 3月	医科大学（旧制）第1回生卒業
昭和27年 4月	奈良県立医科大学（新制）開設、入学定員40人、17講座
昭和28年 4月	附属准看護学校開校
昭和28年 6月	内科学第二講座設置
昭和29年 6月	解剖学第二講座設置
昭和29年 10月	整形外科科学講座設置
昭和30年 4月	附属高等看護学校開設
昭和31年 3月	医科大学（新制）第1回生卒業
昭和32年 4月	県立橿原診療所、県立橿原精神病院を医科大学附属病院に合併（642床となる） 病理学第二講座設置
昭和32年 6月	看護婦宿舎（白檜寮）竣工（木造2階建）
昭和33年 3月	附属病院南病棟竣工（鉄筋3階建）
昭和33年 4月	学校教育法の改正に伴い、医学進学課程（修業年限2年）設置
昭和34年 11月	旧制学位審査権を認可される
昭和34年 12月	基礎医学校舎完成（鉄筋4階建、5,277.24㎡）（現：臨床医学研究棟）
昭和35年 1月	大学の住所表示を橿原市四条町840番地に変更 生理学第二講座設置
昭和35年 3月	附属病院北病棟（鉄筋4階建）及びがん治療棟（同平屋建）竣工
昭和35年 4月	奈良県立医科大学大学院設置、入学定員23人、総定員92人 外科学第二講座設置
昭和36年 3月	旧制医科大学廃止
昭和36年 5月	附属病院中央臨床検査部創設
昭和36年 9月	大学本館（鉄筋3階建）及び図書館（同2階建）竣工
昭和36年 12月	学位規則（文部省令）に基づき、奈良県立医科大学学位規則を制定
昭和37年 11月	病院診療管理棟及び給食棟竣工、ボイラー棟、コバルト照射室完成
昭和38年 3月	サービス棟竣工
昭和38年 8月	臨床研究棟（鉄筋3階建、1,589.40㎡）（現：医局棟）、塵埃焼却場竣工
昭和38年 11月	皮膚・泌尿器科学講座を分離、全24講座となる
昭和39年 3月	研究実験用動物舎等竣工
昭和39年 4月	学生入学定員を40人から60人に変更 大学院の入学定員を24人に、総定員を96人に変更 附属奈良病院設置（奈良市西大寺町）
昭和39年 8月	看護婦宿舎白檜寮新館（鉄筋3階建、1,500.82㎡）及び臨床講堂（鉄筋平屋建、階段作、214㎡）竣工
昭和40年 3月	進学課程校舎新築竣工（鉄筋3階建、983.50㎡）
昭和40年 4月	奈良県血液センターを附属病院内に置く 救急病棟の開設
昭和41年 4月	附属病院に輸血部設置
昭和41年 9月	精神病棟新館完成（鉄筋4階建、2,032㎡）
昭和41年 10月	胃集団検診車「きぼう号」により県下各市町村において胃の集団検診を実施

昭和 43 年 3 月	中央臨床検査棟竣工
昭和 43 年 4 月	附属がんセンター設置
昭和 44 年 5 月	女子職員独身寮竣工
昭和 44 年 7 月	大講堂 (600 人収容) 竣工
昭和 44 年 8 月	仮設託児所竣工
昭和 44 年 10 月	新教授会、教授会代議員会、全学協議会発足
昭和 45 年 4 月	事務組織機構改正 事務局に管財課、附属病院事務部に管理課、医事課、給食課設置 附属高等看護学校第一部学生入学定員を 20 人から 40 人に変更
昭和 45 年 7 月	附属高等看護学校竣工 (2,293.60 m <sup>2</sup> )
昭和 45 年 8 月	附属がんセンター増築 (1,619.50 m <sup>2</sup> )
昭和 46 年 3 月	サービス棟増築 (854.9 m <sup>2</sup> )
昭和 46 年 6 月	奈良県血液センターを日赤奈良支部へ移管
昭和 47 年 4 月	公衆衛生学講座設置
昭和 47 年 8 月	附属病院看護婦宿舍竣工 (3,517.52 m <sup>2</sup> )
昭和 49 年 1 月	体育館竣工
昭和 49 年 3 月	塵埃焼却場竣工
昭和 49 年 4 月	麻酔科学講座設置
昭和 49 年 11 月	附属がんセンター増築 (190.9 m <sup>2</sup> )
昭和 50 年 4 月	附属奈良病院を県立奈良病院に組織変更
昭和 51 年 4 月	医動物学講座設置
昭和 52 年 4 月	医動物学講座を寄生虫学講座に変更 学生入学定員を 60 人から 100 人に変更 内科学第三講座設置 附属高等看護学校を、専修学校移行に伴い附属看護専門学校に名称変更
昭和 52 年 10 月	全学協議会、教授会代議員会廃止
昭和 52 年 11 月	新教授会発足
昭和 53 年 3 月	基礎医学校舎竣工 (鉄筋 5 階建、8,500.75 m <sup>2</sup> ) 進学課程校舎増築 (鉄筋 4 階建、1,569.64 m <sup>2</sup> )
昭和 53 年 6 月	神経精神科学講座を精神神経科学講座に変更
昭和 53 年 12 月	テニスコート (4 面)、バレーコート (1 面) 竣工
昭和 54 年 3 月	図書館竣工 (鉄筋 3 階建、1,303.18 m <sup>2</sup> )
昭和 54 年 9 月	プール (6 コース) 竣工
昭和 56 年 1 月	臨床第 1 講義室竣工 (460.46 m <sup>2</sup> )
昭和 56 年 3 月	エネルギーセンター竣工
昭和 56 年 4 月	外科学第三講座設置 神経内科学、口腔外科学設置 精神神経科学講座を精神医学講座に変更 附属看護専門学校、1 部の入学定員を 40 人から 70 人に変更、2 部の募集を停止
昭和 56 年 9 月	附属病院新本館竣工 (22,554.25 m <sup>2</sup> )
昭和 56 年 10 月	附属病院に中央診療施設設置
昭和 56 年 12 月	附属看護専門学校合同講義室竣工 (162.00 m <sup>2</sup> )
昭和 57 年 9 月	附属病院許可病床数 850 床 (一般 710, 結核 60, 精神 80) となる
昭和 57 年 12 月	東運動場整備 (8,077 m <sup>2</sup> )
昭和 58 年 12 月	塵埃焼却場竣工 (285.5 m <sup>2</sup> )
昭和 59 年 12 月	学生クラブ棟増築 (260.98 m <sup>2</sup> ) 附属看護専門学校講義室竣工 (162.65 m <sup>2</sup> )
昭和 60 年 3 月	附属病院外来部門電算業務開始 独身住宅竣工 (橿原市南妙法寺町、鉄筋 4 階建、1,140.48 m <sup>2</sup> )
昭和 60 年 4 月	附属看護専門学校に助産学科 (定員 15 人) を設置
昭和 61 年 3 月	附属病院入院部門電算業務開始
昭和 62 年 2 月	MR-CT 棟竣工 (227.42 m <sup>2</sup> )、62 年 5 月より診断開始
昭和 63 年 3 月	附属病院中央手術場を 9 室から 11 室に改修
昭和 63 年 4 月	病態検査学、神経内科学、口腔外科学を講座とする 附属病院新生児病室 10 床から 15 床に増床、全 855 床となる



平成元年 3月	西運動場整備 (13,626 m <sup>2</sup> )
平成元年 4月	附属がんセンターのペーパートロン照射室をリニアック室に改修
平成元年 8月	救急医学講座設置
平成2年 3月	附属病院救急棟竣工 (1,589.4 m <sup>2</sup> )、集中治療室 5 床、救急病室 15 床設置により全 870 床となる
平成2年 4月	附属病院救急科設置、2年 5月より診療開始
平成2年 6月	第 1 駐車場整備 (8,077 m <sup>2</sup> )
平成3年 4月	附属がんセンター組織改正
平成3年 7月	基礎医学校舎増築 (2,493.3 m <sup>2</sup> ) クラブ棟新築竣工 (354.9 m <sup>2</sup> )
平成4年 4月	第二本館建設推進本部及び同事務局設置
平成4年 6月	老人性痴呆疾患センター設置
平成4年 8月	附属病院土曜閉院となる
平成5年 3月	総合研究棟竣工 (5,919.64 m <sup>2</sup> )
平成5年 4月	大学、附属看護専門学校土曜休業となる
平成5年 10月	総合研究施設部設置
平成5年 11月	総合研究棟供用開始
平成6年 3月	大学の理念及び目的を制定 サービス棟竣工 (1,340.85 m <sup>2</sup> )
平成6年 4月	附属病院中央診療施設の中央内視鏡室、人工透析室、新生児病室の 3 室を部に変更
平成6年 5月	教授会構成員変更
平成6年 8月	エイズ拠点病院選定
平成6年 9月	骨髄移植開始のため、附属病院に無菌室設置
平成6年 11月	インターネット利用開始
平成7年 3月	本学初の公開講座を実施
平成7年 9月	開学 50 周年記念式典挙行
平成8年 2月	特定機能病院承認
平成8年 4月	看護短期大学部開学、附属看護専門学校看護学科の募集を停止 附属病院中央診療施設に病院病理部を新設し、人工透析部の名称を透析部に変更 学内 LAN 敷設
平成8年 11月	災害拠点病院指定
平成9年 3月	附属病院 B 棟 (18,253.98 m <sup>2</sup> ) 及びエネルギーセンター (2,491.05 m <sup>2</sup> ) 竣工
平成9年 4月	学生入学定員を 100 人から 95 人に変更 附属病院内に救命救急センター設置
平成9年 6月	附属病院 B 棟供用開始
平成9年 9月	ゲストハウス竣工 (171.38 m <sup>2</sup> )
平成9年 11月	本学公式ホームページ開設
平成11年 1月	病態検査学講座を総合医療・病態検査学講座に変更 附属病院総合診療科設置
平成11年 3月	附属看護専門学校閉校
平成11年 4月	看護短期大学部に専攻科助産学専攻設置 附属病院感染症病棟 10 床設置により、全 880 床となる 附属病院事務部に電算室を設置
平成13年 3月	附属病院感染症病棟 (10 床) 廃止により、全 870 床となる
平成13年 4月	附属病院事務部を廃止し、事務局に病院第一課及び病院第二課を設置 オーダーリングシステム (医療情報システム) 全面稼働
平成13年 7月	附属病院内に精神科救命医療情報センターを設置
平成13年 10月	附属病院外来患者駐車場を有料化整備
平成14年 12月	附属病院内に周産期医療センターを設置
平成15年 3月	旧榎原伝染病棟敷地を榎原市より買収
平成15年 4月	病理学第一講座を病理診断学講座に変更し臨床医学へ移行 病理学第二講座を病理病態学講座に変更 事務局病院第一課に課内室 (医療情報システム室) を設置 事務局病院第二課に医療安全管理部門を設置
平成15年 9月	附属病院内の救命救急センターを高度救命救急センターに変更 附属病院玄関前整備工事竣工

平成 15 年 10 月	附属病院内に感染症センターを設置 附属病院 C 棟 (19,563.23 m <sup>2</sup> ) 及びエネルギーセンター (二期 306.96 m <sup>2</sup> ) 竣工
平成 16 年 3 月	臨床研修病院の指定
平成 16 年 4 月	医学部看護学科を開設、看護短期大学部看護学科の募集停止 大学院医学研究科を 3 専攻 7 領域に再編・整備 教育開発センターを設置 先端医学研究機構を設置 (総合研究施設部を移管) 附属がんセンターの廃止 (平成 16 年 3 月) に伴い、腫瘍病理学分野を分子病理学講座に、腫瘍放射線医学分野を放射線腫瘍医学講座に変更 外科学第一講座を消化器・総合外科学講座に、外科学第二講座を脳神経外科学講座に、外科学第三講座を胸部・心臓血管外科学講座に、総合医療・病態検査学講座を総合医療学講座に変更 附属病院内の中央内視鏡部と超音波診断室を統合し中央内視鏡・超音波部に変更 附属病院給食部を設置 事務局の再編により、総務課研究支援室、学務課、病院経営課、病院管理課を設置
平成 16 年 6 月	附属病院 C 棟完全供用開始により全 900 床となる
平成 16 年 8 月	旧大和平野土地改良区事務所敷地 (704.13 m <sup>2</sup> ・四条町 583) 及び建物 (1,158.67 m <sup>2</sup> ) を買収
平成 16 年 12 月	附属病院定位放射線治療施設 (ノバリス) (130.13 m <sup>2</sup> 増築) 竣工
平成 17 年 1 月	先端医学研究機構の研究単位として医療情報学分野を開設 地域がん診療拠点病院の指定
平成 17 年 3 月	附属病院定位放射線治療施設 (ノバリス) 供用開始 厳櫃会館改築竣工 (1,117.49 m <sup>2</sup> )
平成 17 年 4 月	事務局に総務課法人化準備室を設置 旧櫃原伝染病棟 (932.00 m <sup>2</sup> ) を解体 女性専用外来開設
平成 17 年 5 月	厳櫃会館供用開始 開学 60 周年記念式典挙行
平成 18 年 4 月	住居医学講座 (寄附講座) を設置 衛生学講座を地域健康医学講座に、公衆衛生学講座を健康政策医学講座に変更 附属病院内に医療安全推進室を設置 給食部の名称を栄養管理部に変更 MD プログラム奈良 2006 を開始
平成 18 年 5 月	先端医学研究機構の研究単位として生命システム医科学分野を設置
平成 18 年 7 月	セカンドオピニオン外来開設 遺伝カウンセリング外来開設 精神医療センター (5,270.35 m <sup>2</sup> ) 竣工
平成 18 年 11 月	精神医療センター供用開始により全 930 床となる
平成 19 年 3 月	看護短期大学部閉学 大学機関別認証評価 (1 巡目) 「適合」認定
平成 19 年 4 月	地方独立行政法人「公立大学法人奈良県立医科大学」へ移行 第 1 期中期計画 (平成 19 ~ 24 年度) 開始 事務局を法人企画部 (総務課、財務企画課、財務企画課研究推進室、財産管理課、学務課)、病院経営部 (経営企画課、経営企画課情報企画室、医療サービス課、病院管理課) に再編 附属病院内に遺伝カウンセリング室、外来化学療法室、地域医療連携室、臨床研修センターを設置 附属病院開設許可病床数 980 床 総合医療情報システム (電子カルテシステム) 運用開始
平成 19 年 11 月	医療安全推進室内に医療技術トレーニングルームを設置
平成 20 年 2 月	先端医学研究機構の研究単位として生命システム医科学分野循環器システム医科学を開設 (循環器システム医科学の開設に合わせ、従来の生命システム医科学分野を生命システム医科学分野脳神経システム医科学と呼称) 都道府県がん診療連携拠点病院指定
平成 20 年 3 月	附属図書館に闘病記文庫を設置
平成 20 年 4 月	大学院医学研究科修士課程 (医科学専攻) 設置 推薦選抜試験 (緊急医師確保特別入学試験) の実施により医学科の入学定員を 95 人から 100 人に変更 敷地内全面禁煙を実施 耳鼻咽喉科学講座を耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座に変更 看護学科領域の新設及び名称変更 (臨床病態医学、人間発達学) 附属病院内に感染制御内科外来を設置 (22 診療科となる) 附属病院中央診療施設名称の変更 (腫瘍センター、医療情報部) 課内室を再編 (研究推進室は研究推進課として財務企画課より独立。情報企画室を廃止し、経営企画課に併合) 文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム (教育 GP)」として「地域に教育の場を拡大した包括的教育の取組」(H20 ~ H22) が採択
平成 20 年 5 月	附属病院内に総合周産期母子医療センターを設置
平成 21 年 3 月	大学内 30 箇所に無線 LAN アクセスポイントを敷設
平成 21 年 4 月	医学科の入学定員を 100 人から 105 人に変更 国際交流センターを設置 血栓制御医学講座 (寄附講座) を設置 大学知的財産アドバイザーの設置 (受入)

平成 21 年 5 月	附属病院内に緩和ケア外来を設置
平成 21 年 6 月	附属病院夜間救急玄関改修工事竣工 (総合相談窓口を設置 入退院・救急窓口を移設)
平成 21 年 10 月	附属病院内に緩和ケアセンターを設置 附属病院全診療科において初診紹介患者の予約診療を開始
平成 21 年 11 月	機関リポジトリ GINMU (ジンム: Global Institutional Repository of Nara Medical University) を公開 附属病院内に助産師外来を設置
平成 22 年 4 月	医学科の入学定員を 105 人から 113 人に変更 血圧制御学講座(寄附講座)を設置 附属病院の一般病棟に看護職員を 7:1 配置 附属病院内に治験センターと移植細胞培養センターを設置 地域基盤型医療教育コースを設置
平成 22 年 10 月	奈良県と「医師配置システム構築のための地域医療学講座の設置に関する協定」を締結し、地域医療学講座を設置 附属病院内にリウマチ外来、化学療法外来を設置
平成 22 年 11 月	附属病院開設許可病床数 978 床 (D 棟 2 階改修)
平成 22 年 12 月	附属病院内に小児センター及びメディカルバースセンターを設置
平成 23 年 1 月	附属病院内に乳腺外科外来を設置
平成 23 年 2 月	女性研究者支援センターを設置
平成 23 年 4 月	監査室、健康管理センター、産学官連携推進センターを設置 寄生虫学講座を病原体・感染防御医学講座に変更 人工関節・骨軟骨再生医学講座(寄附講座)を設置 広域大学知的財産アドバイザーの設置(受入) 附属病院内にペインセンター、リウマチセンター及び糖尿病センター並びに医療技術センターを設置 病院経営部医療サービス課内に医療相談室を設置 授業料減免制度の創設
平成 23 年 5 月	附属病院内に糖尿病外来を設置 病院機能評価 (Ver6.0) の認定を取得
平成 23 年 6 月	地域医療総合支援センターを奈良県とともに設置
平成 24 年 4 月	広報室を設置 「なかよし保育園」を建て替え、規模を拡大(定員 16 名→60 名)し、法人の組織として設置 地域看護学領域を公衆衛生看護学領域に変更 看護学科の入学定員を 80 人から 85 人に変更 大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)を設置 医学科に研究医養成コースを設置し、2 年次編入学定員を 2 名増員 附属病院内に形成外科センターを設置 Web メールシステム運用開始 学務課を教育支援課に改称
平成 24 年 6 月	研究者情報データベース運用開始
平成 24 年 8 月	教育研修棟に自習室(18 室約 180 人利用)を設置
平成 25 年 4 月	第 2 期中期計画(平成 25 ~ 30 年度)開始 危機管理室、医療メデイエーション室を設置 法人特命企画官の設置 スポーツ医学講座(寄附講座)を設置 老年看護学Ⅱ分野を設置 教務事務システム運用開始
平成 25 年 6 月	研究推進戦略本部を設置 特別共同研究助成事業及び若手研究者研究助成事業の創設
平成 25 年 8 月	認知症疾患医療センター(基幹型)の指定
平成 25 年 10 月	糖尿病学講座、県費奨学生配置センターを設置 附属病院内に先天性心疾患センターを設置 看護師宿舎をスキルスラボ棟に改修
平成 25 年 11 月	附属病院 E 棟(一期 4586.78 m <sup>2</sup> )竣工
平成 26 年 1 月	大和漢方医学薬学センターを設置 県民健康増進支援センターを設置
平成 26 年 3 月	大学機関別認証評価(2 巡目)「適合」認定
平成 26 年 4 月	基本構想策定局、県立医大医師派遣センター、看護実践・キャリア支援センターを設置 法人企画部財産管理課内にエネルギーセンターを設置 細菌学講座を微生物感染症学講座に名称変更 免疫学講座を設置 医療メデイエーション室を患者・家族支援室に名称変更
平成 26 年 5 月	附属病院内に周術期管理センターを設置
平成 26 年 7 月	附属病院内に IVR センターを設置
平成 26 年 10 月	看護学科開設 10 周年記念式典挙行

平成 26 年 12 月	<p>附属病院内に入退院管理センターを設置 形成外科センターを形成外科に変更 リハビリテーション部をリハビリテーション科に変更</p>
平成 27 年 2 月	職員証の発行を開始
平成 27 年 4 月	<p>公立大学法人奈良県立医科大学未来への飛躍基金を設置 法人企画部に人事課を設置 基本構想策定局をキャンパス整備推進局に改組 なかよし保育園の定員を見直し(60名→90名)、運営を民間委託に移行 血友病治療・病態解析学講座(寄附講座)を設置 血栓制御医学講座(寄附講座)の設置期間を2年延長 医学科、看護学科の一般教育組織を廃止し、医学部に教養教育部門を設置 看護学科に在宅看護学領域を設置 附属病院内に病理診断科、感染管理室を設置 教養教育部門に学科目臨床英語を設置(学科目英語を廃止)</p>
平成 27 年 5 月	開学 70 周年記念式典挙行
平成 27 年 7 月	<p>手の外科講座(寄附講座)を設置 納品検取センター設置 附属病院内に臨床研究センターを設置</p>
平成 27 年 9 月	附属病院の土日 ER 診療開始
平成 27 年 10 月	<p>附属病院の心臓血管外科・呼吸器外科を組織変更し、心臓血管外科と呼吸器外科を設置 治験センターを廃止</p>
平成 28 年 1 月	附属病院内に玉井進記念四肢外傷センターを設置
平成 28 年 4 月	<p>医学科に医学科長を設置 大学院医学研究科に医学研究科長を設置 大学院看護学研究科に看護学研究科長を設置 法人企画部財産管理課及び財産管理課エネルギーセンターを廃止し、法人企画部施設管理室を設置 キャンパス整備推進局を総合企画局に改組し、同局内に総合企画室を設置 法人企画部財務企画課を財務会計課に名称変更 公立大学法人奈良県立医科大学学外有識者委員会を設置 「奈良県立医科大学教育改革 2015」に基づく新カリキュラム導入 血栓制御学講座(寄附講座)の設置期間を2年延長 附属病院内に総合画像診断センターを設置 附属病院中央内視鏡・超音波部を中央内視鏡部に名称変更</p>
平成 28 年 5 月	<p>附属病院内にめまいセンターを設置 附属病院耳鼻咽喉科・甲状腺外科から耳鼻咽喉・頭頸部外科に名称変更</p>
平成 28 年 6 月	MBT(医学を基礎とするまちづくり)研究所を設置
平成 28 年 9 月	附属病院 E 棟竣工(21,162.49 m <sup>2</sup> )
平成 28 年 10 月	<p>附属病院 E 棟供用開始 附属病院に高度外科技術センターを設置 地域健康医学講座を疫学・予防医学講座に名称変更 健康政策医学講座を公衆衛生学講座に名称変更</p>
平成 29 年 1 月	<p>附属病院に認知症センターを設置 阪奈中央病院にスポーツ医学研究センターを設置</p>
平成 29 年 4 月	<p>「奈良県立医科大学の将来像」を策定し、「建学の精神」及び「奈良県立医科大学の教育、研究、診療及び法人運営の理念と方針」を制定 法人のシンボルマーク及びイメージキャラクターを制定 人工関節・骨軟骨再生医学講座(寄附講座)の設置期間を3年延長 教養教育部門に学科目未来基礎医学を設置</p>
平成 29 年 10 月	<p>生体分子不均衡制御学共同研究講座を設置 附属病院内に脳卒中センターを設置</p>
平成 29 年 11 月	今井町ゲストハウス開所
平成 30 年 1 月	<p>内科学第一講座を分割し循環器内科学講座と腎臓内科学講座を設置 附属病院循環器・腎臓・代謝内科を組織変更し、循環器内科と腎臓内科を設置</p>
平成 30 年 2 月	附属病院 B・C 棟屋上ヘリポート竣工
平成 30 年 3 月	医学教育分野別評価「適合」認定(認定期間 平成 29 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)
平成 30 年 4 月	<p>総合企画局を廃止し、法人企画部にキャンパス整備推進室を設置 法人企画部財務会計課を財務企画課に名称変更 血友病教育講座(寄附講座)を設置 血栓止血分子病態学講座(寄附講座)を設置 血栓止血医薬生物学共同研究講座を設置 内科学第二講座を呼吸器内科学講座に名称変更 大学院看護学研究科に高度実践コース(高度実践看護師教育課程及び周麻酔期看護師教育課程)を設置 社会医療法人高槻会高井病院に陽子線がん治療研究センターを設置 血栓止血研究センターを設置 IVR 研究センターを設置 附属病院ががんゲノム医療連携病院に指定</p>
平成 30 年 7 月	<p>神経内科学講座を脳神経内科学講座に名称変更 附属病院神経内科を脳神経内科に名称変更</p>
平成 30 年 9 月	発生・再生医学講座を設置

平成 30 年 10 月	MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所タカトリラボを開設 なかよし保育園の定員を 90 名から 150 名に変更
平成 30 年 11 月	橿原市及び富士通株式会社等と妊娠期・子育て支援サービスの有用性を検討するための実証実験に関する覚書を締結 附属病院入退院管理センターを入退院支援センターに名称変更 附属病院内に乳腺センターを設置
平成 31 年 2 月	V-iCliniX 講座（寄附講座）を設置 附属病院入退院支援センターと地域医療連携室を統合し、入退院等支援部を設置
平成 31 年 3 月	大学院医学研究科（博士課程）にミシガン大学評議会との学術科学連携に関する基本合意書に基づく NM コースを設置
平成 31 年 4 月	第 3 期中期計画（平成 31 年～令和 6 年度）開始 総務課情報推進係と経営企画課情報企画係を統合し、事務局に情報推進室を設置 医療サービス課医療相談室を医療相談室に組織改正 地域医療支援・教育学講座（寄附講座）を設置 骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座（寄附講座）を設置 医師・患者関係学講座を設置 血栓止血先端医学講座を設置 成人看護学を分割し成人急性期看護学と成人慢性期看護学を設置 女性研究者支援センターを女性研究者・医師支援センターに名称変更 スポーツ医学講座（寄附講座）の設置期間を 6 年延長 附属病院放射線科（画像診断・IVR）を放射線・核医学科に名称変更 附属病院放射線治療・核医学科を放射線治療科に名称変更 附属病院内に生命倫理監理室を設置 附属病院が奈良県難病診療連携拠点病院に指定 附属病院が奈良県アレルギー疾患医療拠点病院に指定
令和 元 年 10 月	内科学第三講座を消化器内科学講座に名称変更 糖尿病・内分泌内科学講座を設置
令和 2 年 3 月	先端医学研究機構を廃止 附属病院が災害拠点精神科病院に指定
令和 2 年 4 月	法人企画部広報室を秘書・広報室に名称変更 施設管理室とキャンパス整備推進室を統合し、法人企画部に新キャンパス・施設マネジメント課を設置 病院経営部に医療職事務支援室を設置 先端医学研究支援機構を設置し、研究力向上支援センター、医学研究支援センターを新設、産学官連携推進センターを移管 大学院医学研究科（博士課程）を 1 専攻 3 領域に再編・整備 大学院看護学研究科（修士課程）看護学コース高度実践コース（高度実践看護師教育課程）にがん看護分野を設置 前立腺小線源治療講座（寄附講座）を設置
令和 2 年 6 月	附属病院消化器・内分泌代謝内科を組織変更し、消化器・代謝内科と糖尿病・内分泌内科を設置
令和 2 年 7 月	医学部医学科にリハビリテーション医学講座を設置
令和 2 年 8 月	医学教育分野別評価 認定期間延長（認定期間 平成 29 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）
令和 2 年 9 月	糖尿病センターを廃止
令和 2 年 10 月	医学部医学科にがんゲノム・腫瘍内科学講座を設置 附属病院内に腫瘍内科を設置 腫瘍センターを廃止
令和 3 年 3 月	大学機関別認証評価（3 巡目）「適合」認定
令和 3 年 4 月	法人に医療人育成機構を設置し、卒前の医師及び看護師教育育成部門、卒後の医師教育育成部門および卒後の看護師教育育成部門を新設 医学部医学科の放射線医学講座を放射線診断・IVR 学講座に名称変更 医学部教養教育部門の数学を臨床数学に名称変更 リウマチセンターを廃止
令和 4 年 4 月	総務課と秘書・広報室を統合し、法人企画部に総務広報課を設置 附属病院入退院等支援部に在宅医療支援センターを設置 附属病院高度外科技術センターを高度治療技術センターに名称変更

## 2. 名称・位置

奈良県立医科大学

奈良県橿原市四条町 840 番地

奈良県立医科大学附属病院

奈良県橿原市四条町 840 番地

奈良県立医科大学附属図書館

奈良県橿原市四条町 840 番地

## 3. 施設

(1) 土地（所有者：奈良県）

R4.5.1 現在

大学敷地	附属病院敷地	保育園敷地	巖櫃会館敷地	その他	ゲストハウス敷地	駐車場敷地	駐車場案内看板設置用敷地
m <sup>2</sup> 50,996.43	m <sup>2</sup> 47,991.85	m <sup>2</sup> 1,335.61	m <sup>2</sup> 704.13	m <sup>2</sup> 760.07	m <sup>2</sup> 132.23	m <sup>2</sup> 2,103.00	m <sup>2</sup> 1.00
( 運動場敷地 19,539.80 を含む )					(借地)	(借地)	(借地)
小計 101,788.09 m <sup>2</sup>					小計 2,236.23 m <sup>2</sup>		
合計 104,024.32 m <sup>2</sup>							

(2) 建物

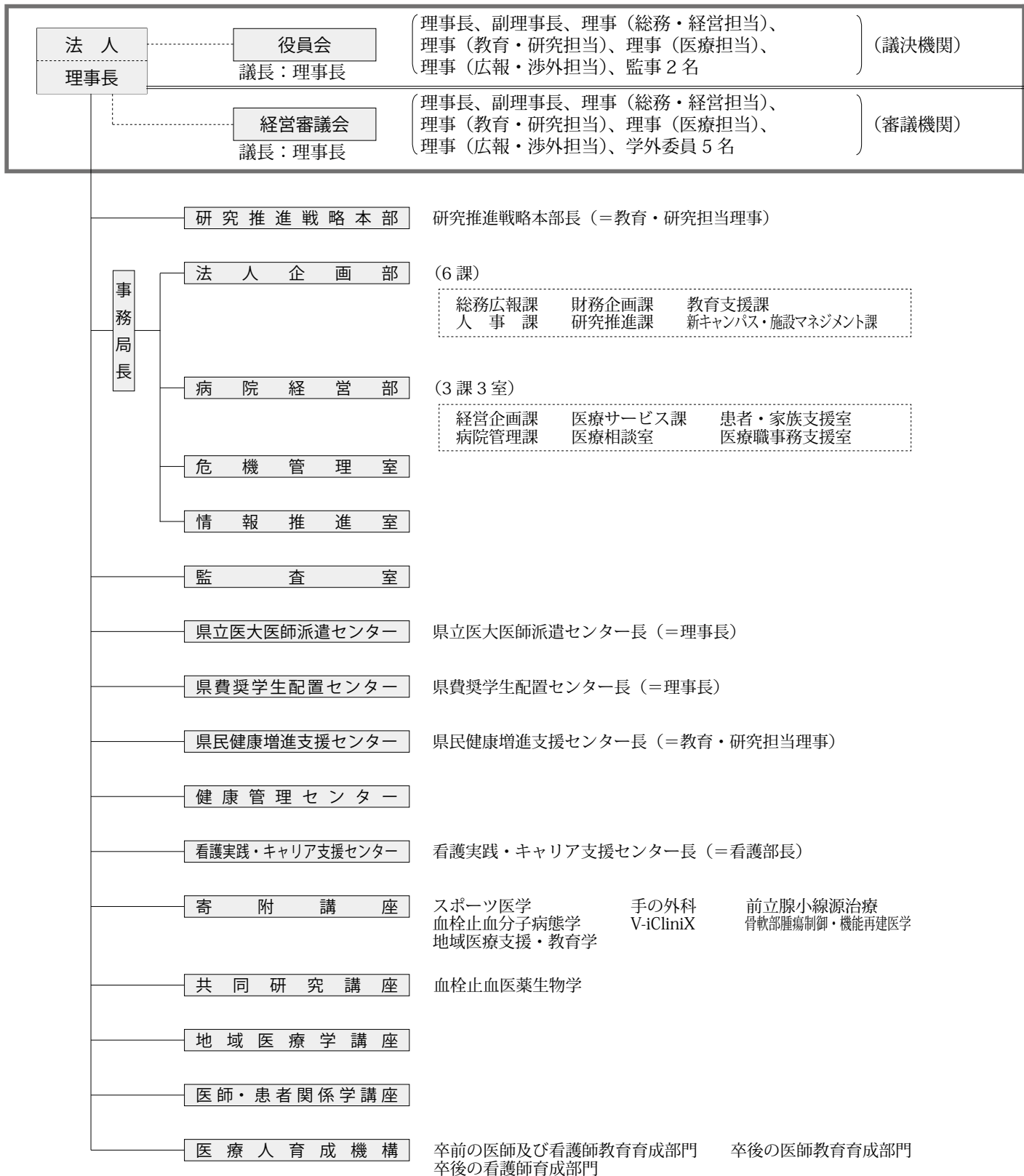
R4.5.1 現在

施設名	延面積						施設別比率
	鉄筋 コンクリート造	鉄骨鉄筋 コンクリート造	鉄骨造	鉄筋コンクリート ブロック造	木造	計	
大学	m <sup>2</sup> 36,024.36	m <sup>2</sup> 0.00	m <sup>2</sup> 2,329.29	m <sup>2</sup> 486.39	m <sup>2</sup> 0.00	m <sup>2</sup> 38,840.04	% 27.15
附属病院	10,717.53	68,561.67	22,415.43	177.89	0.00	101,872.52	71.21
保育園	0.00	0.00	1,068.38	0.00	0.00	1,068.38	0.75
巖櫃会館	1,117.49	0.00	0.00	0.00	0.00	1,117.49	0.78
ゲストハウス	0.00	0.00	0.00	0.00	158.43	158.43	0.11
合計	47,859.38	68,561.67	25,813.10	664.28	158.43	143,056.86	100.00
構造比率	% 33.46	% 47.93	% 18.04	% 0.46	% 0.11	% 100.00	

# 4. 公立大学法人奈良県立医科大学 組織機構図

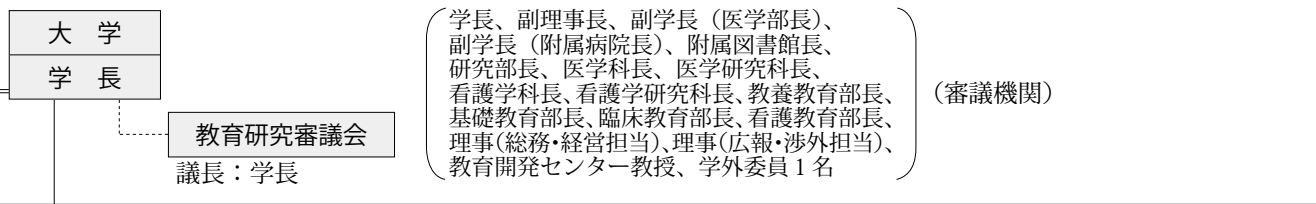
R4. 5. 1 現在

【法人運営組織】

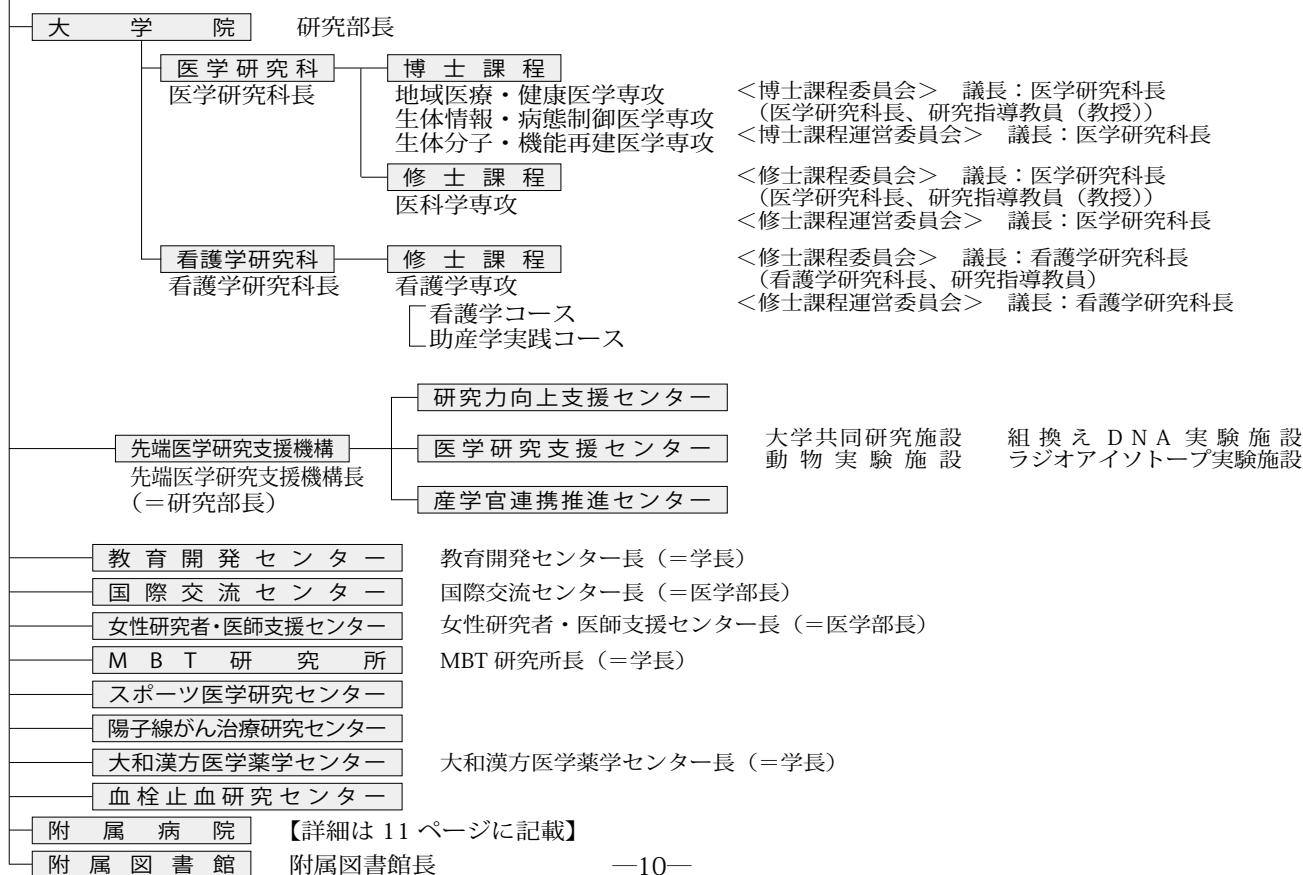


【大学運営組織】

法人（大学）の意思決定

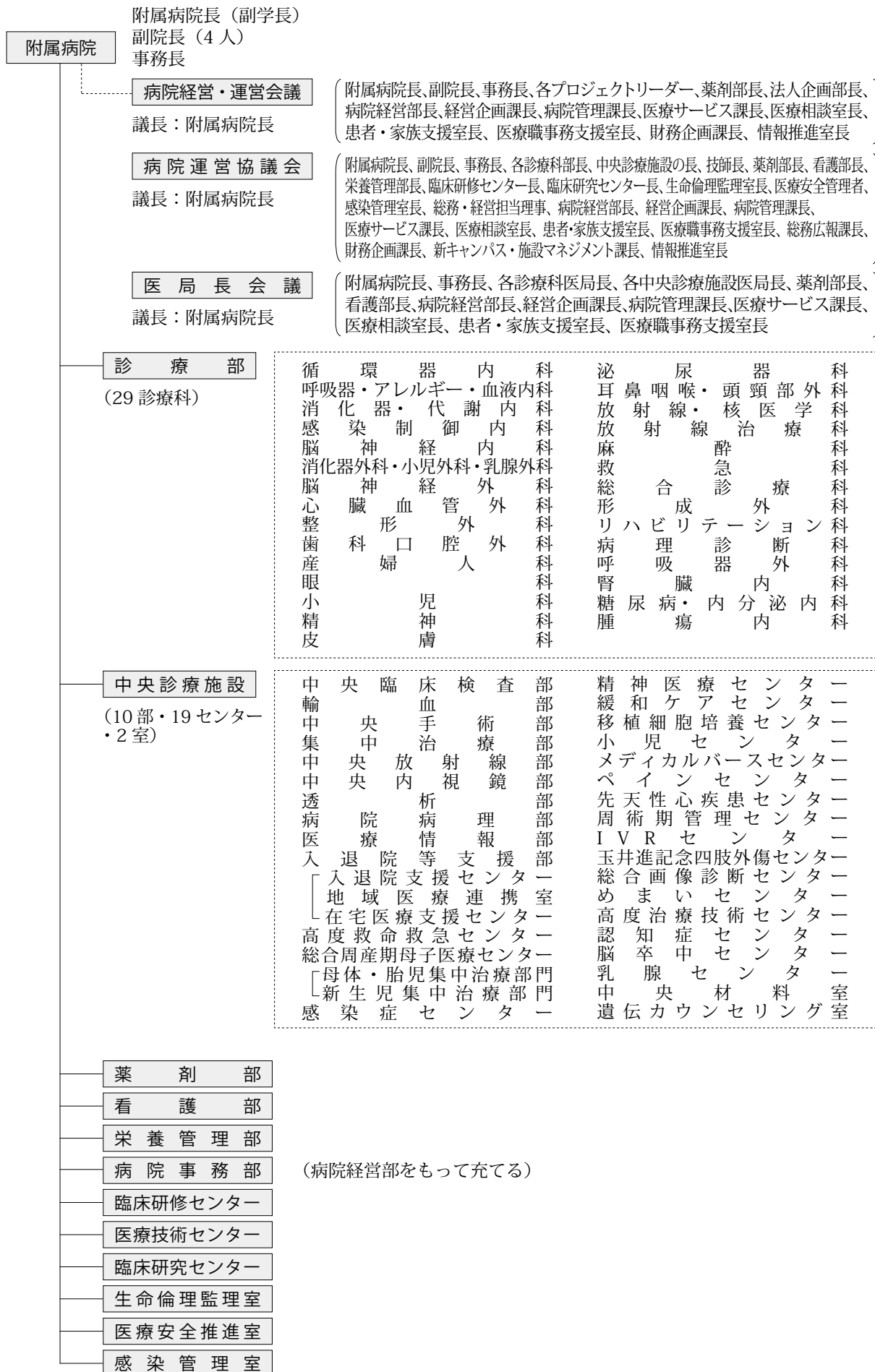


【大学：教育研究組織】





【附属病院：組織】



## 5. 役 職 員

### (1) 役職員名簿

R4. 5. 1 現在

法 人			
○ 役 員			
理 事 長	細 井 裕 司		
副 理 事 長	栴 井 和 也		
理 事 (総務・経営担当)	宇 都 宮 弘 和		
事務局 長 (兼)			
理 事 (教育・研究担当)	嶋 緑 倫		
理 事 (医療担当)	吉 川 公 彦		
理 事 (兼) (広報・渉外担当)	細 井 裕 司		
監 事	篠 藤 敦 子		
監 事	山 田 陽 彦		
○ 法人特命企画官			
	今 村 知 明		
	Bolstad Francesco		
○ 経営審議会委員			
理 事 長	細 井 裕 司		
副 理 事 長	栴 井 和 也		
理 事 (総務・経営担当)	宇 都 宮 弘 和		
理 事 (教育・研究担当)	嶋 緑 倫		
理 事 (医療担当)	吉 川 公 彦		
学 外 委 員	大 竹 伸 一		
学 外 委 員	大 畑 建 治		
学 外 委 員	川 副 浩 平		
学 外 委 員	本 間 敬 之		
学 外 委 員	松 村 理 司		
法 人 企 画 部			
法人企画部長	福 益 孝 行		
総務広報課長	鷹 堅 野 洋		
人事課長	奥 野 聡 之		
財務企画課長	上 野 浩 之		
研究推進課長	畑 本 村 昇 仁		
教育支援課長	上 本 村 昇 仁		
新キャンパス・施設マネジメント課長心得	鉄 村 昇 仁		
病 院 経 営 部			
病院経営部長	藤 田 和 成		
経営企画課長	樋 口 浩 史		
病院管理課長	奥 田 稔 彰		
医療サービス課長	岩 本 正 良		
医療相談室長	久 保 良 佳		
患者・家族支援室長 (兼)	久 保 良 佳		
医療職事務支援室長事務取扱	藤 田 和 成		
危 機 管 理 室			
室 長 (兼)	鷹 堅 覚		
情 報 推 進 室			
室 長	吉 村 雅 則		
監 査 室			
室 長	藤 田 徳 倫		
県立医大医師派遣センター			
センター長事務取扱	細 井 裕 司		
副センター長 (兼)	赤 井 靖 宏		
副センター長	平 島 規 子		

県費奨学生配置センター			
センター長事務取扱	細 井 裕 司		
副センター長 (兼)	赤 井 靖 宏		
副センター長 (兼)	平 島 規 子		
県民健康増進支援センター			
センター長 (兼)	嶋 緑 倫		
マネージャー (兼)	佐 伯 圭 吾		
コーディネーター 特任准教授	富 岡 公 子		
健康管理センター			
センター長 病院教授	古 西 満		
看護実践・キャリア支援センター			
センター長 (兼)	橋 口 智 子		
講師	渡 谷 洋 子		
寄 附 講 座			
スポーツ医学 教授 (寄附講座) (兼)	田 中 康 仁		
准教授 (寄附講座)	小 川 宗 宏		
手の外科 教授 (寄附講座)	面 川 庄 平		
血栓止血分子病態学 教授 (寄附講座) (兼)	嶋 緑 倫		
V-iCliniX 教授 (寄附講座)	佐 藤 匠 徳		
骨軟部腫瘍制御・機能再建学 教授 (寄附講座)	朴 木 寛 弥		
地域医療支援・教育学 教授 (寄附講座) (兼)	西 尾 健 治		
講師 (寄附講座)	瓦 谷 英 宣		
前立腺小線源治療 教授 (寄附講座)	田 中 宣 道		
共 同 研 究 講 座			
血栓止血医薬生物学 教授 (共同研究講座) (兼)	嶋 緑 倫		
地 域 医 療 学 講 座			
地 域 医 療 学 教授 (地域医療学講座)	赤 井 靖 宏		
准教授	周 藤 俊 治		
医 師 ・ 患 者 関 係 学 講 座			
医師・患者関係学 教授 (寄附講座)	石 井 均 章		
医師・患者関係学 特任教授	皆 藤 均 章		
医 療 人 育 成 機 構			
機構長 (兼)	嶋 緑 倫		
卒前の医師及び看護師教育部門 部門長 (兼)	若 月 幸 平		
卒後の医師教育育成部門 部門長 (兼)	赤 井 靖 宏		
卒後の看護師育成部門 部門長 (兼)	橋 口 智 子		
大 学			
学 長	細 井 裕 司		
副 学 長 (医学部長)	嶋 緑 倫		
副 学 長 (附属病院長)	吉 川 公 彦		
○ 教育研究審議会委員			
学 長	細 井 裕 司		
副 理 事 長	栴 井 和 也		
副 学 長 (医学部長)	嶋 緑 倫		
副 学 長 (附属病院長)	吉 川 公 彦		
附属図書館長 (兼)	嶋 緑 倫		
研 究 部 長	吉 栖 正 典		
医学科長 (兼)	嶋 緑 倫		
医学研究科長 (兼)	吉 栖 正 典		
看護学科長	川 上 あ ず さ		
看護学研究科長 (兼)	川 上 あ ず さ		

教養教育部長  
基礎教育部長  
臨床教育部長  
看護教育部長  
理事 (総務・経営担当)  
理事 (兼) (広報・渉外担当)  
学外委員

○部 局 長

附属図書館長 (兼)  
研究部長  
医学科長 (兼)  
医学研究科長 (兼)  
看護学科長  
看護学研究科長 (兼)  
教養教育部長  
基礎教育部長  
臨床教育部長  
看護教育部長  
学長補佐 (地域連携・大学連携担当)  
学長補佐 (学生支援担当)  
学長補佐 (未来への飛躍基金担当)  
学長補佐 (MBT・産学官連携担当)

医 学 部  
教 養 教 育 部

哲学 准教授  
物理学 教育教授  
講師  
化学 教授  
准教授  
講師  
生物学 教授  
講師  
臨床数学 教授  
講師  
臨床英語 教授  
准教授  
講師  
保健体育 教育教授  
未来基礎医学 准教授

医 学 科  
(基礎医学)

解剖学第一 教授  
講師  
学内講師  
解剖学第二 教授  
准教授  
講師  
生理学第一 教授  
准教授  
生理学第二 教授  
講師  
生化学 教授  
病原体・感染防御医学 教授  
准教授  
微生物感染症学 教授  
准教授  
講師  
免疫学 教授  
講師  
薬理学 教授  
准教授  
疫学・予防医学 教授

酒井宏水  
堀江恭二  
田中康仁  
田中登美  
宇都宮弘和  
細井裕司  
池田康夫

嶋吉緑倫  
嶋栖正典  
吉栖正典  
川上あずさ  
川上あずさ  
酒井宏水  
堀江恭二  
田中登美  
田中昌彦  
川口宏仁  
石指治川洋

池邊寧  
藤本雅文  
高木拓明  
酒井宏水  
山本恵三  
松平崇良  
永渕千余子  
小藤圭男  
川口良  
Bolstad Francesco  
Mathieson Paul  
Blodgett Michael  
石指宏通  
森英一朗

西堀真弓  
堀井謹子  
東中明生  
和巳晃子  
辰巳達英  
田中藤康彦  
齋藤ふみよ  
豊田恭二  
堀江公彦  
坂野伸  
高澤正英  
吉川幸輝  
王矢野寿一  
中野章一代  
伊藤利正  
北嶋正毅  
吉栖平一  
佐伯圭吾

特任准教授  
講師  
公衆衛生学 教授  
准教授  
法医学 教授  
講師  
分子病理学 教授  
教授  
発生・再生医学 准教授  
准教授  
血栓止血先端医学講座 (臨床医学) 准教授  
循環器内科学 教授  
講師  
腎臓内科学 教授  
講師  
講師  
呼吸器内科学 教授  
准教授  
講師  
消化器内科学 教授  
准教授  
講師  
講師  
学内講師  
学内講師  
糖尿病・内分泌内科学 教授  
講師  
脳神経内科学 教授  
准教授  
講師  
消化器・総合外科学 教授  
准教授  
講師  
講師  
学内講師  
脳神経外科学 教授  
病院教授  
准教授  
講師  
講師  
学内講師  
学内講師  
胸部・心臓血管外科学 病院教授  
講師  
講師  
整形外科学 教授  
准教授  
講師  
講師  
学内講師  
学内講師  
口腔外科学 教授  
准教授  
講師  
講師  
学内講師  
学内講師  
産婦人科学 教授  
准教授  
准教授  
眼科学 教授  
准教授  
講師  
学内講師

大秦今野粕工國栗小辰  
林野村田藤安本林巳  
賢知龍承利弘一久公  
史修明也吾彩基基人平  
言児彦一裕郎雄人人志み正祐洗久裕規馬史石生之夫平之広之鉄彦一浩介好史也仁晃樹真信晶昭宏聡裕良宏則二子生智生  
渡尾鶴鮫江室山天本吉赤浪鍛北西高岡杉形泉桐庄澤川横田谷重藤内清桐山堀柳川上木川緒上西辻  
邊上屋島口内野津治羽崎治川村橋田江岡山井本下堀瀬村田山竹松澤川山口松井原水田川田生上田村口方田中  
真健和謙雅繁基逸茂仁たけ孝典定和博哲敬雅利壮博宇裕永文健太修靖良章剛晋康英宏好隆忠延貴正順文龍奈保哲大

小児科学	学内講師 教授 准教授 講師 講師	後野武石荻牧之鳥山浦山浅新宮小藤鳥中三北上西和榊山下中尾伊市浅三若川内林田福前瓜西杉大吉藤武城眞石武中岡吉	岡上山原段塚内谷室田熊川本井宅原村田井下福藤橋川浦井口藤中島園尾本野井田戸野田野崎井	克恵雅建通崇光秀浩清一牧裕忠佳貴哲利英高成勇展昌祐暢英尚泰健充史清智麻衣由佳眞雄俊由	典嗣博卓一弘平裕彦夫悟史平秀匡靖人紀和己郎史範洋之広夫雄子英彦介伸洋賢宜之治彦郎已美子眞生子幸介美
精神医学	准教授 講師 講師 学内講師 学内講師				
皮膚科学	教授 准教授 講師 学内講師				
泌尿器科学	教授 准教授 講師 講師				
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	教授 准教授 講師 特任講師 学内講師 学内講師				
放射線診断・IVR学	教授 准教授 講師 講師				
放射線腫瘍医学	准教授 講師 学内講師				
麻酔科学	教授 講師 学内講師				
救急医学	教授 准教授 講師				
総合医療学	教授 特任教授 講師				
病理診断学	准教授 講師				
リハビリテーション医学	教授 准教授 講師				
がんゲノム・腫瘍内科学	教授 講師 特任講師 学内講師				
看護学	教授 教授 教授 准教授 准教授 講師 教授 講師				
人間発達学	教授	太田	豊作		
臨床病態医学	教授	濱田	明子		
基礎看護学	教授	松田	美保		
成人急性期看護学	教授 准教授	石松	登美		
成人慢性期看護学	教授 准教授	田中	登美		
老年看護学	講師 教授 講師	升田	茂章		
小児看護学	教授 講師	石橋	千枝		
		木村	満夫		
		川上	あずさ		
		山田	晃子		

母性看護学	講師 教授 講師 講師 講師 講師	小五森乾上奥橋小栗城坂堀	代嵐兼田本竹田島東内	仁稔眞つ佳 顯久実麻哲春沙	美子理ら世淳子美子美里
精神看護学	講師 講師 講師 講師				
在宅看護学	教授 講師				
公衆衛生看護学	教授 准教授 講師				

附属病院					
	附属病院長	吉川	公彦	彦之郎	秀子成
	副院長	庄室	繁清	和	
	副院長	藤本	口田		
	副院長	橋口			
	事務長	藤田			

○診療部各科部長					
循環器内科	診療部長 (兼)	吉川	公彦	彦之郎	志敬馬
呼吸器・アレルギー・血液内科	診療部長 教授	室吉	治原	和	
消化器・代謝内科	診療部長 教授	笠杉	江	雅之	
感染制御内科	診療部長 教授				
脳神経内科	診療部長 教授				
消化器外科・小児外科・乳腺外科	診療部長 教授	庄			
脳神経外科	診療部長 教授	中吉	瀬川	裕公	之彦仁昭則子嗣彦夫秀清
心臓血管外科	診療部長 (兼)	田中	村方	上川	浅田
整形外科	診療部長 教授	桐木	緒野	吉浅	藤本
歯科口腔外科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田
産婦人科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田
眼科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田
小児科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田
精神科	診療部長 (兼)	緒野	吉浅	藤本	北田
皮膚科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田
泌尿器科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田
耳鼻咽喉・頭頸部外科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田
放射線・核医学科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田
放射線治療科	診療部長 (兼)	緒野	吉浅	藤本	北田
麻酔科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田
救急診療科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田
総合診療科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田
形成外科	診療部長 病院教授	緒野	吉浅	藤本	北田
リハビリテーション科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田
病理診断科	診療部長 (兼)	緒野	吉浅	藤本	北田
呼吸器外科	診療部長 病院教授	緒野	吉浅	藤本	北田
腎臓内科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田
糖尿病・内分泌内科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田
腫瘍内科	診療部長 教授	緒野	吉浅	藤本	北田

中央診療施設					
中央臨床検査部	部長 病院教授	山崎	正麗	晴子	忍則忍之忠彦二洋晃
	講師	水野	中本	中瀬	
	技師長	田中	和		
輸血部	部長 教授	松田	中瀬	裕昌	
	技師長 (兼)	田中	和		
中央手術部	部長 (兼)	西川	恵丸		
	講師				
集中治療部	部長 (兼)	川口	中上		
	副部長 准教授				
中央放射線部	部長 (兼)	丸			
	副部長 准教授				

中央内視鏡部	技師長 部長(兼) 副部長 病院教授 副部長 病院教授	西村 努 吉川 公彦 小山 文一 美登路 昭	臨床研修センター	センター長(兼) 副センター長 講師 副センター長(兼)	赤井 靖宏 仲西 康 岡田 定規
透析部	部長(兼) 病院教授	鶴屋 和彦 米田 龍生	医療技術センター	センター長(兼) 技師長 副技師長 副技師長 副技師長心得	吉川 公彦 畠中 利哲 北村 康郎 小西 司次 横田 基
病院病理部	部長(兼) 技師長(兼)	吉川 公彦 田中 忍	臨床研究センター	センター長 教授 副センター長 准教授 副センター長 講師 特任准教授 特任講師 特任講師	笠原 正登 笠間 周 浅田 潔 竹綱 正典 井上 隆 平田 匠
医療情報部	部長 病院教授	玉本 哲郎	医療安全推進室	室長 病院教授	辰巳 満俊
入退院等支援部	部長(兼) 副部長(兼) 副部長(兼) 副部長(兼)	吉川 公彦 室繁 郎 吉治 仁志 西尾 健治	感染管理室	室長(兼)	笠原 敬
入院支援センター	副部長(兼)	室繁 郎	生命倫理監理室	室長(兼)	藤本 清秀
地域医療連携室	副部長(兼)	吉治 仁志	先端医学研究支援機構	機構長(兼)	吉栖 正典
在宅医療支援センター	副部長(兼)	西尾 健治	研究力向上支援センター	センター長(兼)	吉栖 正典
高度救命救急センター	センター長(兼)	福島 英賢	医学研究支援センター	センター長(兼)	上村 陽一郎
総合周産期母子医療センター	センター長(兼) 副センター長(兼) 副センター長 病院教授 講師	吉川 公彦 木村 文則 西久保 敏也 内田 優美子 笠原 敬	産学官連携推進センター	センター長(兼) 教育教授 准教授 センター長(兼) 研究教授 MBT 担当教授	栗本 一基 杉浦 重元 菓子野 樹郎 吉栖 正典 梅田 智広 細川 洋治
感染症センター	センター長 教授	笠原 敬	セ ン タ ー		
精神医療センター	センター長(兼)	吉川 公彦	教育開発センター	センター長事務取扱 副センター長(兼) 教育教授	細井 裕司 嶋 緑倫 若月 幸平
緩和ケアセンター	センター長 病院教授	四宮 敏章	国際交流センター	センター長(兼)	嶋 緑倫
移植細胞培養センター	センター長(兼)	松本 雅則	女性研究者・医師支援センター	センター長(兼) マネージャー 講師	嶋 緑倫 須崎 康恵
小児センター	センター長(兼) 副センター長(兼)	野上 利夫 澤井 夫	MBT(医学を基礎とするまちづくり)研究所	所長事務取扱 副所長 MBT 担当教授 副所長 研究教授 副所長(兼)	細井 裕司 細川 洋治 梅田 智広 福益 孝行
メディカルパスセンター	センター長(兼)	木村 文彦	スポーツ医学研究センター	センター長(兼)	田中 康仁
ペインセンター	センター長(兼) 副センター長 病院教授	川口 昌彦 渡邊 恵介	陽子線がん治療研究センター	センター長(兼)	嶋 緑倫
先天性心疾患センター	センター長 教授 副センター長(兼)	上村 秀樹 横山 晋也			
周術期管理センター	センター長(兼)	川口 昌彦			
IVRセンター	センター長(兼) 副センター長(兼) 副センター長(兼)	田中 利洋 渡邊 真言 西尾 福英			
玉井進記念四肢外傷センター	センター長(兼) 副センター長 准教授	田中 健二 河村 健二			
総合画像診断センター	センター長 病院教授 副センター長(兼) 講師	平井 都始子 丸上 永晃 宮坂 俊輝			
めまいセンター	センター長(兼) 副センター長 病院教授	北原 紘彰 山中 敏彰			
認知症センター	センター長(兼)	吉川 公彦			
脳卒中センター	センター長(兼) 副センター長(兼) 副センター長 病院教授 病院教授	中瀬 裕之 杉江 和馬 中川 一郎 中川 一郎			
乳腺センター	センター長(兼) 准教授	斎藤 こずえ 庄田 雅也			
中央材料室	室長(兼)	中瀬 裕之			
遺伝カウンセリング室	室長(兼)	西久保 敏也			
薬 剤 部	部長心得 副部長 副部長 副部長	池田 和之 小川 恵美子 吉川 一吾 谷田 彩			
看 護 部	看護部長 看護副部長 看護副部長 看護副部長 看護副部長	橋口 智子 森田 冴子 今別府 真奈巳 石飛 悦子 南口 淳子			
栄 養 管 理 部	部長 病院教授	吉川 雅則			

大和漢方医学薬学センター

センター長事務取扱  
副センター長(兼)  
コーディネーター 特任教授

細 井 裕 司  
宇都宮 弘 和  
三 谷 和 男

血栓止血研究センター

センター長(兼)

嶋 緑 倫

IVR 研究センター

センター長(兼)

田 中 利 洋

## (2) 大学院研究指導教員名簿

## 博士課程

R4.5.1 現在

専攻	主科目	研究指導教員
医科学	疫学	佐伯 圭吾・大林 賢史
	公衆衛生学	今村 知明・野田 龍也・岡本左和子
	法医学	粕田 承吾
	M B T 学	梅田 智広
	生体高分子学	酒井 宏水・山本 惠三・松平 崇
	分子・細胞動態学	永淵 昭良・小林千余子
	相分離生物学	森 英一朗
	分子生体構造科学	西 真弓・堀井 謹子
	機能形態学	和中 明生・辰巳 晃子・田中 達英
	脳神経生理学	齋藤 康彦・豊田ふみよ
	生体機能制御機構学	堀江 恭二
	分子医化学	高澤 伸
	生体防御・修復医学	吉川 正英・王寺 幸輝
	微生物学	矢野 寿一・中野 竜一・中野 章代
	免疫学	伊藤 利洋・北島 正大
	情報伝達薬理学	吉栖 正典・中平 毅一
	分子腫瘍病理学	國安 弘基
	発生・再生医学	栗本 一基・小林 久人
	血栓止血先端医学	辰巳 公平
	Human InformatiX 学	佐藤 匠徳
	応用医学・医療学	吉栖 正典・杉浦 重樹・菓子野元郎
	循環器システム医科学	中川 修・渡邊 裕介
	循環器病態制御医学	渡邊 真言・尾上 健児
	腎臓病態制御医学	鶴屋 和彦
	呼吸器・血液病態制御医学	室 繁郎・濱田 薫・吉川 雅則・山内 基雄・天野 逸人・本津 茂人
	消化器病態・代謝機能制御医学	吉治 仁志・美登路 昭・赤羽たけみ・浪崎 正・瓦谷 英人・鍛冶 孝祐
	糖尿病・内分泌内科学	高橋 裕・岡田 定規
	臨床神経筋病態学	杉江 和馬・形岡 博史・泉 哲石・桐山 敬生・斎藤こづえ
	消化器機能制御医学	庄 雅之・池田 直也・小山 文一・澤井 利夫・久下 博之・松本 壮平
	脳神経機能制御医学	中瀬 裕之・朴 永録・中川 一郎・西村 文彦
	循環・呼吸機能制御医学	澤端 章好
	運動器再建医学	田中 康仁・面川 庄平・朴木 寛弥・城戸 顕・谷口 晃・河村 健二・稲垣 有佐・小川 宗宏・重松 英樹・藤井 宏真
	スポーツ医科学	田中 康仁・小川 宗宏・井上 和也
	女性生殖器病態制御医学	木村 文則・川口 龍二
	視覚統合医学	緒方奈保子・上田 哲生・西 智
	発達・成育医学	野上 恵嗣
	発生・発達医学	西久保敏也
	精神医学行動神経科学	牧之段 学・山内 崇平・鳥塚 通弘
	皮膚病態医学	浅田 秀夫・桑原 理充・新熊 悟・宮川 史
	泌尿器病態機能制御医学	藤本 清秀・田中 宣道・米田 龍生・鳥本 一匡
	前立腺小線源治療学	田中 宣道・浅川 勇雄
	耳鼻咽喉・頭頸部機能制御医学	北原 紘・上村 裕和
	画像診断・低侵襲治療学	平井都始子・田中 利洋・西尾福英之
	放射線腫瘍学	浅川 勇雄・玉本 哲郎
	侵襲制御・生体管理医学	川口 昌彦・林 浩伸・恵川 淳二・内藤 祐介
	臨床神経モーター学	川口 昌彦・中瀬 裕之・林 浩伸・重松 英樹
	総合臨床病態学	西尾 健治・藤本 隆
口腔・顎顔面機能制御医学	桐田 忠昭・山川 延宏	
救急病態制御医学	福島 英賢	
病理診断学	藤井 智美・武田麻衣子	
腫瘍薬物治療学	武田 真幸	
リハビリテーション医学	城戸 顕・田中 康仁・眞野 智生・石田由佳子	
臨床検査医学	山崎 正晴・水野 麗子	
血液・血流機能再建医学	松本 雅則	
感染病態制御医学	笠原 敬	
先天性心疾患診断治療学・心臓形態学	上村 秀樹	
臨床実証医学	笠原 正登・笠間 周・浅田 潔	
先端画像下治療開発応用学	穴井 洋	
陽子線腫瘍学	吉村 均	
医療センシング学	山本 貢平・児玉 秀和	

専攻	主科目	研究指導教員
医科学	疫 学	佐伯 圭吾・大林 賢史
	公衆衛生学	今村 知明・野田 龍也・岡本左和子
	医療経営学	今村 知明・野田 龍也
	M B T 学	梅田 智広
	高分子医化学	酒井 宏水・山本 惠三・松平 崇
	分子・細胞動態学	永淵 昭良・小林千余子
	相分離生物学	森 英一朗
	分子生体構造科学	西 真弓・堀井 謹子
	機能形態学	和中 明生・辰巳 晃子・田中 達英
	脳神経生理学	齋藤 康彦
	生体機能制御機構学	堀江 恭二
	分子医化学	高澤 伸
	微生物学	矢野 寿一・中野 竜一・中野 幸代
	感染免疫学	伊藤 利洋・北島 正大
	情報伝達薬理学	吉栖 正典・中平 毅一
	分子腫瘍病理学	國安 弘基
	発生・再生医学	栗本 一基・小林 久人
	応用医学・医療学	吉栖 正典・杉浦 重樹・菓子野元郎
	循環器システム医科学	中川 修・渡邊 裕介
	循環器病態制御医学	渡邊 真言・尾上 健児
	腎臓病態制御医学	鶴屋 和彦・江里口雅裕・鮫島 謙一
	呼吸器病態制御医学	室 繁郎・吉川 雅則・山内 基雄
	脳神経機能制御医学	中瀬 裕之・中川 一郎
	運動器再建医学	田中 康仁・面川 庄平・朴木 寛弥・城戸 顕・ 谷口 晃・河村 健二・稲垣 有佐・小川 宗宏・ 重松 英樹・藤井 宏真
	スポーツ医科学	田中 康仁・小川 宗宏
	小児病態制御医学	野上 恵嗣
	発生・発達医学	西久保敏也
	皮膚病態医学	浅田 秀夫・桑原 理充・宮川 史・新熊 悟
	画像診断・低侵襲治療学	田中 利洋・西尾福英之
	放射線腫瘍学	浅川 勇雄
	侵襲制御・生体管理医学	川口 昌彦・林 浩伸・惠川 淳二・内藤 祐介
	臨床神経モニター学	川口 昌彦・中瀬 裕之・林 浩伸・重松 英樹
	口腔・顎顔面機能制御医学	桐田 忠昭・山川 延宏
	病理診断学	藤井 智美
リハビリテーション医学	城戸 顕・田中 康仁・眞野 智生・石田由佳子	
臨床検査医学	山崎 正晴・水野 麗子	
血液・血流機能再建医学	松本 雅則	
臨床実証医学	笠原 正登・笠間 周・浅田 潔	
先端画像下治療開発応用学	穴井 洋	
陽子線腫瘍学	吉村 均	
看護学	健康科学	(心と脳の発達学) 太田 豊作 (環境病態学) 濱田 薫
	基礎看護学	松田 明子
	看護実践応用学	石澤美保子
	がん看護学	田中 登美
	高齢者看護学	澤見 一枝
	小児看護学	川上あずさ
	女性健康・助産学	(女性健康学) 五十嵐稔子・(周産期看護学) 五十嵐稔子
	在宅看護学	小竹久実子
	公衆衛生看護学	城島 哲子・坂東 春美
周麻酔期看護学	川口 昌彦	



## 6. 職員構成

### (1) 役職員数

R4.5.1 現在

役員	学長等	教授	准教授	講師	学内講師	助教	小計	事務	技術	看護	教務	小計	総計
小計	5	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5
教養教育	0	4	6	5	7	2	15	0	0	0	0	0	17
基礎医学教育	0	14	8	7	1	22	52	0	1	0	7	8	60
臨床医学教育	0	21	21	47	21	99	202	0	0	0	0	0	202
看護学教育	0	39	35	52	22	123	271	0	1	0	7	8	279
小計	0	10	3	11	0	10	34	0	0	0	0	0	34
法人企画部	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
監査室	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	3
危機管理室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
危機推進室	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	8	8
情報推進室	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	8	8
総務広報課	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	13	13
人事課	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	8	8
財務企画課	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	13	13
研究推進課	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	1	16	16
教育支援課	0	0	0	0	0	0	0	9	12	0	21	21	21
新キャンパス・施設マネジメント課	0	0	0	0	0	0	0	78	12	0	1	91	91
小計	0	0	0	0	0	0	0	11	9	0	0	11	11
病院経営部	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	15	15
経営企画課	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	14	14
病院管理課	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	7	7
医療サービス課	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	2
医療相談室	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
患者・家族支援室	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2
医療職事務支援室	0	0	0	0	0	0	0	48	3	1	0	52	52
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
県立医大医師派遣センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県看護学生支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県民健康増進支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
健康管理センター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	2
看護実践・キャリア支援センター	0	0	0	1	0	0	1	0	0	6	0	6	7
住居医学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血栓制御医学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血圧制御医学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人工関節・骨軟骨再生医学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ医学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血友病治療・病態解析学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手の外科講座	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
血友病教育講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血栓止血分子病態学講座	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1
生体分子不均衡制御学共同研究講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血栓止血医学生物学共同研究講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域医療学講座	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
糖尿病学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
良き医療人育成学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医師・患者関係学講座	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
VaClinX 講座	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
地域医療支援・教育学講座	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
前立腺小線源治療講座	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
教育開発センター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
国際交流センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MB T 研究所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ医学研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性研究者・医師支援センター	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
大和漢方医学薬学センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血栓止血研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IVR 研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先端医学研究支援機構	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
小計	0	6	6	3	0	1	16	0	1	8	0	9	25
感染制御内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2
中央臨床検査部	0	0	1	1	0	0	2	0	56	0	0	56	58
輸血部	0	1	0	0	0	1	2	0	9	0	0	9	11
中央手術部	0	0	0	1	0	6	7	0	0	0	0	0	7
集中治療部	0	0	1	0	0	4	5	0	0	0	0	0	5
中央放射線部	0	0	1	0	0	1	2	0	55	0	0	55	57
中央内視鏡部	0	0	2	0	0	2	4	0	0	0	0	0	4
透析部	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
病院病理部	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7	7
医療情報部	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
高度救命救急センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合周産期母子医療センター	0	0	1	1	0	9	11	0	0	0	0	0	11
感染症センター	0	1	0	0	1	2	4	0	0	0	0	0	4
精神医療センター	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	6	6
腫瘍センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケアセンター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
移植細胞培養センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メディカルパスセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペインセンター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
リウマチセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
糖尿病センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性心疾患センター	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
周術期管理センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IVR センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉井進記念四肢外傷センター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
総合画像診断センター	0	0	1	1	0	3	5	0	0	0	0	0	5
めまいセンター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
高度外科治療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳卒中センター	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
乳腺センター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
中央材料室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺伝カウンセリング室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在宅医療支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤部	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	56	56
看護部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1100	0	1100	1100
栄養管理部	0	0	1	0	0	0	1	0	8	0	0	8	9
臨床研修センター	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	2
医療技術センター	0	0	0	0	0	0	0	104	7	0	0	104	104
臨床研究センター	0	1	1	1	0	3	6	3	9	7	0	19	25
医療安全推進室	0	0	1	0	0	0	1	1	1	2	0	4	5
感染管理室	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
地域医療連携室	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
入院支援センター	0	0	0	0	0	0	0	7	8	0	0	15	15
生命倫理監理室	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	0	3	4
ゲノム診断・組織保存センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	0	4	20	7	1	33	65	5	319	1120	0	1444	1509
総合計	5	59	64	73	23	167	391	131	336	1129	8	1604	1995

(2) 教員数

R4.5.1 現在

	教授	准教授	講師	学内講師	助教	現員	
教養教育	哲学	0	1	0	0	1	
	統計・情報学	0	0	0	0	0	
	物理学	0	1	1	0	0	
	化学	1	1	1	0	0	
	生物学	1	0	1	0	1	
	臨床数学	1	0	1	0	0	
	臨床英語	1	1	1	0	0	
	独語	0	0	0	0	0	
	保健体育	0	1	0	0	0	
	未来基礎医学	0	1	0	0	1	
小計	4	6	5	0	2		
基礎医学教育	第一解剖学	1	0	1	1	0	
	第二解剖学	1	1	1	0	1	
	第一生理学	1	1	0	0	1	
	第二生理学	1	0	1	0	1	
	生化学	1	0	0	0	2	
	病原体・感染防御医学	1	1	0	0	2	
	微生物感染症学	1	1	1	0	1	
	免疫学	1	0	1	0	2	
	薬理学	1	1	0	0	2	
	疫学・予防医学	1	0	1	0	2	
	公衆衛生学	1	1	0	0	2	
	法医学	1	0	1	0	1	
	分子病理学	1	0	0	0	2	
	発生・再生医学	1	1	0	0	2	
血栓止血先端医学	0	1	0	0	1		
小計	14	8	7	1	22		
臨床医学教育	循環器内科学	0	1	1	0	5	
	腎臓内科学	1	0	2	0	0	
	呼吸器内科学	1	1	2	0	5	
	血液内科学	0	0	0	0	0	
	消化器内科学	1	1	2	2	5	
	糖尿病・内分泌内科学	1	0	1	0	2	
	脳神経内科学	1	1	2	0	3	
	消化器・総合外科	1	1	2	1	6	
	脳神経外科	1	2	2	2	4	
	胸部・心臓血管外科	0	1	2	0	5	
	整形外科	1	1	2	3	4	
	口腔外科学	1	1	2	2	2	
	産婦人科学	1	1	0	0	7	
	眼科学	1	1	1	2	4	
	小児科学	1	1	2	0	5	
	精神医学	0	1	2	2	11	
	皮膚科学	1	1	1	1	3	
	泌尿器科学	1	1	2	0	4	
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1	1	1	2	3	
	放射線診断・IVR学	1	0	2	1	4	
	放射線腫瘍医学	0	1	1	1	1	
	麻酔科学	1	0	2	1	4	
	救急医学	1	1	1	0	6	
	総合医療学	1	0	2	0	3	
	病理診断学	0	1	1	0	1	
	リハビリテーション医学	1	1	1	0	1	
	がんゲノム・腫瘍内科学	1	0	1	1	1	
	小計	21	21	40	21	99	
	看護学教育	人間発達学	1	0	0	0	1
		臨床病態医学	1	0	0	0	1
		基礎看護学	1	0	0	0	3
		成人急性期看護学	1	1	0	0	2
成人慢性期看護学		1	1	1	0	0	
老年看護学		1	0	1	0	1	
小児看護学		1	0	2	0	0	
母性看護学		1	0	3	0	2	
精神看護学		0	0	2	0	0	
在宅看護学		1	0	1	0	2	
公衆衛生看護学		1	1	1	0	0	
小計	10	3	11	0	10		
センター等	県立医大医師派遣センター	0	0	0	0	0	
	県費奨学生配置センター	0	0	0	0	0	
	県民健康増進支援センター	0	0	0	0	0	
	健康増進センター	0	1	0	0	0	
	健康管理センター	0	0	1	0	0	
	看護実践・キャリア支援センター	0	0	1	0	0	
	地域医療学講座	1	1	0	0	0	
	医師・患者関係学講座	1	0	0	0	0	
	教育開発センター	0	1	0	0	0	
	国際交流センター	0	0	0	0	0	
	M B T 研究所	0	0	0	0	0	
	スポーツ医学研究センター	0	0	0	0	0	
	女性研究者・医師支援センター	0	0	1	0	0	
	大和漢方医学薬学センター	0	0	0	0	0	
	血栓止血研究センター	0	0	0	0	0	
	IVR研究センター	0	0	0	0	0	
	研究力向上支援センター	0	0	0	0	0	
	医学研究支援センター	0	0	0	0	0	
	大学共同研究施設	0	0	0	0	0	
	動物実験施設	0	0	0	0	0	
	組換えDNA実験施設	0	1	0	0	0	
	ラジオアイソトープ実験施設	0	1	0	0	0	
	産学官連携推進センター	0	1	0	0	0	
	学長付	0	0	0	0	0	
	未配置定数	0	0	0	0	0	
	小計	2	6	2	0	0	

	教授	准教授	講師	学内講師	助教	現員
感染制御内科	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	1	0	0	1	2
中央臨床検査部	0	1	1	0	0	2
輸血部	1	0	0	0	1	2
中央手術部	0	0	1	0	6	7
集中治療部	0	1	0	0	4	5
中央放射線部	0	1	0	0	1	2
中央内視鏡部	0	2	0	0	2	4
透析部	0	1	0	0	0	1
病院病理部	0	0	0	0	0	0
医療情報部	0	1	0	0	0	1
高度救命救急センター	0	0	0	0	0	0
総合周産期母子医療センター	0	0	0	0	0	3
MFCU	0	0	0	0	0	3
NICU	0	1	1	0	6	8
感染症センター	1	0	0	1	2	4
精神医療センター	0	0	0	0	0	0
緩和ケアセンター	0	1	0	0	0	1
移植細胞培養センター	0	0	0	0	0	0
小児センター	0	0	0	0	0	0
メディカルバーサセンター	0	0	0	0	0	0
ペインセンター	0	1	0	0	0	1
リウマチセンター	0	0	0	0	0	0
糖尿病センター	0	0	0	0	0	0
先天性心疾患センター	1	0	0	0	0	1
周術期管理センター	0	0	0	0	0	0
IVRセンター	0	0	0	0	0	0
玉井進記念四肢外傷センター	0	1	0	0	0	1
総合画像診断センター	0	1	1	0	3	5
めまいセンター	0	1	0	0	0	1
高度治療技術センター	0	0	0	0	0	0
認知症センター	0	0	0	0	0	0
脳卒中センター	0	2	0	0	0	2
乳腺センター	0	1	0	0	0	1
中央材料室	0	0	0	0	0	0
遺伝カウンセリング室	0	0	0	0	0	0
在宅医療支援センター	0	0	0	0	0	0
薬剤部	0	0	0	0	0	0
看護部	0	0	0	0	0	0
栄養管理部	0	1	0	0	0	1
臨床研修センター	0	0	1	0	1	2
医療技術センター	0	0	0	0	0	0
臨床研究センター	1	1	1	0	3	6
医療安全推進室	0	1	0	0	0	1
感染管理室	0	0	0	0	0	0
地域医療連携室	0	0	0	0	0	0
入院支援センター	0	0	0	0	0	0
生命倫理監理室	0	0	1	0	0	1
ゲノム診断・組織保存センター	0	0	0	0	0	0
小計	4	20	7	1	33	65
総合計	55	64	72	23	166	380
寄附講座等	県立医大医師派遣センター	0	0	0	0	0
	県費奨学生配置センター	0	0	0	0	0
	県民健康増進支援センター	0	0	0	0	0
	スポーツ医学講座	0	0	0	0	0
	手の外科講座	1	0	0	0	0
	血栓止血分子病態学講座	0	0	0	0	1
	血栓止血医学薬学共同研究講座	0	0	0	0	0
	V-iCliniX 講座	1	0	0	0	1
	地域医療支援・教育学講座	0	0	1	0	0
	骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座	1	0	0	0	0
	前立腺小線源治療講座	1	0	0	0	0
	地域医療学講座	1	1	0	0	0
	医師・患者関係学講座	1	0	0	0	0
	小計	6	1	1	0	2
特任教員	特任教員	特任教員	特任講師	特任助教	特任助手	現員
県立医大医師派遣センター	0	0	0	0	0	0
県費奨学生配置センター	0	0	0	0	0	0
県民健康増進支援センター	0	1	0	0	0	1
M B T 研究所	0	0	0	0	0	0
スポーツ医学講座	0	0	0	0	0	0
手の外科講座	0	0	0	0	0	0
血栓止血分子病態学講座	0	0	0	0	0	0
血栓止血医学薬学共同研究講座	0	0	0	1	0	1
V-iCliniX 講座	0	0	0	0	0	0
地域医療支援・教育学講座	0	0	0	0	0	0
骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座	0	0	0	0	0	0
前立腺小線源治療講座	0	0	0	0	0	0
地域医療学講座	0	0	0	4	0	4
医師・患者関係学講座	1	0	0	0	0	1
大和漢方医学薬学センター	1	0	0	0	0	1
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	0	0	1	0	0	1
皮膚科学	0	0	0	1	0	1
総合医療学	1	0	0	0	0	1
小児科学	0	0	0	0	0	0
疫学・予防医学	0	1	0	0	0	1
保健体育	0	0	0	0	0	0
がんゲノム・腫瘍内科学	0	0	1	0	0	1
在宅医療支援センター	0	0	0	1	0	1
小計	3	2	2	7	0	14

## 7. 歴代校長・学長

初代校長	今村 荒男	昭20・4・21～21・12・28
(事務取扱)	緒方 準一	昭21・12・28～22・4・16
第二代校長	岩永 仁雄	昭22・4・16～22・6・18
初代学長	岩永 仁雄	昭22・6・18～27・1・23
第二代学長	吉松 信宝	昭27・1・23～35・2・8
第三代学長	緒方 準一	昭35・2・9～47・2・8
第四代学長	安澄 権八郎	昭47・2・9～47・5・31
(事務取扱)	鳥居 健三	昭47・6・1～47・8・4
第五代学長	石川 昌義	昭47・8・5～51・8・4
第六代学長	堀 浩	昭51・8・5～52・11・24
(事務取扱)	梅垣 健三	昭52・11・25～53・4・17
第七代学長	梅垣 健三	昭53・4・18～59・3・31
第八代学長	増原 建二	昭59・4・1～平2・3・31
第九代学長	石川 兵衛	平2・4・1～6・3・31
第十代学長	辻井 正	平6・4・1～10・3・31
第十一代学長	岡島 英五郎	平10・4・1～13・6・30
(事務取扱)	市島 國雄	平13・7・1～13・9・30
第十二代学長	吉田 修	平13・10・1～20・3・31
第十三代学長	吉岡 章	平20・4・1～26・3・31
第十四代学長	細井 裕司	平26・4・1～

## 8. 歴代部局長

### 医学部長(平19.4.1から副学長兼務)

大西 武雄	平18・4・1～20・3・31
喜多 英二	平20・4・1～26・3・31
車谷 典男	平26・4・1～令2・3・31
嶋 緑倫	令2・4・1～

### 附属病院長(平19.4.1から副学長兼務)

緒方 準一	昭20・7・1～31・5・31
中島 佐一	昭31・6・1～41・5・31
宝来 善次	昭41・6・1～44・9・8
(事務代理)	
堀 浩	昭44・7・16～44・9・8
(事務取扱)	
堀 浩	昭44・9・9～45・3・31
吉田 邦男	昭45・4・1～47・3・31
堀 浩	昭47・4・1～51・3・31
増原 建二	昭51・4・1～55・3・31
白鳥 常男	昭55・4・1～59・3・31
石川 兵衛	昭59・4・1～63・3・31
辻井 正	昭63・4・1～平4・3・31
一條 元彦	平4・4・1～6・3・31
岡島英五郎	平6・4・1～8・3・31
松永 喬	平8・4・1～10・3・31
打田日出夫	平10・4・1～12・3・31
中野 博重	平12・4・1～12・11・14
平尾 佳彦	平12・11・15～12・12・31
(事務取扱)	
榊 壽右	平13・1・1～14・3・31
吉岡 章	平14・4・1～16・3・31
高倉 義典	平16・4・1～19・3・31
榊 壽右	平19・4・1～24・3・31

古家 仁	平24・4・1～令2・3・31
吉川 公彦	令2・4・1～

### 附属図書館長

鎌倉 勝夫	昭25・10・31～37・10・31
小谷 尚三	昭37・11・1～39・8・31
中馬 一郎	昭39・9・1～40・3・31
柴田 衛敏	昭40・4・1～44・3・31
黒河内 寛	昭44・4・1～46・3・31
北村 旦	昭46・4・1～48・3・31
榎 泰義	昭48・4・1～52・3・31
鳥居 健三	昭52・4・1～52・12・6
高楠 彰	昭52・12・7～53・3・31
(事務取扱)	
高楠 彰	昭53・4・1～55・3・31
螺良 義彦	昭55・4・1～59・3・31
荒木 恒治	昭59・4・1～61・3・31
福井 弘	昭61・4・1～63・3・31
神谷 知彌	昭63・4・1～平2・3・31
廣田 忠臣	平2・4・1～6・3・31
山下 節義	平6・4・1～8・3・31
米増 國雄	平8・4・1～12・3・31
中嶋 敏勝	平12・4・1～16・3・31
宮川 幸子	平16・4・1～18・3・31
中村 忍	平18・4・1～20・3・31
平尾 佳彦	平20・4・1～24・3・31
木村 弘	平24・4・1～28・3・31
車谷 典男	平28・4・1～令2・3・31
嶋 緑倫	令2・4・1～

### 研究部長

喜多 英二 平16・4・1～18・3・31  
東野 義之 平18・4・1～20・3・31  
大崎 茂芳 平20・4・1～21・3・3  
喜多 英二 平21・3・4～21・3・31  
小西 登 平21・4・1～26・3・31  
嶋 緑倫 平26・4・1～令2・3・31  
吉栖 正典 令2・4・1～

### 医学科長

吉原紘一朗 平16・4・1～18・3・31  
車谷 典男 平28・4・1～令2・3・31  
嶋 緑倫 令2・4・1～

### 医学研究科長

嶋 緑倫 平28・4・1～令2・3・31  
吉栖 正典 令2・4・1～

### 看護学科長

伊藤 明子 平16・4・1～18・3・31  
(兼看護教育部長)  
飯田 順三 平20・4・1～26・3・31  
軸丸 清子 平26・4・1～28・3・31  
飯田 順三 平28・4・1～30・3・31  
石澤美保子 平30・4・1～令4・3・31  
川上あずさ 令4・4・1～

### 看護学研究科長

飯田 順三 平28・4・1～30・3・31  
石澤美保子 平30・4・1～令4・3・31  
川上あずさ 令4・4・1～

### 教養教育部長 (昭57.3.31までは進学主事、平6.3.31までは進学部長、平27.3.31までは一般教育部長)

大原 親 昭48・6・1～49・4・30  
鳥居 健三 昭49・5・1～50・4・30  
池邊 義教 昭50・5・1～51・4・30  
春日 隆 昭51・5・1～52・4・30  
河野洋太郎 昭52・5・1～53・4・30  
野津 敬一 昭53・5・1～54・4・30  
山本 稔 昭54・5・1～55・3・31  
鳥居 健三 昭55・4・1～56・3・31  
池邊 義教 昭56・4・1～57・3・31  
鳥居 健三 昭57・4・1～59・3・31  
野津 敬一 昭59・4・1～63・3・31  
池邊 義教 昭63・4・1～平4・3・31  
河野洋太郎 平4・4・1～6・3・31  
高橋 賢博 平6・4・1～8・3・31  
伊藤 善將 平8・4・1～10・3・31  
大西 武雄 平10・4・1～14・3・31  
豊田 剛 平14・4・1～16・3・31  
大崎 茂芳 平16・4・1～20・3・31  
大西 武雄 平20・4・1～22・3・31  
大崎 茂芳 平22・4・1～24・3・31  
平井 國友 平24・4・1～27・3・31  
酒井 宏水 平27・4・1～

### 基礎教育部長

高木 都 平16・4・1～20・3・31  
羽竹 勝彦 平20・4・1～24・3・31  
車谷 典男 平24・4・1～26・3・31  
吉栖 正典 平26・4・1～令2・3・31  
堀江 恭二 令2・4・1～

### 臨床教育部長

平尾 佳彦 平16・4・1～20・3・31  
古家 仁 平20・4・1～24・3・31  
福井 博 平24・4・1～26・3・31  
上野 聡 平26・4・1～28・3・31  
吉川 公彦 平28・4・1～30・3・31  
長谷川正俊 平30・4・1～令4・3・31  
田中 康仁 令4・4・1～

### 看護教育部長

守本とも子 平18・4・1～20・3・31  
脇田満里子 平20・4・1～24・3・31  
軸丸 清子 平24・4・1～26・3・31  
石澤美保子 平26・4・1～30・3・31  
川上あずさ 平30・4・1～令4・3・31  
田中 登美 令4・4・1～

### 学生部長

妻鹿 友一 昭39・4・1～43・3・31  
伊藤 登 昭43・4・1～44・4・24  
螺良 義彦 昭44・4・25～44・11・25  
(事務取扱)  
鳥居 健三 昭44・12・9～46・12・8  
黒河内 寛 昭46・12・9～48・12・8  
螺良 義彦 昭48・12・9～50・12・8  
檉葉 周三 昭50・12・9～52・12・6  
榎 泰義 昭52・12・7～53・3・31  
(事務取扱)  
榎 泰義 昭53・4・1～57・3・31  
高楠 彰 昭57・4・1～59・3・31  
村田 吉郎 昭59・4・1～61・3・31  
山本 浩司 昭61・4・1～63・3・31  
廣田 忠臣 昭63・4・1～平2・3・31  
神谷 知彌 平2・4・1～6・3・31  
日浅 義雄 平6・4・1～10・3・31  
山本 浩司 平10・4・1～12・3・31  
市島 國雄 平12・4・1～14・3・31  
吉原紘一朗 平14・4・1～16・3・31

### 総合研究施設部長

神谷 知彌 平6・4・1～8・3・31  
小西 陽一 平8・4・1～12・3・31  
東野 義之 平12・4・1～14・3・31  
米増 國雄 平14・4・1～16・3・31

### 看護短期大学部長

白井 利彦 平8・4・1～10・3・31  
西信 元嗣 平10・4・1～12・3・31  
森川 肇 平12・4・1～16・3・31  
伊藤 明子 平16・4・1～18・3・31  
守本とも子 平18・4・1～19・3・31

## 附属看護専門学校長

緒方 準一 昭29・2・10～35・3・31  
中島 佐一 昭35・4・1～41・7・31  
宝来 善次 昭41・8・1～43・7・31  
石川 昌義 昭43・8・1～45・7・31  
福井 定光 昭45・8・1～47・7・31  
堀 浩 昭47・8・1～47・8・4  
(事務取扱)  
坂本 邦樹 昭47・8・5～52・7・31  
堀 浩 昭52・8・1～52・11・24  
(事務取扱)  
梅垣 健三 昭52・11・25～52・12・6  
(事務取扱)  
中尾 圭一 昭52・12・7～53・3・31  
(事務取扱)  
中尾 圭一 昭53・4・1～57・3・31  
石川 兵衛 昭57・4・1～59・3・31  
一條 元彦 昭59・4・1～63・3・31  
内海庄三郎 昭63・4・1～平2・3・31  
松永 喬 平2・4・1～6・3・31  
玉井 進 平6・4・1～8・3・31  
白井 利彦 平8・4・1～10・3・31  
西信 元嗣 平10・4・1～11・3・31

## 事務局長

片岡 忠治 昭21・1・1～28・6・21  
福本 政雄 昭28・6・22～32・2・27  
岡本 俊雄 昭32・2・28～32・10・11  
松本 善裕 昭32・10・12～43・4・30  
岡本 俊雄 昭43・5・1～45・12・1  
伊藤 和夫 昭45・12・2～46・4・30  
竹田 初生 昭46・5・1～46・7・9  
三井 善一 昭46・7・10～50・3・31  
南本 佐 昭50・4・1～53・3・31  
今西 寅二 昭53・4・1～54・3・31  
今西 三良 昭54・4・1～55・3・31  
戴田 忠昭 昭55・4・1～58・3・31  
梅垣 健三 昭58・4・1～58・4・12  
(事務取扱)  
榎井 勝 昭58・4・13～59・3・31  
喜多 清 昭59・4・1～59・11・30  
西川 公二 昭59・12・1～60・3・31  
木岡 源次 昭60・4・1～61・3・31  
八田 栄次 昭61・4・1～63・3・31  
安曾田 豊 昭63・4・1～平元・3・31  
力馬 通郎 平元・4・1～2・3・31  
大森光三郎 平2・4・1～4・7・31  
岩本 正雄 平4・8・1～5・3・31  
(事務取扱)  
辻 政紀 平5・4・1～8・3・31  
福井 常夫 平8・4・1～10・3・31  
大倉 潔 平10・4・1～12・3・31  
安川 宣彦 平12・4・1～14・6・6  
上森 健廣 平14・6・7～16・3・31  
松田 光央 平16・4・1～18・3・31  
瓜生 英明 平18・4・1～19・3・31  
山下 昌宏 平26・4・1～28・3・31  
(事務取扱)  
中川 裕介 平28・4・1～29・3・31  
(事務取扱)

杉山 孝 平29・4・1～31・3・31  
(事務取扱)  
西浦 嘉彦 平31・4・1～令3・3・31  
(事務取扱)  
宇都宮弘和 令3・4・1～  
(事務取扱)

## 9. 歴代役員

### 理事長

吉田 修 平19・4・1～20・3・31  
吉岡 章 平20・4・1～26・3・31  
細井 裕司 平26・4・1～

### 副理事長

瓜生 英明 平19・4・1～19・5・10  
西尾 哲夫 平19・5・11～23・3・31  
米田 隆史 平23・4・1～23・5・8  
(職務代理)  
橋本 弘隆 平23・5・9～26・3・31  
林 洋 平26・4・1～令3・3・31  
栢井 和也 令3・4・1～

### 理事(総務・経営担当)

瓜生 英明 平19・4・1～22・3・31  
米田 隆史 平22・4・1～24・3・31  
(職務代理)  
大西 峰夫 平24・4・1～26・3・31  
山下 昌宏 平26・4・1～28・3・31  
中川 裕介 平28・4・1～29・3・31  
杉山 孝 平29・4・1～31・3・31  
西浦 嘉彦 平31・4・1～令3・3・31  
宇都宮弘和 令3・4・1～

### 理事(教育・研究担当)

大西 武雄 平19・4・1～20・3・31  
喜多 英二 平20・4・1～26・3・31  
車谷 典男 平26・4・1～令2・3・31  
嶋 緑倫 令2・4・1～

### 理事(医療担当)

榎 壽右 平19・4・1～24・3・31  
古家 仁 平24・4・1～令2・3・31  
吉川 公彦 令2・4・1～

### 理事(渉外・企画担当)

吉岡 章 平19・4・1～20・3・31

### 理事(広報・渉外担当)

細井 裕司 平24・4・1～26・3・31  
細井 裕司 平26・4・1～令2・3・31  
(事務取扱)  
中川 裕介 令2・4・1～令2・10・31  
細井 裕司 令2・11・1～  
(事務取扱)

### 監事

當麻 一郎 平19・4・1～21・3・31  
石黒 良彦 平19・4・1～22・3・31  
伊藤 一博 平21・4・1～25・3・31  
瓜生 英明 平22・4・1～24・3・31  
山田 陽彦 平24・7・1～  
岸 秀隆 平25・4・1～28・6・30  
篠藤 敦子 平28・7・1～

## 10. 名誉教授

発令 番号	氏名	授与年月日
1	今村 荒男	昭35・5・1
2	岩永 仁雄	昭35・5・1
3	吉松 信宝	昭35・5・1
4	上田 常吉	昭35・5・1
5	神谷 貞義	昭46・8・1
6	緒方 準一	昭47・5・1
7	中島 佐一	昭47・5・1
8	安澄権八郎	昭47・7・1
9	伊藤 登	昭48・5・1
10	内海 貞夫	昭48・5・1
11	宝来 善次	昭48・5・1
12	高田 博	昭49・5・1
13	鎌倉 勝夫	昭50・5・1
14	吉田 邦男	昭50・6・1
15	石川 昌義	昭51・10・1
16	妻鹿 友一	昭55・5・1
17	中尾 主一	昭58・10・1
18	春日 隆	昭59・1・1
19	梅垣 健三	昭59・5・1
20	鳥居 健三	昭59・5・1
21	白鳥 常男	昭63・7・12
22	螺良 義彦	昭63・7・12
23	野津 敬一	昭63・7・12
24	濱田 信夫	昭63・7・12
25	村田 吉郎	平元・4・1
26	坂本 邦樹	平元・4・1
27	増原 建二	平2・4・1
28	内海庄三郎	平2・4・1
29	黒河内 寛	平3・4・1
30	池邊 義教	平4・4・1
31	森山 忠重	平5・4・1
32	福井 弘	平5・4・1
33	石川 兵衛	平6・4・1
34	堀 浩	平6・7・1
35	原 富之	平6・7・1
36	荒木 恒治	平7・4・1
37	櫻葉 周三	平7・4・1
38	廣田 忠臣	平7・4・1
39	奥田 孝雄	平7・4・1
40	高楠 彰	平8・4・1
41	榎 泰義	平8・4・1
42	神谷 知彌	平8・4・1
43	井川 玄朗	平8・4・1
44	一條 元彦	平8・4・1
45	伊東 信行	平8・6・1
46	佐藤 壽昌	平8・10・1
47	河野洋太郎	平9・4・1
48	岡島英五郎	平9・4・1
49	北村惣一郎	平9・10・1
50	辻井 正	平10・4・1
51	北村 旦	平10・11・1
52	田端 司郎	平11・4・1
53	元木澤文昭	平11・4・1
54	日浅 義雄	平11・4・1
55	山下 節義	平11・4・1
56	高柳 哲也	平11・4・1
57	中野 博	平11・4・1

発令 番号	氏名	授与年月日
58	松永 喬	平11・4・1
59	玉井 進	平12・4・1
60	西信 元嗣	平12・4・1
61	白井 利彦	平12・4・1
63	小西 陽一	平13・4・1
64	成田 亘啓	平13・4・1
65	打田日出夫	平13・4・1
66	山本 浩司	平14・4・1
67	杉村 正仁	平14・4・1
68	市島 國雄	平15・4・1
69	大石 元	平15・4・1
70	伊藤 善將	平16・4・1
71	高橋 賢博	平16・4・1
72	中嶋 敏勝	平16・4・1
73	三井 宜夫	平16・12・1
74	本田陽太郎	平17・4・1
75	米増 國雄	平17・4・1
76	森川 肇	平17・4・1
77	吉原紘一朗	平18・4・1
78	宮川 幸子	平19・4・1
79	吉田 修	平20・4・1
80	東野 義之	平21・4・1
81	高倉 義典	平21・4・1
82	中村 忍	平21・4・1
83	豊田 剛	平22・4・1
84	大西 武雄	平22・4・1
85	原 嘉昭	平22・4・1
86	石坂 重昭	平23・4・1
87	榊 壽右	平24・4・1
88	大崎 茂芳	平24・4・1
89	高木 都	平24・4・1
90	平尾 佳彦	平24・4・1
91	吉岡 章	平26・4・1
92	喜多 英二	平26・4・1
93	藤村 吉博	平26・4・1
94	澤浦 博	平27・4・1
95	福井 博	平27・4・1
96	脇田満里子	平27・4・1
97	中島 祥介	平28・4・1
98	高橋 幸博	平28・4・1
99	岡本 康幸	平28・4・1
100	上野 聡	平29・4・1
101	木村 弘	平29・4・1
102	小西 登	平29・4・1
103	平井 國友	平30・4・1
104	奥地 一夫	平30・4・1
105	羽竹 勝彦	平31・4・1
106	三笠 桂一	令元・7・1
107	車谷 典男	令2・4・1
108	古家 仁	令2・4・1
109	藤本 眞一	令2・4・1
110	小林 浩	令2・4・1
111	谷口 繁樹	令3・4・1
112	岸本 年史	令3・4・1
113	飯田 順三	令3・4・1
114	斎藤 能彦	令4・4・1
115	長谷川正俊	令4・4・1

## 第2章 予算・決算

### 1. 令和3年度 決算

#### 貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位：千円)

資産の部		負債・純資産の部	
固定資産	24,189,602	固定負債	22,776,538
(うち有形固定資産)	(22,347,587)	(うち長期借入金)	(13,205,636)
(うち無形固定資産)	(1,265,619)	流動負債	14,754,505
(うち投資その他の資産)	(576,396)	(うち未払金)	(8,627,346)
		負債合計	37,531,043
流動資産	18,543,250	資本金	20,066,173
(うち現金及び預金)	(4,939,763)	資本剰余金	△ 15,223,009
(うち未収入金)	(12,943,685)	繰越欠損金	358,645
		(うち当期総未処分利益)	(2,432,970)
		純資産合計	5,201,810
資産合計	42,732,852	負債純資産合計	42,732,853

注：千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない箇所があります。

#### 損益計算書

(令和2年度・令和3年度対比)

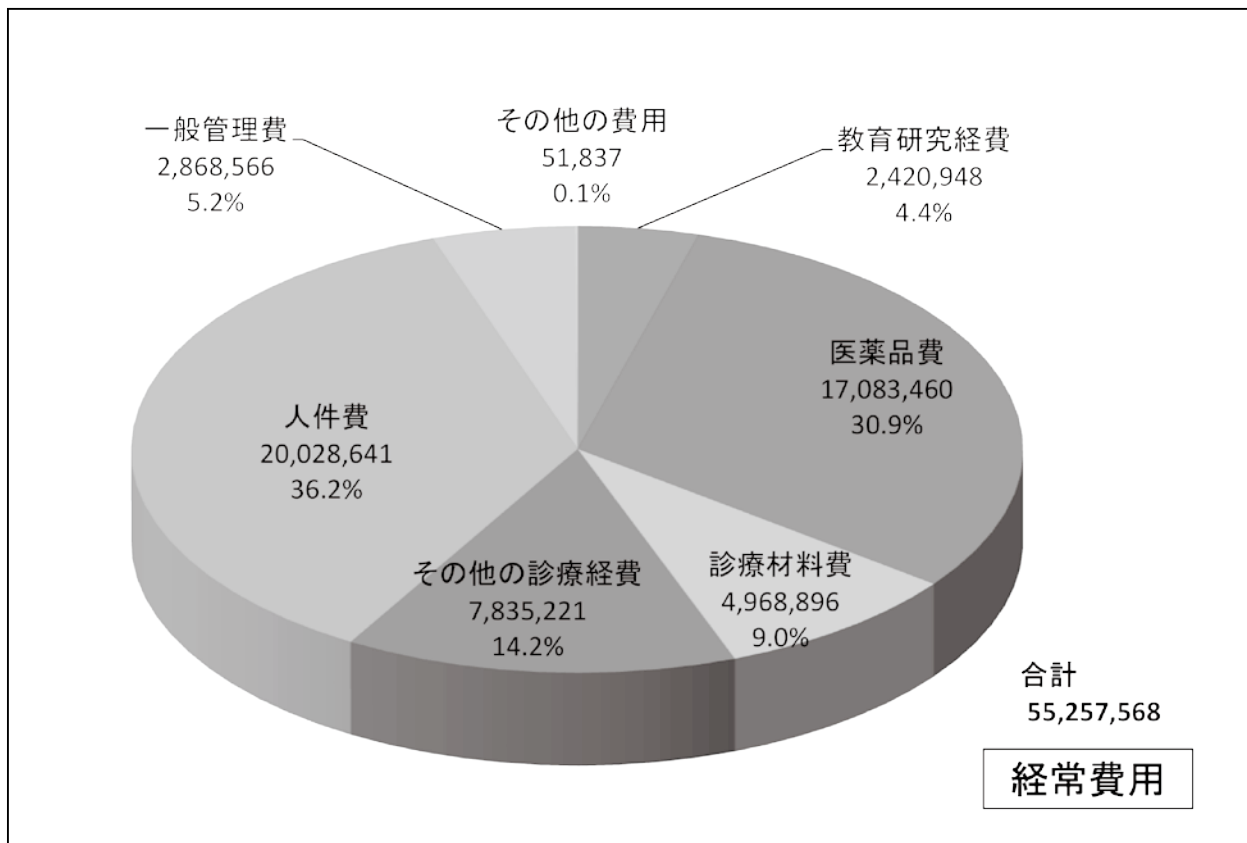
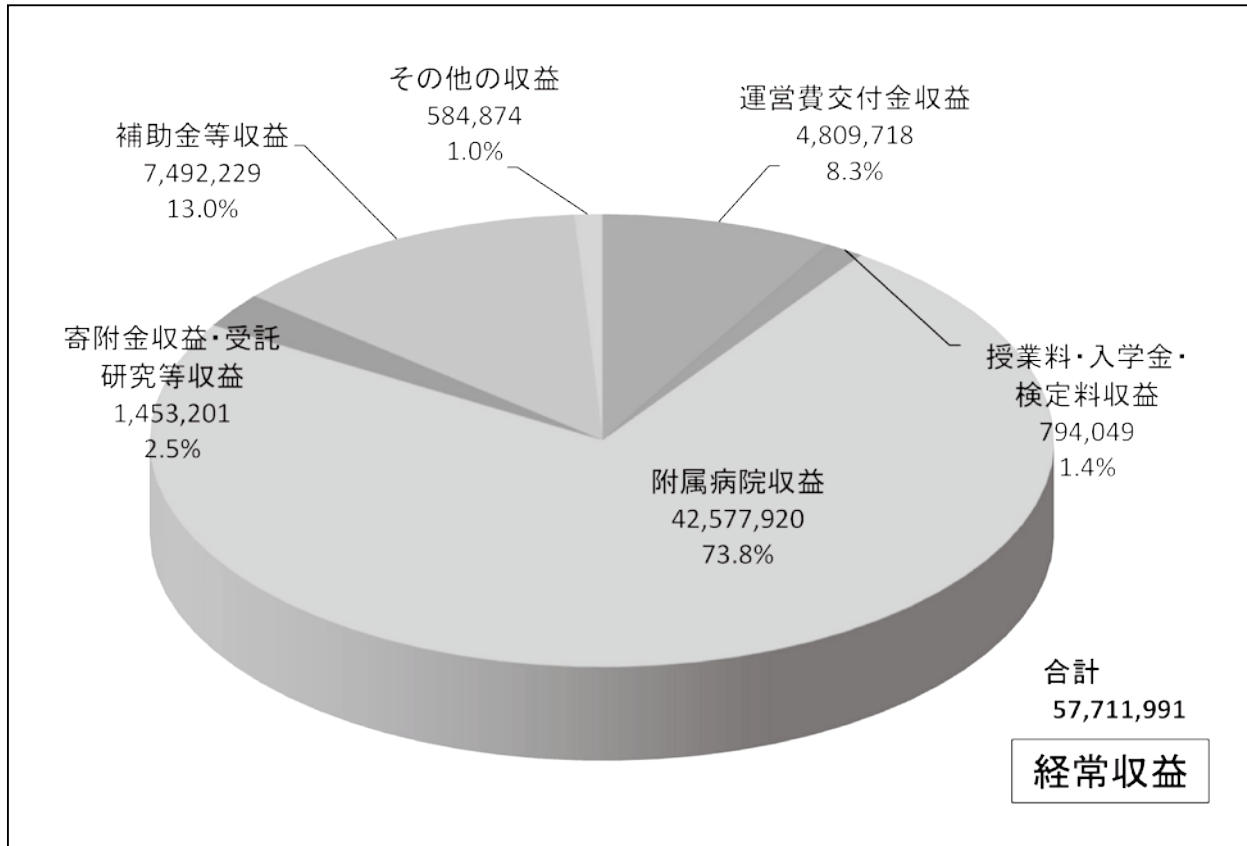
(単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	増減
経常費用			
教育研究経費(受託研究費含む)	2,063,636	2,420,948	357,312
診療経費	28,134,827	29,887,576	1,752,749
人件費	20,124,170	20,028,641	△ 95,529
一般管理費	2,895,243	2,868,566	△ 26,677
その他の費用	55,696	51,837	△ 3,859
経常費用合計	53,273,572	55,257,568	1,983,996
経常収益			
運営費交付金収益	4,869,236	4,809,718	△ 59,518
授業料・入学金・検定料収益	780,350	794,049	13,699
附属病院収益	39,714,645	42,577,920	2,863,275
寄附金収益・受託研究等収益	1,309,643	1,453,201	143,558
補助金等収益	7,113,278	7,492,229	378,951
その他の収益	483,772	584,873	101,101
経常収益合計	54,270,925	57,711,991	3,441,066
経常利益	997,353	2,454,423	1,457,070
臨時損失	73,016	264,706	191,690
臨時利益	3,578	243,254	239,676
当期総利益	927,914	2,432,970	1,505,056

注：千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない箇所があります。

令和3年度決算 収益・費用の構成

(単位：千円)





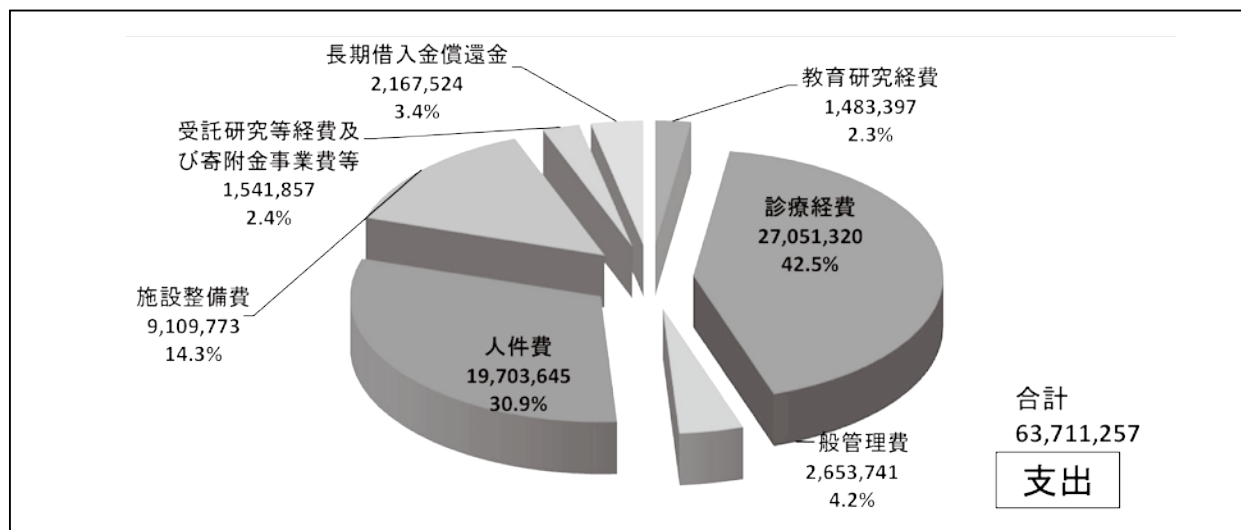
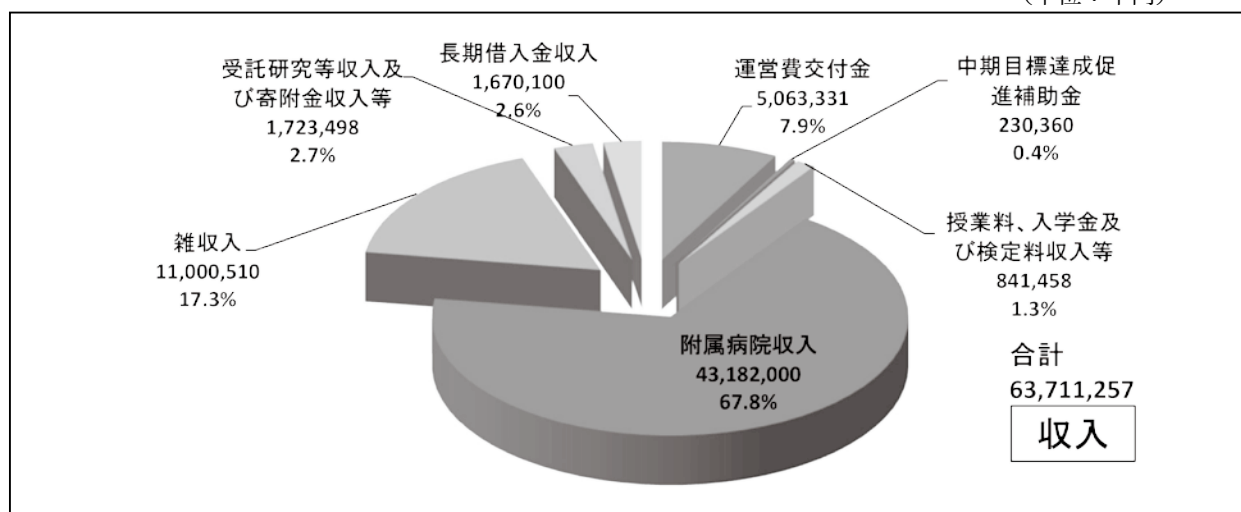
## 2. 年度別予算

(単位：千円)

区 分		令和3年度	令和4年度	増 減
収 入	運営費交付金	4,820,900	5,063,331	242,431
	中期目標達成促進補助金	198,746	230,360	31,614
	自己収入	48,766,183	55,023,968	6,257,785
	授業料、入学金及び検定料収入等	(839,919)	(841,458)	(1,539)
	附属病院収入	(42,569,000)	(43,182,000)	(613,000)
	雑収入	(5,357,264)	(11,000,510)	(5,643,246)
	受託研究等収入及び寄附金収入等	1,580,363	1,723,498	143,135
	長期借入金収入	1,272,700	1,670,100	397,400
	短期借入金収入	0	0	0
計	56,638,892	63,711,257	7,072,365	
支 出	業務費	49,378,107	50,892,103	1,513,996
	教育研究経費	(1,377,386)	(1,483,397)	(106,011)
	診療経費	(26,046,184)	(27,051,320)	(1,005,136)
	一般管理費	(2,670,410)	(2,653,741)	(△ 16,669)
	人件費	(19,284,127)	(19,703,645)	(419,518)
	施設整備費	3,348,943	9,109,773	5,760,830
	受託研究等経費及び寄附金事業費等	1,523,947	1,541,857	17,910
	長期借入金償還金	2,387,895	2,167,524	△ 220,371
計	56,638,892	63,711,257	7,072,365	

### 令和4年度予算 収入・支出の構成

(単位：千円)



## 第3章 大学・大学院

### 教育目標

#### 医学科

##### アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

理念を踏まえ、地域の医療と世界の医学・医療の発展を担い、人類の健康と福祉に貢献できる人材を育成するために、次のような資質を持った人を求めています。

##### <医学部医学科が求める学生像>

1. 医師となる自覚が強く、人を思いやる心をもつ、人間性豊かな人  
医師に求められる旺盛な科学的探求心、自然および人間・社会についての幅広い知識と向学心、自ら問題を解決しようとする主体性を持った人を求めます。加えて、豊かな人間性、高い倫理観ならびに社会性を有する人を求めます。
2. 患者の立場に立って判断し、患者が安心して受診できる医師となれる人  
医師には医学的知識とともに、良好な患者・医師関係を築くことができる十分なコミュニケーション能力、他職種と連携しチーム医療をリードできる能力が必要です。医師として自己研鑽ができ、自己の理念を持っているとともに、協調性に優れた人を求めます。
3. 将来性豊かで、奈良県だけでなく日本、世界の医学界をリードできる人  
地域医療に貢献するとともに、国際的にも活躍できる医師・研究者を育成します。入学後、世界の医学界でも活躍できる意欲と能力を高め、積極的に地域社会および国際社会に貢献できる人を求めます。

##### <入学者選抜の基本方針>

高等学校等で学習する全ての教科が医学科教育の土台になるため、いずれの入試においても、大学入学共通テストで、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。

##### 【一般選抜（前期日程及び後期日程）】

本個別学力検査では、医学科の学修に十分対応できる知識とそれを利活用した思考力、判断力及び表現力を確認します。さらに、面接を行い、本学のアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに係る資質を確認します。

##### 【学校推薦型選抜】

緊急医師確保枠をはじめ、地域における高度な医療を推進し発展させることを目指す地域枠への入学を希望する人を対象に行います。個別学力検査、面接等で将来、地域医療・医学に貢献しようとする志し及び本学のアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに係る資質を確認します。

##### カリキュラムポリシー

1. 倫理観とプロフェッショナリズムの育成、コミュニケーション教育  
教養教育では、自律心の向上と倫理学教育に重点を置く。プロフェッショナリズム、コミュニケーション教育に資するため、早期から、高齢者や乳幼児、障害者の施設を見学する機会を持ち、現場で人間の触れ合いを通じて知識だけでなく実践的な医療倫理的素養を培うカリキュラムを配置する。
2. 医学、医療とこれらに関連する領域の知識、技能、態度の習得  
医学の基盤となる知識を早期から段階的に積み上げていく教育カリキュラムを配置する。
  - ①教養教育では語学や自然科学の基本を習得し、生命科学を学ぶための基盤を作り上げるカリキュラムを配置する。
  - ②基礎医学では、医学の根幹となる解剖学、生理学、生化学を学び、さらに、発展的な基礎医学知識を獲得できるように段階的なカリキュラムを配置する。
  - ③臨床医学では、広範な知識と基本的臨床技能を習得できるようなカリキュラムを配置する。知識、技能、態度が共用試験（CBT、Pre-CC OSCE）による全国共通試験でも確認された後に、Student Doctorとして臨床実習に参加させる。
  - ④臨床実習では、診療参加の実態を確保し、医療面接と診療技法を中心に実践的な教育を行う。また、臨床実習の終了時点でPost-CC OSCEを実施し、得られた臨床技能、態度の確認を行う。
3. 国際的な視野と科学的探究心の育成  
すべての学生に、研究マインドを涵養するべく、リサーチ・クラークシップを実施する。関心の高い学生には、早期から生命科学系の研究に参加できるように、6年一貫の「研究医養成コース」を設けている。海外での実習の機会も設ける。
4. 医療を通じた地域社会への貢献  
医療システムについての理解を深めることはもちろんであるが、大学内のみならず、奈良県を中心に地域社会、地域医療と関わりを持つ実体験を通じて、奈良の医療を良くしたいという意欲を高める体験型の教育を行っていく。このための6年一貫の「地域基盤型医療教育コース」を設ける。

##### ディプロマポリシー

所定の期間在学し、カリキュラムポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位と時間数を修得することが学位授与の要件である。卒業時には以下の能力が求められる。

1. 生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観とプロフェッショナリズムを身につけている。
2. 医学とそれに関連する領域の正しい知識を身につけている。
3. 医療を適切に実践できる知識、技能、態度を身につけている。
4. 良好な医療コミュニケーション能力を身につけている。
5. 医学、医療、保健を通じて地域社会へ貢献する意欲と能力を身につけている。
6. 国際的な視野と科学的探究心を身につけている。

## 看護学科

### アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

本学は、医療の分野において看護学の立場から社会に貢献できる人材を育成するため、次のような資質を持った人を求めています。

＜医学部看護学科が求める学生像＞

1. 自らを律し、人を思いやる心をもつ、人間性豊かな人  
看護は人々の健康にかかわる日々の生活を支える営みであり、対象となる人の考えや気持ちを理解し、信頼関係を築くことが大切です。そのために、人との交流を大切に、多様な価値観を受け入れ、他者と信頼関係を築ける豊かな人間性と高い倫理観を持つことを求めます。
2. 幅広い知識と確かな基礎学力を有し、看護学への興味と科学的探究心をもって学習に取り組める人  
看護の専門的知識を学ぶためには、その前提となる基礎学力を身につけておく必要があります。そのうえで、看護の対象となる人を多面的に理解して、科学的根拠のある看護を探求し、努力を惜しまず学習する姿勢を求めます。
3. 国際的な視野で考え行動できるとともに、地域の保健・医療・福祉に貢献する熱意と行動力のある人  
人々の健康を取り巻く社会は目まぐるしく変化します。地域のみならず国際社会に関心を持ち、地域の保健・医療・福祉に貢献する熱意をもって行動できる人を求めます。
4. 奈良県立医科大学を愛し、その将来を担う志をもつ人  
卒業生には、看護学とその関連領域においてマネジメント能力を発揮し活躍できることが期待されます。本学の理念および教育目標を十分に理解し、奈良県内の医療機関において看護職者として貢献する明確な目標を持っている人を求めます。

＜入学者選抜の基本方針＞

#### 【一般選抜（前期日程）】

大学入学共通テストで、高等学校教育段階において目指す基礎学力の達成度を測ります。また、個別学力検査では、小論文試験により、図表の解釈を含めた理解力、思考力、表現力及び論理的思考力等の看護学を学ぶために必要な能力を備えているかを評価し、面接試験により、学ぶ意欲や看護への関心を確認します。

#### 【学校推薦型選抜】

卒後、奈良県内で活躍し、地域医療に貢献しようとする積極的な意志を持つ学生を対象とします。調査書、推薦書及び志望理由書によって、高等学校教育段階において目指す基礎学力の達成度と学習への意欲をみます。また、個別学力検査では、小論文試験により、理解力、思考力、表現力及び論理的思考力等の看護学を学ぶために必要な能力を備えているかを評価し、面接試験により、学ぶ意欲や看護への関心を確認します。

### カリキュラムポリシー

医学部看護学科であることを最大限に生かし、医学教育と連携して、専門性の高い知識、技術、態度を身につけた学生を育成することを目標として、看護教育カリキュラムを構成する。

1. 基礎分野における「人間・社会の理解」において人間の尊厳と生命の尊重を理解し、高い倫理観を養う教養科目を配置する。
2. 専門基礎分野における「生活・環境の理解」と「健康の理解」において対象者の健康と疾病、障害、環境に関する専門知識および観察力を養う科目を配置する。
3. 専門分野における「看護学の基本」と「看護学の展開」において対象者の健康状態を的確にアセスメントでき、個別性のある看護が展開できる実践能力を養う科目を配置する。
4. 専門分野における「看護学の発展と探究」において看護に関する研究能力を養う科目を配置する。
5. 基礎分野における「国際理解」と専門分野における「看護学の発展と探究」において国際社会と地域社会で活躍できる能力を養う科目を配置する。
6. 専門基礎分野における「生活・環境の理解」、専門分野における「公衆衛生看護学」において地域の保健医療活動が展開できる実践能力を養う科目を配置する。

### ディプロマポリシー

所定の期間在学し、カリキュラムポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位を修得することが学位授与の要件である。卒業時には以下の能力が求められる。

1. 生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観に基づいた全人的ケアを提供できる基礎能力を身につけている。
2. 目的意識を持って、対象者に応じた科学的根拠のある技術の適用と必要性を判断できる基礎能力を身につけている。
3. 対象者の健康状態を的確にアセスメントでき、個別性のある看護を展開する基礎的な実践技術を身につけている。
4. 保健医療における関連職種との協働やヘルスケアシステムにおけるマネジメントの基礎的能力を身につけている。
5. 国際社会および地域社会で活躍できる資質を身につけている。
6. 看護職者としてのアイデンティティを確立し、人間的に成長し続ける姿勢を身につけている。

## 医学研究科

### アドミッションポリシー

1. 独創的な発想と科学的探究心に富み、豊かな人間性をもつ人
2. 医学、医療の分野において、高度の知識、技能を習得し、地域社会に貢献する人
3. 国際的な視野に立ち、高度の研究を通して医学の発展に寄与する人
4. 研究、教育、臨床のいずれの分野においても指導者となる志をもつ人

### カリキュラムポリシー

(修士課程)

1. 大学院研修プログラムを受講し、専攻する領域と医科学全体の関係をよく理解し、幅広い知識、技能を身につけるためのカリキュラムを配置する。
2. 医科学分野の専門的知識を修得し、新たな研究を企画、展開できる能力を培うためのカリキュラムを配置し、地域社会に貢献する人材を育成する。

(博士課程)

1. 大学院研修プログラムの受講と学位公聴会の聴講を通して、高度な医学専門知識を修得し、専攻科目に関連する幅広い知識、技能を身に付けるための必要なカリキュラムを配置する。
2. 2年次終了時の中間報告会において、研究評価を行うことで、最終年度での研究成果のとりまとめに資する。
3. 研究指導教員および研究指導補助教員による個別指導カリキュラムによって、自立した研究活動が行える能力を培う。

### ディプロマポリシー

(修士課程)

本大学院に2年以上（優れた研究業績を上げた者については1年以上）在学し、指導教員の研究分野に所属して研究指導を受け、講義、演習、特別研究の30単位以上を修得し、修士論文の審査および最終試験に合格することが、課程の修了と学位授与の必要条件である。

1. 医科学に関する確かな専門的知識と深い学識を修得している。
2. 生命科学、社会科学、情報科学などの知識を活用して、研究能力が発揮できる。

(博士課程)

本大学院に4年以上（優れた研究業績を上げた者については3年以上）在学し、指導教員の研究分野に所属して研究指導を受け、講義、演習、実験・実習の34単位以上を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格することが、課程の修了と学位授与の必要条件である。

1. 医学に関する高度な学識と研究能力を修得し、未開の領域を切り開く能力と意欲が身につけている。
2. 先端医学・医療に貢献できる高度の専門的な能力が身につけている。

## 看護学研究科

### アドミッションポリシー

1. 人間に対する深い関心と生命倫理や医療倫理を身につけている人
2. 専攻分野における基礎知識を身につけている人
3. 自ら進んで課題に取り組む意欲と探究心がある人
4. 看護学の教育、研究、実践の分野で地域社会に貢献する意志があり、看護学関連分野を学習してきた人

### カリキュラムポリシー

1. 教育理念・目的に基づき、豊かな感性、人間性と高度専門職業人としての倫理観を備え、高度化、専門分化および多様化していく医療に要求される知識や技術を的確に習得、発展させながら、実践科学としての看護学を探究する高度な実践能力と基礎的な研究能力を育成するために必要なカリキュラムを配置する。
2. 看護学コースと助産学実践コースを置き、すべての学生が幅広く専門知識を修得するために共通科目を配置する。看護学コースでは各専門分野に必要な能力を養成するために、特論、演習、特別研究の授業科目を配置する。さらに助産学実践コースでは助産師となるために必要な特論、演習、実習科目を配置する。

### ディプロマポリシー

本大学院に2年以上（優れた研究業績を上げた者については1年以上）在学し、授業科目について、看護学コースのうち、論文コースにあつては30単位以上修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格することが、高度実践コースの高度実践看護師教育課程（専門看護師教育課程）にあつては40単位以上、同コースの周産期看護師教育課程にあつては46単位以上修得し、かつ、特定の課題についての研究の成果（以下、「課題研究成果物」という。）の審査及び最終試験に合格することが、助産学実践コースにあつては、58単位以上修得し、かつ、課題研究成果物の審査及び最終試験に合格することが、課程の修了と学位授与の必要条件である。修了時には以下の能力が求められる。

1. 看護学に関する確かな専門知識と深い学識を修得している。
2. 生命科学、社会科学、情報科学などの知識を活用して研究能力が発揮できる。
3. 看護専門職者（論文コース修了者）として、地域医療での指導能力を発揮できる。
4. 看護専門職者（高度実践コース修了者）として、高度な実践能力と指導能力を発揮できる。
5. 看護専門職者（助産学実践コース修了者）として、地域における周産期医療での指導能力と高度な実践能力を発揮できる。

## 1. 学生定員及び現員 R4.5.1 現在

### (1) 医学部医学科

学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
区分								
定員		113	115	115	115	115	115	688
現員	男	80	94	77	83	84	71	489
	女	35	32	40	26	28	31	192
	計	115	126	117	109	112	102	681

### (2) 医学部看護学科

学年		1年	2年	3年	4年	合計
区分						
定員		85	85	85	85	340
現員	男	6	7	3	3	19
	女	79	78	82	90	329
	計	85	85	85	93	348

### (3) 大学院 <博士課程>

学年	1年				2年				3年				4年				合計				
	区分	定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員		
			男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計				
医科学専攻	40	38	7	45	40	38	13	51	40	51	12	63	40	37	8	45	160	164	40	204	
計	40	38	7	45	40	38	13	51	40	51	12	63	40	37	8	45	160	164	40	204	

### (4) 大学院 <修士課程>

学年	1年				2年				合計				
	区分	定員	現員			定員	現員			定員	現員		
			男	女	計		男	女	計		男	女	計
医科学専攻	5	2	3	5	5	6	0	6	10	8	3	11	
看護学専攻	10	0	9	9	10	0	10	10	20	0	19	19	
計	15	2	12	14	15	6	10	16	30	8	22	30	

## 2. 県内・県外別学生数 R4.5.1 現在

### (1) 医学部医学科

学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
区分								
県内		36	29	27	28	27	30	177
県外		79	97	90	81	85	72	505
計		115	126	117	109	112	102	682

### (2) 医学部看護学科

学年		1年	2年	3年	4年	合計
区分						
県内		47	48	52	56	203
県外		38	37	33	37	145
計		85	85	85	93	348

### (3) 大学院 <博士課程>

学年		1年	2年	3年	4年	合計
区分						
県内		16	28	16	22	82
県外		29	23	47	23	122
計		45	51	63	45	204

### (4) 大学院 <修士課程>

#### ① 医科学専攻

学年		1年	2年	合計
区分				
県内		2	1	3
県外		3	5	8
計		5	6	11

#### ② 看護学専攻

学年		1年	2年	合計
区分				
県内		2	3	5
県外		7	7	14
計		9	10	19

### 3. 志願者数及び入学者数

#### (1) 医学部医学科

年 度	平成 29				平成 30				平成 31				令和 2				令和 3				令和 4							
	推 薦		一 般		推 薦		一 般		推 薦		一 般		推 薦		一 般		推 薦		一 般		推 薦		一 般					
	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	後期				
入学定員	113				113				113				113				113				113							
日程別 入学定員	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53
志願者数 A	153	173	324	1418	111	178	201	929	126	169	205	797	123	149	163	968	75	143	153	888	78	140	143	130				
第 1 段階選抜 合格者数	実施なし				742				742				742				742				742							
受験者数 B	137	167	283	288	102	173	167	336	117	168	178	358	116	147	138	298	72	140	123	271	74	137	117	201				
合格者数 C	14	25	22	61	13	25	22	59	13	25	22	64	13	25	22	64	13	25	22	67	13	25	22	60				
追加合格者数 (Cの内数)	1	—	—	8	—	—	—	6	—	—	—	11	—	—	—	11	—	—	—	14	—	—	—	7				
入学者数	113				113				113				113				113				113							
日程別 入学者数	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53				
志願倍率 A/C	10.9	6.9	14.7	23.2	8.5	7.1	9.1	15.7	9.7	6.8	9.3	12.5	9.5	6.0	7.4	15.1	5.8	5.7	7.0	13.3	6.0	5.6	6.5	21.9				
競争倍率 B/C	9.8	6.7	12.9	4.7	7.8	6.9	7.5	5.6	9.0	6.7	8.1	5.6	8.9	5.9	7.4	4.7	5.5	5.6	5.6	4.0	5.7	5.5	5.3	3.4				

#### (2) 医学部看護学科

年 度	平成 29				平成 30				平成 31				令和 2				令和 3				令和 4			
	推 薦	社 会 人	一 般 (前期)		推 薦	社 会 人	一 般 (前期)		推 薦	社 会 人	一 般 (前期)		推 薦	一 般 (前期)	地 域 枠	推 薦	一 般 (前期)	地 域 枠	推 薦	一 般 (前期)	地 域 枠	推 薦	一 般 (前期)	地 域 枠
			一 般 枠	地 域 枠			一 般 枠	地 域 枠			一 般 枠	地 域 枠												
入学定員	35	5	35	10	35	5	35	10	35	5	35	10	35	40	10	35	40	10	35	40	10	35	40	10
志願者数 A	80	8	55	38	77	6	107	33	67	6	113	44	68	97	44	88	105	40	70	73	37			
第 1 段階選抜 合格者数	実施なし				実施なし				実施なし				実施なし				実施なし							
受験者数 B	79	8	53	37	77	6	101	33	65	6	111	43	68	94	43	88	102	38	69	91	37			
合格者数 C	35	1	37	15	35	3	36	13	35	2	37	13	35	42	10	35	40	10	35	40	10			
追加合格者数 (Cの内数)	—	—	2	—	—	—	1	—	—	—	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—			
入学者数	35	0	35	15	35	2	35	13	35	2	35	13	35	40	10	35	40	10	35	40	10			
志願倍率 A/C	2.3	8.0	1.5	2.5	2.2	2.0	2.9	2.5	1.9	3.0	3.0	3.4	1.9	2.3	4.4	2.5	2.6	4.0	2.0	1.8	3.7			
競争倍率 B/C	2.3	8.0	1.4	2.5	2.2	2.0	2.8	2.5	1.9	3.0	3.0	3.3	1.9	2.2	4.3	2.5	2.6	3.8	2.0	1.8	3.7			

注：一般選抜後期日程は平成 27 年度に廃止、編入学試験は平成 28 年度に廃止、社会人特別選抜試験は平成 31 年度に廃止しています。

#### (3) 大 学 院 <博士課程>

区 分	年 度	平成 29		平成 30		平成 31		令和 2		令和 3		令和 4	
		秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋		
志 願 者 数		48	6	40	5	43	6	58	11	45	8	41	
入学者数	本学出身者	25	3	29	3	31	3	41	4	25	6	26	
	他大学出身者	12	3	11	1	11	2	17	6	17	1	12	
	計	37	6	40	4	42	5	58	10	42	7	38	

(4) 大学院 <修士課程>

① 医科学専攻

区分		年度	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	令和 4
志願者数			9	11	8	10	6	5
入学者数	本学出身者		0	0	0	1	0	0
	他大学出身者		6	10	7	7	6	5
	計		6	10	7	8	6	5

② 看護学専攻

区分		年度	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	令和 4
志願者数			20	17	16	18	16	15
入学者数	本学出身者		5	7	4	4	2	7
	他大学出身者		6	4	7	8	7	2
	計		11	11	11	12	9	9

## 4. 卒業生数

(1) 医学部 医学科

回 卒業年 男女別	医学専門 学校 合計	旧制県立 医科大学 合計	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	新制医科 大学 合計	卒業生数 合計
			平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	令和 4		
男	95	151	75	74	71	65	75	74	91	78	88	76	4,086	4,332
女	—	—	25	22	32	40	34	33	25	27	25	36	1,161	1,161
計	95	151	100	96	103	105	109	107	116	105	113	112	5,247	5,493

(2) 医学部 看護学科

卒業年 男女別	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	令和 4	卒業生数 合計
男	5	7	2	4	3	5	2	4	2	4	58
女	76	80	80	78	83	83	82	80	81	72	1,213
計	81	87	82	82	86	88	84	84	83	76	1,271

(3) 大学院 (博士課程単位修了者数)

卒業年 男女別	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	令和 4	合計
男	15	16	21	13	17	17	36	51	38	35	872
女	4	5	6	7	5	4	9	8	6	11	134
計	19	21	27	20	22	21	45	59	44	46	1,006

(4) 大学院 (修士課程修了者数)

① 医学研究科

卒業年 男女別	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	令和 4	合計
男	5	8	2	5	9	4	5	7	7	7	71
女	4	2	4	4	3	2	2	3	0	2	32
計	9	10	6	9	12	6	7	10	7	9	103

② 看護学研究科

卒業年 男女別	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	令和 4	合計
男	0	1	1	0	0	1	0	2	6
女	10	4	10	8	11	10	8	12	81
計	10	5	11	8	11	11	8	14	87

## 5. 卒業後の状況

### (1) 医学部医学科

状 況		卒業年 (年度)	平成 30 (H29)	平成 31 (H30)	令和 2 (R1)	令和 3 (R2)	令和 4 (R3)
卒業者	卒業生数		107	116	105	113	112
	内 訳	県内出身者	34	40	31	33	37
		県外出身者	73	76	74	80	75
県 内	卒業後 臨床研修 プログラム名	奈良医療圏	6	12	9	7	2
		西和医療圏	2	6	7	4	9
		東和医療圏	2	0	3	6	4
		中南和医療圏 (内数 医大単独型)	44 (35)	51 (34)	39 (38)	43 (41)	57 (42)
		その他医療機関	8	2	1	0	0
	小 計		62	69	59	60	72
県 外	卒業後 臨床研修 施設	他大学附属病院	8	6	9	13	7
		その他医療機関	36	30	36	32	27
	小 計		44	36	45	45	34
そ の 他		1	9	1	8	6	

### (2) 医学部看護学科

状 況		卒業年 (年度)	平成 30 (H29)	平成 31 (H30)	令和 2 (R1)	令和 3 (R2)	令和 4 (R3)
卒業者	卒業生数		88	84	84	83	76
	内 訳	県内出身者	61	50	44	53	43
		県外出身者	27	34	40	30	33
県 内	看護師	本学附属病院	37	42	45	48	46
		県内病院	4	7	0	2	1
	保 健 師		4	7	6	2	5
県 外	看護師	公立病院	14	10	15	12	12
		私立病院	15	10	7	14	4
	保 健 師		5	0	1	2	3
進 学		7	5	5	3	3	
そ の 他		1	3	5	0	2	

## 6. 学位授与者数

区 分 年 度	大 学 院 修 了 者										学位論文提出者	計
	生理系	病理系	社会医学系	内科系	外科系	健康医学 地域医療	病態制御医学 生体情報 再 建	生体分子機能	医科学	計		
平成 29	—	—	—	—	—	2	6	6	—	14	18	32
平成 30	—	—	—	—	—	7	8	10	—	25	10	35
令和 元	—	—	—	—	—	8	11	17	—	36	28	64
令和 2	—	—	—	—	—	—	—	—	48	48	53	101
令和 3	—	—	—	—	—	—	—	—	48	48	48	96
新制学位 授与者累計	48	88	12	160	223	48	60	105	96	840	1,556	2,396



### 7. 研究生数、専修生数、医科学研究生数及び博士研究員数 各年度5月1日現在

区分	年度	平成30	平成31	令和2	令和3	令和4
研究生		13	7	5	—	—
専修生		49	34	19	—	—
医科学研究生		24	23	18	23	18
博士研究員		123	136	142	157	169

### 8. 解剖件数

種別	系統解剖	病管	法医学	計
平成29	27	58	178 (司法解剖：149 新法解剖：29)	263
平成30	25	42	186 (司法解剖：155 新法解剖：31)	253
令和元	27	40	222 (司法解剖：194 調査法解剖：28)	289
令和2	27	27	193 (司法解剖：180 調査法解剖：13)	247
令和3	27	13	226 (司法解剖：201 調査法解剖：25)	266

### 9. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業

R4.5.1 現在  
(件、千円)

年 度	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	応募件数	応募金額	交付決定件数	交付決定金額	応募件数	応募金額	交付決定件数	交付決定金額	応募件数	応募金額	交付内定件数	交付内定金額
学術変革領域研究 (A)	1	65,500	0	0	6	135,510	1	2,900 (870)	5	92,300	-	-
学術変革領域研究 (B)	2	25,000	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
新学術領域研究	13	54,160	3	27,600 (8,280)	8	37,500	2	19,000 (5,700)	4	23,300	2	16,300 (4,890)
基盤研究 (A)	4	39,340	4	31,000 (9,300)	4	22,100	4	22,100 (6,630)	4	23,700	4	23,700 (7,110)
基盤研究 (B)	34	173,219	14	52,600 (15,780)	32	159,204	15	51,100 (15,330)	23	116,048	14	47,600 (14,280)
基盤研究 (C)	227	325,157	113	117,200 (35,160)	277	425,533	133	140,400 (42,120)	270	404,617	148	147,700 (44,310)
挑戦的研究 (開拓)	1	2,170	0	0	2	11,750	0	0	2	14,950	-	-
挑戦的研究 (萌芽)	14	31,339	3	6,200 (1,860)	19	39,472	2	3,400 (1,020)	16	33,286	-	-
若手研究	175	276,886	90	98,200 (29,460)	136	192,018	93	95,900 (28,770)	135	196,901	84	93,200 (27,960)
若手研究 (B)	2	1,400	2	1,400 (420)								
研究活動スタート支援	6	7,235	3	3,300 (990)	4	4,950	2	2,300 (690)	0	0	0	0
奨励研究	4	3,054	0	0	4	3,317	0	0	1	1,000	0	0
計	483	1,004,460	232	337,500 (101,250)	492	1,031,354	252	337,100 (101,130)	460	906,102	252	328,500 (98,550)

注：( ) は外数で、間接経費として措置された金額

応募件数、金額は応募当初の数値

交付決定(交付内定)件数、金額は配分機関より本学あてに行われた交付決定(交付内定)通知の数値

平成30年度より若手研究(B)は新規応募研究課題の公募を停止、若手研究が新設

## 10. 総合研究施設の状況

### 1. 共同利用施設

#### (1) 動物実験施設

令和3年度動物実験施設利用者数(延べ) 11,009人(実験申請件数 242件)

動物実験用飼育動物数

R4.5.1現在

動物種	飼育数	動物種	飼育数	動物種	飼育数
ラット	204 匹	モルモット	0 匹	雑犬	0 匹
マウス	6,750 匹	ヌードマウス	52 匹	ビーグル犬	5 匹
ハムスター	8 匹	ヌードラット	0 匹	サル	0 頭
砂ネズミ	0 匹	ネコ	0 匹	合計	7,020
ウサギ	0 羽	フタ	1 匹		

#### (2) 大学共同研究施設

#### (3) 組換え DNA 実験施設

組換え DNA 稼働中実験件数 138件(承認82・届出56)(令和4年5月1日現在)

実験実施従事者数 345人

(令和4年5月1日現在)

#### (4) ラジオアイソトープ(RI)実験施設

○業務従事者登録者数 397人(令和4年5月1日現在)

○令和3年度利用者数(延べ) 5階RI実験室 17,140人

○令和3年度RI購入件数 2本

核種別購入量(令和3年度実績)

(単位:MBq)

	<sup>3</sup> H	<sup>125</sup> I	<sup>14</sup> C	<sup>32</sup> P	<sup>35</sup> S	<sup>51</sup> Cr	<sup>33</sup> P	<sup>57</sup> CO	<sup>45</sup> Ca	<sup>22</sup> Na	<sup>86</sup> Rb
5階RI実験室	9.25	—	—	9.25	—	—	—	—	—	—	—

### 2. 各施設実験登録者数

R4.5.1現在(単位:人)

区分	施設別	動物実験	組換え DNA 実験	ラジオアイソトープ 実験
化学		3	1	2
生物学		5	7	4
保健体育		0	0	0
未来基礎医学		0	9	11
解剖学第一		9	6	10
解剖学第二		10	9	10
生理学第一		3	4	4
生理学第二		12	11	15
生化学		5	5	5
血栓止血先端医学		6	6	5
分子病理学		9	4	11
病原体・感染防御医学		3	3	3
微生物感染症学		0	6	0
免疫学		16	12	7
薬理学		4	4	5
疫学・予防医学		1	2	1
公衆衛生学		0	4	1
法医学		6	6	7
発生再生医学		6	5	8
循環器内科学		18	16	30
腎臓内科学		8	6	8
呼吸器内科学		2	4	3
消化器内科学		22	18	20
脳神経内科学		4	9	9
消化器・総合外科学		20	16	24
脳神経外科学		12	6	8
胸部・心臓血管外科学		3	1	1
整形外科		25	11	16
産婦人科学		6	5	3
眼科学		0	3	2
小児科学		17	15	21
精神医学		19	13	17
皮膚科学		4	8	8
泌尿器科学		16	15	16
耳鼻咽喉・頭頸部外科学		14	7	6
放射線診断・IVR学		16	7	13
放射線腫瘍医学		0	1	3
麻酔科学		10	7	4

区分	施設別	動物実験	組換え DNA 実験	ラジオアイソトープ 実験
総合医療学		7	8	9
口腔外科学		15	4	13
救急医学		0	4	2
病理診断学		0	3	3
形成外科		2	0	0
リハビリテーション医学		0	1	1
中央臨床検査部		0	2	0
輸血部		2	3	3
集中治療部		0	3	2
中央放射線部		4	0	1
中央内視鏡部		0	1	1
病院病理部		0	1	0
総合周産期母子医療センター		1	4	3
感染症センター		1	1	2
玉井進記念四肢外傷センター		4	1	1
総合画像診断センター		2	2	1
薬剤部		0	0	0
栄養管理部		0	0	0
臨床研修センター		0	1	1
医療技術センター		0	1	1
臨床研究センター		0	3	1
医療安全推進室		0	0	0
動物実験施設		1	8	10
組換え DNA 実験施設		5	7	7
ラジオアイソトープ実験施設		0	2	2
教育開発センター		0	1	1
女性研究者支援センター		0	2	2
看護学科人間発達学		0	0	0
看護学科臨床病態医学		1	0	0
手の外科講座		0	0	0
血栓止血分子病態学		0	0	0
V-iCliniX		0	2	2
骨軟部腫瘍制御・機能再建医学		2	2	2
地域医療支援教育学		0	0	0
血栓止血医薬生物学		2	3	5
地域医療学		0	0	0
糖尿病学		0	3	0
合計		363	345	397

注:組換え DNA 実験および動物実験の登録については、実験計画が継続・終了の状態を問わず、実験にかかる教育訓練受講済者数を登録数とする。

## 11. 寄附・共同研究等講座の設置状況

種類	講座名	出資者	設置期間	寄附総額
寄附講座	スポーツ医学講座	学校法人 栗岡学園	平成25年度～令和6年度	1億8600万円
寄附講座	手の外科講座	社会医療法人 医真会 医真会八尾総合病院	平成27年度～令和5年度	1億2600万円
寄附講座	血栓止血分子病態学講座	CSL ベーリング株式会社	平成30年度～令和5年度	6600万円
寄附講座	V-iCliniX 講座	公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団	平成30年度～令和5年度	3億円
寄附講座	骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座	京セラ株式会社	平成31年度～令和6年度	1億800万円
寄附講座	地域医療支援・教育学講座	宇陀市	平成31年度～令和4年度	6800万円
寄附講座	前立腺小線源治療講座	日本メジフィジックス株式会社	令和2年度～令和4年度	4950万円
共同研究講座	血栓止血医薬生物学共同研究講座	—	平成30年度～令和5年度	—
補助金による講座	地域医療学講座	奈良県	平成22年度～令和3年度(12年間)	—
補助金による講座	医師・患者関係学講座	奈良県	平成31年度～令和6年度(6年間)	—

## 12. 国際交流協定締結機関

機関名	国・地域	締結年月
チェンマイ大学	タイ王国	平成8年8月
福建医科大学	中華人民共和国	平成16年12月
オックスフォード大学	イギリス	平成20年4月
ルール大学	ドイツ	平成22年4月
ミシガン大学医学部	アメリカ	平成30年12月
Brigham Education Institute	アメリカ	平成31年3月
マレーシアブトラ大学 (MBT 研究所との部局間協定)	マレーシア	令和元年7月

## 13. 国内協定締結機関

機関名	締結年月
同志社女子大学	平成19年6月
早稲田大学	平成20年12月
奈良先端科学技術大学院大学	平成21年3月
明日香村	平成24年7月
株式会社タカトリ	平成25年6月
京都府立医科大学、和歌山県立医科大学、大阪市立大学医学部 (関西公立医科大学・医学部連合)	平成26年9月
橿原市 (まちづくり等に関する包括協定)	平成27年6月
京都府立医科大学、兵庫医科大学、大阪市立大学医学部、和歌山県立医科大学、大阪医科大学、関西医科大学、近畿大学医学部 (関西公立私立医科大学・医学部連合)	平成27年11月
京都大学	平成29年3月
北関東総合警備保障株式会社、栃木県高根沢町 (MBT 研究所との部局間協定)	平成29年10月
橿原市 (災害時における給水支援に関する協定)	令和2年3月
MBT リンク株式会社、北海道沼田町 (MBT 研究所との部局間協定)	令和2年7月
一般社団法人北海道総合研究調査会 (MBT 研究所との部局間協定)	令和2年7月
国立大学研究開発法人量子科学技術研究開発機構	令和2年12月

## 14. 教育研究に関する協定(連携大学院) 15. 大学発ベンチャー企業

機関名	締結年月
独立行政法人国立循環器病研究センター (循環器システム医科学)	平成27年3月
公益社団法人地域医療振興協会 市立奈良病院 (先端画像下治療開発応用学)	平成29年9月
社会医療法人高清会 高井病院 (陽子線腫瘍学)	平成30年3月
一般財団法人小林理学研究所 (医療センシング学)	平成30年3月

機関名	締結年月
MBT リンク株式会社	平成30年10月
MBT 微生物学研究所株式会社	令和3年7月
MBT 感染対策支援コンサルティング株式会社	令和3年10月
株式会社 MBT 保健医療衛生研究開発機構	令和4年1月

## 16. 公開講座「くらしと医学」開催状況

年度(回数)	演 題	演 者	会 場	参加人数
令和3年度 (第46回)	がんを切らずにおおす放射線治療の最先端 がんの顔つきをみる病理医 心不全パンデミック～がんより怖い心不全～	放射線腫瘍医学教授 病理診断学教授 循環器内科学教授 長谷川 正俊 大林 千穂 斎藤 能彦	WEB 配信	445 回視聴
令和2年度 (第45回)	切らずに治す最先端治療-IVR(画像下治療)とは 加齢に伴う心不全-見過ごされがちな3つのこと- 自殺の予防-自殺対策のための戦略研究から- 大人の発達障害の理解	附属病院長、中央放射線部長、IVRセンター長 胸部・心臓血管外科学教授 精神医学教授 人間発達学教授 吉川 公彦 谷口 繁樹 岸本 年史 飯田 順三	WEB 配信	700 回視聴
令和元年度 後期 (第44回)	第1部 基調講演 人生100年時代を迎えて-健康で長生きするコツ- 第2部 パネルディスカッション 動き出した、医学を基礎とするまちづくり～ヘルスケアの未来について～ 健康で長生きするための食事～フレイル予防の観点から～	産婦人科学講座 教授 パネリスト MBT 研究所副所長・研究教授 管理栄養士 小林 浩 梅田 智広 中野 奈央	奈良県文化会館国際ホール	300 名
令和元年度 前期 (第43回)	第1部 基調講演 健康長寿のための血栓症予防 第2部 パネルディスカッション 運動で血栓を予防しよう 日々の食事で血栓症を予防しよう	小児科学講座 教授 パネリスト 理学療法士 栄養士 嶋 緑倫 三木 麻梨子 中尾 美芳	橿原文化会館大ホール	400 名
平成30年度 後期 (第42回)	第1部 基調講演 孤独死の状況を考える～法医学の視点から～ パネルディスカッション 警察が取り扱う孤独死の状況について 孤独死から地域のつながりを考える 第2部 健康長寿に関する研究成果発表 心不全?今、超高齢社会での大きな課題-心不全とは何か?どのような医療が求められるのか?奈良県健康長寿コホートから見えてきたもの- 手術後機能障害の発生とその関連因子についてのコホート研究 温度・光曝露が健康に及ぼす影響に関する前向きコホート研究	法医学講座 教授 奈良県警察本部 刑事部捜査第一課 橿原市社会福祉協議会 地域包括支援センター 総括調整員 循環器内科学 教授 中央手術部 助教 疫学・予防医学 教授 羽竹 勝彦 伊藤 聖二 西岡 暁子 斎藤 能彦 位田 みつる 佐伯 圭吾	橿原文化会館大ホール	400 名

## 第4章 附属図書館

### 1. 蔵書

R4. 5. 1 現在 (冊)

区分	和書	洋書	計	令和3年度 受入雑誌種類数
一般教養図書	23,006	7,598	30,604	43
医学専門図書	61,348	51,545	112,893	393
計	84,354	59,143	143,497	436

### 2. 利用者数 (令和3年度)

区分	学生	教職員	一般者	計
館外帯出人員	2,291 人	1,356 人	0 人	3,647 人
館外帯出冊数	4,266 冊	3,155 冊	0 冊	7,421 冊

### 3. 図書館間相互協力 (令和3年度)

区分	文献複写	現物貸借	計
他機関から依頼を受けた件数	1,438	0	1,438
他機関へ依頼した件数	710	7	717

### 4. 情報提供サービス (令和3年度)

区分	計
事項調査	1,763 件
所在調査	432 件
利用説明	452 件

### 5. 電子ジャーナル・電子ブック (R4. 5. 1 現在)

提供元	電子ジャーナル	電子ブック
Springer Nature	2,271 誌	8,700 点
OVID (LWW)	59 誌	99 点
Oxford University Press	161 誌	12 点
Proquest	1,990 誌	17,173 点
Science Direct (Elsevier)	56 誌	-
Wiley Online Library	823 誌	18 点
メディカルオンライン (国内)	1,514 誌	5,674 点
医書.jp (国内)	107 誌	-
Maruzen eBook Library (国内)	-	1,203 点
その他	837 誌	152 点
合計 電子ジャーナル・電子ブック	7,818 誌	33,031 点

# 第5章 附属病院

## ◎理念

(平成29年4月4日制定)

患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

## ◎方針

### 1 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践

奈良県内唯一の特定機能病院として高度医療・先端医療を推進します。

また高度救命救急センターに加え、E R救急の整備等により救急医療体制を強化するとともに、奈良県基幹災害拠点病院として、奈良県民を守り地域の安心の確保に貢献します。

### 2 奈良県内基幹病院としての機能の充実

5疾病(がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患)をはじめとするあらゆる疾患に着実に対応するとともに、患者安全の取組を推進し、奈良県内基幹病院としての役割を果たしていきます。

### 3 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進

地域医療機関との適切な機能分担と緊密な連携を推進し、地域医療を支えます。

### 4 各領域の担い手となる医療人の育成

附属病院における卒後教育を通じて、超高齢社会に対応する地域包括ケアシステムをはじめ各領域の担い手となる患者と心が通い合う医療人を育成し、地域医療の向上に貢献します。

## ◎行動指針

- 病状や治療方針を分かりやすく説明し、安全で質の高い医療を提供します。
- 高度で先進的な医療を提供します。
- 医の倫理にしたがい、患者さんの意思と権利を尊重し、心の通い合う医療を提供します。
- 県における基幹病院として、地域の医療機関との連携を図り地域医療に貢献します。
- 臨床教育を充実し、人間味豊かで県民から信頼される優秀な医療人を育成します。

## 1. 診療体制

### (1) 許可病床数

R4.5.1 現在

病棟		診療科		種別	病床数
A病棟	4階南	眼科 皮膚科 形成外科		一般	32
	4階北	総合診療科 救急科			26
B病棟	4階	整形外科		一般	64
	5階	SCU 脳神経外科			60
	6階	消化器外科・小児外科・乳腺外科			63
	7階	消化器・代謝内科			64
	8階	呼吸器・アレルギー・血液内科 耳鼻咽喉・頭頸部外科 放射線治療科			63
C病棟	1階	高度救命救急センター		一般	40
	3階	集中治療室			14
	4階	泌尿器科 腫瘍内科			34
	5階	脳神経内科 歯科口腔外科 麻酔科 糖尿病・内分泌内科			58
	6階	心臓血管外科 呼吸器外科 放射線・核医学科			63
	7階	循環器内科 腎臓内科			63
	8階	呼吸器・アレルギー・血液内科 感染制御内科 感染症センター			50
D病棟	2階	精神科		感染症	9
	3階	精神科		精神	56
E病棟	4階	総合周産期母子医療センター		NICU	21
				GCU	30
				MFICU	6
	5階	産科		一般	30
	6階	パースセンター		8	
7階	婦人科		39		
	小児センター		38		
その他					9
合計					一般 875
					感染症 9
					精神 108
					開設許可 992

## (2) 外来診療室数

各年度5月1日現在

診療科名	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
循環器内科	4	4	4	4	4
呼吸器・アレルギー・血液内科	6	6	6	8	8
消化器・代謝内科	6	7	7	7	7
感染制御内科	3	3	3	3	3
脳神経内科	4	4	4	4	4
消化器外科・小児外科・乳腺外科	8	6	6	6	6
脳神経外科	3	3	3	3	3
心臓血管外科 呼吸器外科	3	3	3	3	3
整形外科／四肢外傷センター ／リウマチ外来	6	6	6	7	7
歯科口腔外科	3	3	3	3	3
産婦人科	4	4	4	4	4
眼科	6	6	6	6	6
小児科	3	3	3	4	4
精神科	8	8	8	8	8
皮膚科	3	3	3	3	3
泌尿器科	3	3	3	4	4
耳鼻咽喉科・頭頸部外科／めまいセンター	6	6	6	6	6
放射線・核医学科	3	3	3	3	3
放射線治療科	4	4	4	4	4
総合診療科	8	8	8	8	8
形成外科	1	1	1	1	1
腎臓内科	2	2	2	2	2
腫瘍内科	2	2	2	2	2
緩和ケアセンター	2	2	2	2	2
周術期管理センター	6	6	6	5	5
ペインセンター	5	5	5	5	5
リウマチセンター	1	1	1	-	-
乳腺センター	-	3	3	3	3
糖尿病・内分泌内科	2	2	2	6	6
新生児・発達外来	2	2	2	2	2
計	117	119	119	126	126

注：平成30年1月1日から循環器・腎臓・代謝内科を循環器内科と腎臓内科に変更。

平成30年7月1日から神経内科から脳神経内科に変更。

平成31年2月1日から放射線科（画像診断・IVR）を放射線・核医学科に変更。

放射線治療・核医学科を放射線治療科に変更。

令和2年10月1日腫瘍内科の設置にともない、化学療法外来の表記を腫瘍内科に変更

令和3年4月1日リウマチセンター廃止にともない、整形外科にリウマチ外来として追加

## 2. 患者統計

### (1) 入院・外来患者数

#### (ア) 入院患者数（年度別）

年度	区分	一般																精神科		計										
		循環器内科 腎臓内科	呼吸器 アレルギー 血液科	感染症 内科	消化器・代謝内科 糖尿病・内分泌内科 消化器・ 代謝内科	脳神経 内科	消化 器科・ 小児科・ 乳腺外科	脳神経 外科	消化 器科・ 小児科・ 乳腺外科	脳神経 外科	整形 外科	歯科口腔 外科	産婦人科 産科 （分娩科） 婦人科	小児科	総合周産期母子 医療センター NCU MFCU	眼科	耳鼻 咽喉・ 頭頸部 外科	皮膚科	泌尿 器科		放射線 検査科	放射線 治療科	麻酔科	救急科	総合 診療科	形成 外科	腫瘍 内科	精神科	精神科	
平成 29	入院患者 延数	23,207	24,491	2,946	21,795	23,857	21,253	7,285	3,466	21,264	7,240	11,244 (1,312)	8,757	6,473	6,906	1,564	6,862	10,375	3,091	8,976	6,017	1,970	1,006	14,006	4,724	2,444			34,669	308,575
	一日平均 入院患者数	64	67	8	60	32	58	20	9	58	20	31 (4)	24	18	19	4	19	28	8	25	16	5	3	38	13	7			95	845
平成 30	入院患者 延数	16,094	7,113	24,928	3,062	23,039	11,797	9,430	2,936	20,525	7,256	10,995 (1,538)	8,944	6,308	7,078	1,356	6,923	10,280	3,019	9,812	5,685	1,403	1,212	14,212	4,353	2,488			34,724	311,518
	一日平均 入院患者数	44	19	68	63	32	57	26	8	56	20	30 (4)	25	17	19	4	19	28	8	27	16	4	3	39	12	7			95	853
令和 元	入院患者 延数	15,300	7,317	25,597	2,963	22,732	11,288	8,666	2,684	18,849	7,297	10,071 (1,408)	8,820	6,602	6,230	1,561	6,238	10,429	3,141	10,746	5,583	1,406	915	14,634	5,670	2,326			34,755	308,401
	一日平均 入院患者数	42	20	70	62	31	55	24	7	52	20	28 (4)	24	18	17	4	17	28	9	29	15	4	3	40	15	6			95	843
令和 2	入院患者 延数	11,324	6,434	18,305	4,128	16,873	9,600	7,993	2,459	14,042	5,033	6,927 (36)	6,969	6,045	5,167	1,396	4,146	6,876	2,210	7,606	3,647	712	645	11,745	5,292	2,319			27,499	238,666
	一日平均 入院患者数	31	18	50	46	26	45	22	7	38	14	19 (0.1)	19	17	14	4	11	19	6	21	10	2	2	32	14	6			75	654
令和 3	入院患者 延数	11,152	6,389	16,417	3,061	14,563	880	9,677	17,113	16,859	4,891	6,971 (662)	7,409	5,957	4,381	1,395	4,632	7,859	2,442	8,004	4,167	773	519	12,908	5,078	2,070	0	25,778	235,638	
	一日平均 入院患者数	31	18	45	10	40	2	27	6	37	13	19 (1.8)	20	16	12	4	13	22	7	22	11	2	1	35	14	6	0	71	646	

注：平成30年1月1日から循環器・腎臓・代謝内科を、循環器内科と腎臓内科に変更。

平成30年7月1日から神経内科を、脳神経内科に変更。

平成31年4月1日から放射線科を放射線治療・核医学科を放射線治療科に変更。

令和2年6月1日から消化器・内分泌代謝内科を、消化器・代謝内科と糖尿病・内分泌内科に変更。

令和2年10月1日から腫瘍内科を設置。



(イ) 新入退院患者数・平均在院日数（年度別）

年 度	区 分	一 般 病 棟																	精神科 病棟													
		循環器内科		呼吸器・ アレルギー 内科	感染症 内科	消化器・代謝内科		脳神経 内科	消化 器科・ 小児科・ 乳腺外科	脳神経 外科	心臓血管 外科	呼吸器 外科	整形 外科	歯科口腔 外科	産婦人科		小児科	総合周産期母子 医療センター			眼科	耳鼻 咽喉・ 頭頸部 外科	皮膚科	泌尿 器科	放射線 検査科	放射線 治療科	麻酔科	救急科	総合 診療科	形成 外科	腫瘍 内科	精神科
		腎臓 内科	腎臓 内科			糖尿病・ 内分泌 代謝科	糖尿病・ 内分泌 代謝科								産科 （分娩 床）	婦人科		NCU	GCU	MFCU												
平成 29	新入院	1,817	918	216	1,610	480	1,673	1,127	254	284	1,169	315	980	1,089	696	226	218	149	1,726	759	174	1,006	521	48	164	1,002	260	241	412	19,534		
	退院	1,791	984	207	1,588	484	1,676	1,160	275	289	1,166	311	1,085	1,079	698	68	380	34	1,735	746	168	1,005	524	42	166	866	241	247	449	19,454		
	平均 在院日数	9.4	22.6	9.7	11.9	18.8	12.3	10.0	11.4	4.3	16.4	20.0	8.2	9.3	10.7	25.4	16.5	8.7	6.0	11.3	15.0	7.6	10.2	34.4	5.1	8.0	14.7	8.5	74.8	12.8		
平成 30	新入院	1,605	898	235	1,770	591	1,691	1,102	296	237	1,193	301	1,037	1,194	729	228	226	134	1,811	763	183	1,014	538	40	177	1,051	209	229	408	20,226		
	退院	1,565	976	199	1,781	596	1,708	1,072	331	236	1,183	302	1,150	1,186	736	59	388	26	1,811	764	193	1,006	540	38	178	999	191	233	430	20,209		
	平均 在院日数	7.1	17.3	9.7	11.2	15.1	11.8	10.1	12.1	4.1	15.6	19.1	7.5	8.7	10.2	25.0	16.6	8.0	7.0	11.1	12.7	8.4	9.3	31.4	5.8	7.9	18.0	9.6	77.1	12.4		
令和 元	新入院	1,494	889	219	1,780	512	1,779	1,060	248	228	1,091	305	999	1,156	718	243	233	178	1,684	778	214	1,113	587	34	133	906	229	221	384	19,745		
	退院	1,450	942	194	1,771	529	1,771	1,045	261	231	1,083	309	1,134	1,128	716	95	369	33	1,689	768	206	1,102	588	34	132	816	220	219	404	19,578		
	平均 在院日数	7.2	18.5	9.8	11.4	16.2	11.9	10.4	13.5	4.1	15.8	18.7	6.9	8.9	10.1	25.0	15.1	7.3	6.6	11.0	11.9	8.5	8.1	33.1	5.8	8.7	19.4	8.9	81.9	12.7		
令和 2	新入院	1,084	348	332	1,487	517	1,331	896	210	212	806	189	710	1,018	677	211	174	193	1,064	554	125	865	452	18	102	780	205	131	304	15,771		
	退院	1,090	349	252	1,479	515	1,359	881	225	214	817	188	864	1,029	682	84	294	48	1,054	557	119	857	449	22	105	719	230	139	350	15,832		
	平均 在院日数	7.2	15.2	8.5	9.4	14.4	11.1	10.6	14.4	5.3	15.7	21.6	6.8	7.5	8.5	26.1	16.0	6.1	7.2	10.4	15.1	7.5	6.9	28.8	5.2	8.1	16.1	15.4	74.8	11.9		
令和 3	新入院	1,072	382	206	1,619	73	1,469	944	226	211	875	218	746	1,065	678	188	167	164	1,237	632	162	1,000	454	25	100	918	224	113	0	349	16,759	
	退院	1,066	383	183	1,599	75	1,459	943	240	211	877	217	876	1,048	687	73	285	34	1,226	618	154	1,007	453	22	100	780	229	123	0	388	16,638	
	平均 在院日数	7.0	12.9	9.3	7.5	9.8	13.6	10.3	10.9	5.5	13.9	17.8	6.7	7.7	9.0	27.3	13.7	7.3	7.3	10.4	13.1	6.8	7.7	28.9	4.1	7.8	17.1	15.7	0.0	61.0	11.2	

注：平成30年1月1日から循環器・腎臓・代謝内科を、循環器内科と腎臓内科に変更。

平成30年7月1日から神経内科を、脳神経内科に変更。

平成31年4月1日から放射線科を放射線・核医学科に、放射線治療・核医学科を放射線治療科に変更。

令和2年6月1日から消化器・内分泌代謝内科を、消化器・代謝内科と糖尿病・内分泌内科に変更。

令和2年10月1日から腫瘍内科を設置。

(ウ) 外来患者数（年度別）

年 度	区 分	循環器内科		呼吸器・ アレルギー・ 血液科	感染症 内科	消化器・代謝内科		脳神経 内科	消化器 外科・ 小児外科・ 乳腺外科	脳神経 外科	心臓血管 外科	呼吸器 外科	整形 外科	歯科口腔 外科	産婦 人科	小児科	眼科	耳鼻 咽喉・ 頭頸部 外科	皮膚科	泌尿 器科	精神科	放射線・ 核医学科	放射線 治療科	麻酔科	救急科	総合 診療科	形成 外科	腫瘍 内科	専門 外来等	リハビリ 治療	計
		腎臓 内科	腎臓 内科			糖尿病・ 内分泌科	糖尿病・ 内分泌科																								
平成 29	外来患者 延数	52,347	6,809	41,975	6,809	40,071	32,726	19,455	4,611	3,684	27,773	29,380	36,659	16,989	28,043	22,924	23,610	25,473	58,212	5,308 (131,657)	11,234	12,281	1,417	10,711	5,043	24,861	1,018,877	558,157 (791,691)			
	一日平均 外来患者数	215	27	172	27	164	134	80	19	15	114	120	150	70	115	94	97	104	243	22 (540)	46	50	4	44	21	102	418	2,286 (3,243)			
平成 30	外来患者 延数	34,832	17,452	42,065	6,059	42,408	35,837	19,360	4,618	3,917	28,126	30,892	36,887	18,123	27,983	24,737	23,954	26,444	61,327 (134,749)	5,771 (134,749)	11,176	12,040	1,535	10,671	5,285	25,514	1,008,816	573,559 (805,124)			
	一日平均 外来患者数	143	72	173	25	174	147	79	19	16	115	127	151	74	115	101	98	108	251	24 (552)	46	49	4	44	22	105	413	2,349 (3,314)			
令和 元	外来患者 延数	34,652	17,335	41,719	5,431	43,930	37,065	19,315	4,455	3,708	27,225	29,887	37,132	18,245	25,655	24,184	24,247	26,783	65,015 (125,828)	5,563 (125,828)	12,634	11,845	1,357	11,219	4,493	25,595	1,016,525	575,087 (802,540)			
	一日平均 外来患者数	143	71	172	22	181	152	79	18	15	112	123	153	75	106	100	100	110	268	23 (516)	52	49	4	46	18	105	416	2,365 (3,287)			
令和 2	外来患者 延数	31,213	16,232	38,654	5,150	48,474	33,673	18,515	3,655	3,665	24,171	23,828	29,065	16,904	19,962	21,878	19,189	22,868	61,043 (112,213)	4,881 (112,213)	12,436	9,804	1,264	10,219	3,560	16,507	881,139	512,848 (713,200)			
	一日平均 外来患者数	128	67	159	21	233	139	76	15	15	99	98	120	70	82	90	79	95	251	20 (462)	51	40	3	42	15	68	363	2,142 (2,967)			
令和 3	外来患者 延数	32,414	17,800	39,484	5,067	37,648	34,650	19,265	3,435	3,663	25,818	25,393	29,736	18,178	22,109	23,281	20,816	24,981	64,376 (118,862)	5,204 (118,862)	13,329	11,330	1,579	11,645	4,512	10,750	884,494	546,261 (753,617)			
	一日平均 外来患者数	134	74	163	21	156	87	70	14	15	107	106	123	75	91	96	86	103	266	22 (491)	55	47	4	48	19	7	44	366	2,257 (3,113)		

注：診療科以外の各専門外来等の受診患者合計数を「専門外来等」欄に記載。

平成30年1月1日から循環器・腎臓・代謝内科を、循環器内科と腎臓内科に変更。

平成30年7月1日から神経内科を、脳神経内科に変更。

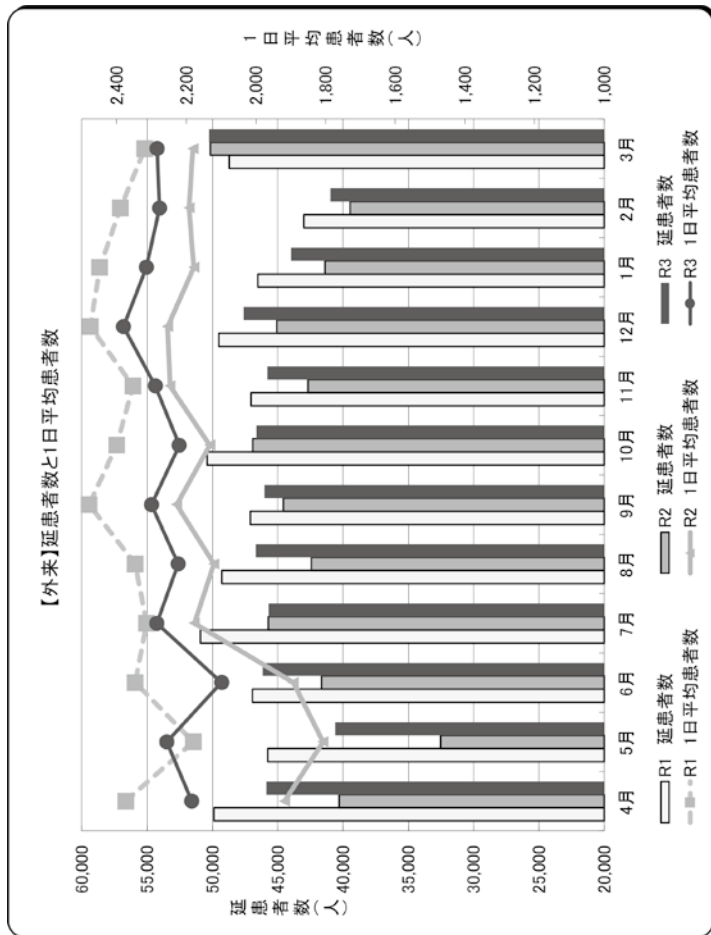
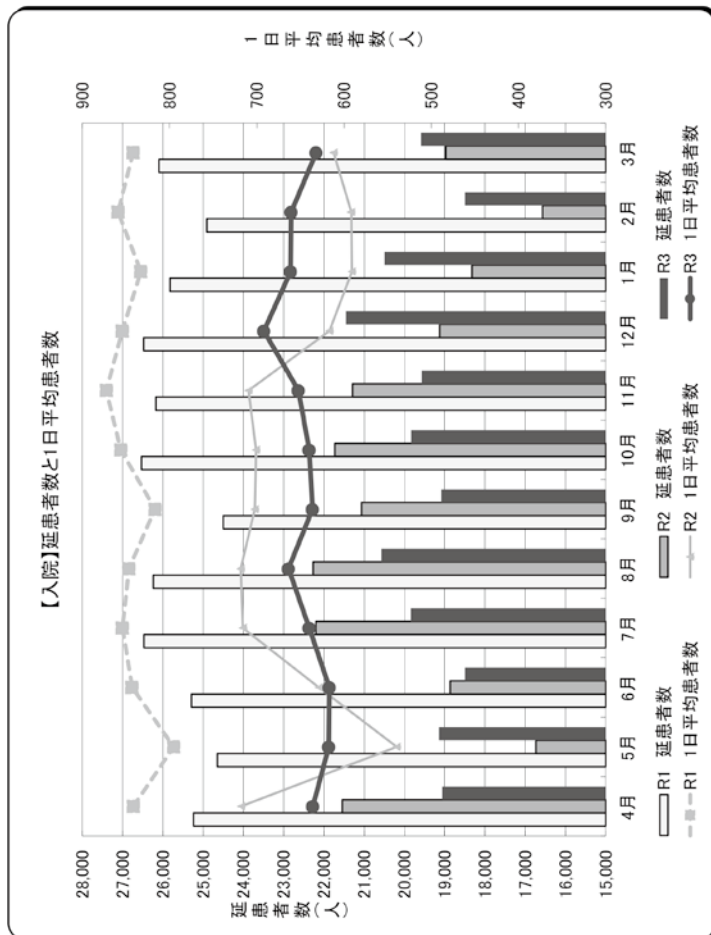
平成31年4月1日から放射線科を放射線治療・核医学科に、放射線治療・核医学科を放射線治療科に変更。

令和2年6月1日から消化器・内分泌代謝内科を、消化器・代謝内科と糖尿病・内分泌内科に変更。

令和2年10月1日から腫瘍内科を設置。

(五) 入院・外来患者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
入院延患者数	25,242	24,647	25,289	26,473	26,242	24,501	26,534	26,170	26,476	25,823	24,910	26,094	308,401
令和元年度	21,540	16,730	18,884	22,196	22,267	21,067	21,727	21,287	19,123	18,323	16,570	18,972	238,666
令和2年度	19,067	19,139	18,497	19,841	20,570	19,083	19,836	19,571	21,451	20,498	18,498	19,587	235,638
令和3年度	841	795	843	854	847	817	856	872	854	833	859	842	843
1日平均患者数	718	540	629	716	718	702	701	710	617	591	592	612	654
令和元年度	636	617	617	640	664	636	640	652	692	661	661	632	646
令和2年度	49,885	45,773	46,938	50,909	49,288	47,096	50,402	47,056	49,508	46,522	43,003	48,707	575,087
令和3年度	40,305	32,530	41,640	45,720	42,418	44,560	46,912	42,687	45,074	41,387	39,457	50,158	512,848
外来延患者数	45,874	40,605	46,166	45,692	46,695	46,005	46,627	45,777	47,612	43,983	40,983	50,242	546,261
令和元年度	2,374	2,180	2,347	2,314	2,347	2,479	2,400	2,353	2,475	2,449	2,389	2,319	2,365
令和2年度	1,918	1,807	1,893	2,177	2,121	2,228	2,132	2,247	2,254	2,178	2,192	2,181	2,142
令和3年度	2,185	2,256	2,099	2,285	2,224	2,300	2,220	2,289	2,381	2,315	2,277	2,284	2,257



(2) 中央診療施設稼働状況

(ア) 中央臨床検査部検査件数(年度別)

検査項目	年度		平成29		平成30		令和元		令和2		令和3	
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
血液	1,748,148	30,595,127	1,771,988	29,396,191	1,777,483	27,273,107	1,540,141	23,862,963	1,632,058	25,502,537		
生化学	4,546,510	68,294,572	4,570,997	68,081,239	4,625,459	66,292,389	4,411,990	60,615,076	4,684,310	65,265,557		
微生物	62,915	9,415,898	63,763	9,400,468	60,155	9,164,768	55,721	10,419,096	65,481	14,123,079		
免疫	134,856	15,351,270	134,911	14,939,706	129,333	14,241,251	100,019	11,301,233	110,408	12,248,889		
生理機能	97,733	26,435,550	96,841	27,504,625	82,971	26,200,390	74,749	23,928,902	63,753	24,957,255		
緊急検査	1,652,474	14,963,604	1,695,036	14,845,939	1,720,623	14,375,694	1,591,879	14,138,737	1,748,484	14,597,265		
外注分	141,955	25,696,854	146,785	26,808,572	137,913	25,893,872	122,860	25,539,929	132,819	30,992,284		
集中治療	150,161	6,943,074	172,594	6,795,250	170,269	6,666,614	155,742	6,057,663	201,314	7,794,766		
計	8,384,591	197,695,949	8,652,915	197,771,990	8,704,206	190,108,085	8,053,101	175,863,599	8,638,627	195,481,632		

注：微生物検査に職員細菌検査も含む

(イ) 輸血部関係 (年度別)

1. 検査件数

検査項目	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
血液型 (件)	14,395	14,897	13,871	11,645	12,412
赤血球不規則抗体 (件)	13,529	14,017	13,248	11,186	12,127
交差試験 (本)	7,731	8,521	8,121	6,812	8,537
抗血小板抗体 (件)	18	7	26	18	28

2. 採 血

	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
血小板採取 (件)	19	10	19	8	11
幹細胞採取 (件)	6	16	12	15	35
顆粒球採取 (件)	0	0	0	0	0
骨髓血 (移植用) 採取 (件)	1	3	3	5	5
自己血採取					
200ml (本)	61	64	32	23	32
400ml (本)	400	311	253	113	130

3. 輸 血

	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
日赤・赤血球製剤					
200ml 由来製剤 (本)	205	144	164	138	169
400ml 由来製剤 (本)	5,921	6,485	6,274	5,844	6,830
日赤・新鮮凍結血漿製剤					
200ml 由来製剤 (本)	243	174	164	208	177
400ml 由来製剤 (本)	3,449	3,853	3,705	3,455	4,009
450ml (本)	399	144	372	460	694
日赤・血小板製剤 (単位)	15,435	14,145	10,374	11,505	13,154
自己血輸血 (単位)	629	518	361	185	282

4. 血漿分画製剤

	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
アルブミン製剤					
5% 製剤 (g)	22,488	25,328	22,230	24,688	39,000
20% 製剤 (g)	28,750	32,208	37,450	26,294	33,598
25% 製剤 (g)	163	200	200	175	425
第Ⅷ因子製剤					
人由来 (単位)	1,358,000	1,223,000	1,175,500	734,500	651,500
遺伝子組換え (単位)	11,591,500	10,775,500	10,060,250	13,947,000	14,720,500
第Ⅸ因子製剤					
人由来 (単位)	195,000	141,000	206,000	61,000	141,000
遺伝子組換え (単位)	1,089,500	1,653,000	1,695,000	1,769,000	1,714,000
バイパス製剤					
FEIBA (単位)	302,000	18,000	0	0	0
ヘムライブラ (mg)	—	—	130,650	128,701	139,800
Ⅶ a 製剤 (mg)	2,197	47,887	723	406	1,790
第ⅩⅢ因子製剤					
人由来 (ml)	1,640	2,164	2,704	3,812	5,436
AT 製剤 (単位)	532,500	954,700	981,000	839,000	681,300
TM 製剤					
遺伝子組換え (単位)	15,014,400	15,897,600	15,040,000	13,670,400	8,601,600
接着剤					
シート用 (箱)	270	222	217	246	299
液状用 (ml)	2,987	3,070	2,824	770	2,719
免疫グロブリン製剤					
静注用 (g)	11,268	12,370	11,417	10,890	9,772
筋注用 (単位)	5,350	4,650	5,450	3,050	3,900
ハプトグロビン製剤 (単位)	158,000	166,000	254,000	224,000	147,000
IF 製剤 (箱)	0	0	0	0	0
抗悪性腫瘍剤 (mg)	194,400	255,700	318,200	335,800	273,100
その他 (箱)	213	296	797	850	906

5. 細胞治療関連

検査項目	平 29	平 30	令 1	令 2	令和 3
治験関連業務	0	0	1	5	20
再生医療等製品 (テムセル HS 注)	1	1	4	1	24
クリオプレシピテート作成	141	183	201	201	216
分割製剤	0	21	33	26	75

## (ウ) 中央手術部手術件数 (年度別)

(件)

科 別		年 度		平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
循環器内科・ 腎臓内科	循環器内科	110	120	130	143	155	—	—
	腎臓内科		—					
呼吸器・アレルギー・血液内科		5	6	4	5	9	—	—
感染制御内科		—	—	—	—	—	—	—
消化器・代謝内科 糖尿病・内分泌内科		1	—	3	2	4	—	—
脳神経内科		—	—	—	0	1	—	—
消化器外科・小児外科・乳腺外科		973	1,117	1,099	889	1,010	—	—
脳神経外科		559	549	488	489	458	—	—
心臓血管外科		417	461	349	290	328	—	—
呼吸器外科		263	237	232	203	207	—	—
整形外科		1,163	1,195	1,110	839	817	—	—
歯科口腔外科		250	267	296	183	203	—	—
産婦人科		946	927	929	806	837	—	—
眼科		1,787	1,896	1,762	1,089	1,245	—	—
小児科		4	2	7	6	3	—	—
精神科		106	27	138	46	71	—	—
皮膚科		1	—	1	0	—	—	—
泌尿器科		758	739	833	654	785	—	—
耳鼻咽喉・頭頸部外科		573	571	573	379	462	—	—
放射線・核医学科		10	6	61	52	67	—	—
放射線治療科		—	—	—	—	—	—	—
麻酔科		126	138	109	94	96	—	—
救急科		282	349	412	342	314	—	—
総合診療科		—	—	2	1	1	—	—
形成外科		255	272	232	141	138	—	—
計		8,589	8,879	8,771	6,653	7,211	—	—

注：平成 30 年 1 月 1 日から循環器・腎臓・代謝内科を、循環器内科と腎臓内科に変更。

平成 30 年 7 月 1 日から神経内科を、脳神経内科に変更。

平成 31 年 4 月 1 日から放射線科を放射線・核医学科に、放射線治療・核医学科を放射線治療科に変更。

令和 2 年 6 月 1 日から消化器・内分泌代謝内科を、消化器・代謝内科と糖尿病・内分泌内科に変更。

## (エ) 中央放射線部診療患者延数 (年度別)

種 類		年 度		平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	
放 射 線 利 用 人 数	単純撮影			80,553	80,876	107,568	94,047	96,198	
	特殊撮影			5,157	5,784	5,900	4,706	5,730	
	ハイブリット手術室撮影 移動型 C アーム CT 手術後ポータブル撮影 手術後 CT 撮影 手術支援画像			4,852	5,168	6,618	5,491	6,016	
	ポータブル撮影			18,977	20,253	22,394	22,326	26,900	
	造影 撮影	消化管			934	769	757	841	430
		その他			682	732	708	667	679
	IVR センター			4,753	4,856	5,169	5,355	5,404	
	CT (治療 CT、IVR-CT を含む)			46,529	48,421	41,116	37,107	38,520	
	MR			14,800	14,891	14,752	14,605	15,638	
	RI			4,912	6,082	5,845	4,891	4,925	
	治療			15,792	15,524	18,585	15,196	16,133	
	高精度放射線治療			7,162	6,561	9,445	8,497	9,896	
	骨密度その他			1,075	1,214	1,380	1,157	1,114	
	合 計			206,178	211,131	240,237	214,886	227,583	

注：令和元年 5 月より電子カルテ更新により単純撮影、CT 撮影のオーダー区分変更

令和 3 年 10 月より電子カルテアップグレードにより造影検査（消化管）のオーダー区分変更

## (オ) 集中治療部患者延数(年度別)

(人)

年度	I C U		C C U	
	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均
平成 29	2,886	7.9	1,037	2.8
平成 30	2,964	8.1	1,049	2.9
令和 元	2,862	7.8	1,131	3.1
令和 2	2,754	7.5	702	1.9
令和 3	3,140	8.6	837	2.3

## (カ) リハビリテーション関係(医療技術センター リハビリ1係、リハビリ2係、リハビリ3係)

## 1. 実施単位数(年度別)

	令和元				令和2				令和3			
	単位数	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	単位数	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	単位数	理学療法	作業療法	言語聴覚療法
脳血管I	62,365	35,804	19,076	7,485	65,765	36,698	20,227	8,840	66,883	37,651	18,861	10,371
廃用I	20,753	15,545	2,965	2,243	19,520	14,321	3,495	1,704	13,294	10,643	1,434	1,217
運動器I	22,481	18,621	3,860		20,088	17,350	2,738		19,160	16,354	2,806	
呼吸器I	2,405	2,298	107		6,473	5,662	439	372	10,463	8,699	351	1,413
心大血管I	10,799	10,185	614		10,077	9,865	212		11,802	11,129	673	
がんリハ	17,472	14,175	2,687	610	15,733	13,184	2,136	413	15,584	13,038	1,922	624
早期加算	79,564	57,370	16,251	5,943	84,423	59,346	17,646	7,431	83,964	60,017	15,566	8,381
初期加算	45,913	34,556	8,331	3,026	51,198	37,033	10,048	4,117	51,086	37,784	8,723	4,579
総合リハ実施計画書	7,081	6,180	734	167	6,246	5,259	844	143	6,548	5,816	604	128
退院時リハ指導	1,850	1,671	169	10	1,784	1,573	198	13	1,784	1,602	172	10
消炎鎮痛処置	28	28										

## 2. 各療法別患者数(年度別)

(人)

	令和元			令和2			令和3		
	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計
理学療法	425	66,876	67,301	124	58,754	58,878	437	58,114	58,551
作業療法	431	20,059	20,490	151	18,041	18,192	289	16,707	16,996
言語聴覚療法	4	9,268	9,272	2	9,119	9,121	2	10,404	10,406

## (キ) 透析部透析件数(年度別)

(件)

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
件数	6,102	5,939	4,421	4,325

## (ク) 病院病理部関係(年度別)

組織診検査件数					
年度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
外来(件)	5,555	5,212	5,223	4,464	5,298
入院(件)	7,973	6,411	6,361	5,165	5,427

組織診検査作成ブロック数					
年度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
外来(個)	7,309	7,878	7,617	6,760	8,478
入院(個)	40,144	41,136	39,723	32,445	33,842

免疫染色検査件数及び標本枚数					
年度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
件数	4,478	2,793	2,610	2,336	2,506
標本枚数	13,921	13,620	12,103	11,514	11,693

特殊染色検査標本枚数					
年度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
標本枚数	3,241	2,678	2,994	2,587	2,307

迅速検査件数及び標本枚数					
年度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
件数	630	661	629	56	574
標本枚数	2,226	2,055	1,798	1,458	1,475

細胞診検査件数(婦人科)					
年度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
外来(件)	5,983	6,029	5,782	5,061	4,487
入院(件)	37	20	9	8	5

細胞診検査件数(一般検体)					
年度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
外来(件)	2,023	2,071	2,004	1,829	1,952
入院(件)	1,595	1,639	1,730	1,637	1,466

細胞診迅速件数					
年度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
件数	113	185	156	141	124

(ケ) 医療技術センター関係（令和3年度）

血液浄化部門	
血液浄化療法	件数
血液透析（透析部）	4,325
血液透析（病棟透析）	233
CHDF（新規）	110
CHDF（交換）	347
PE	57
DFPP	51
PP	6
CF	0
PMX	4
GCAP	40
LCAP	0
CART	6
LDL 吸着（リポソーバ）	14
LDL 吸着（レオカーナ）	26
ビリルビン吸着	3

心臓カテーテル検査関連部門		
	種 別	件数
循環器内科 (心カテ)	CAG	702
	PCI	307
	S-G	169
	FFR	69
	OCT	190
	IVUS	148
	OFDI	56
	ロータブレータ	39
	ELCA（エキシマレーザ）	10
	一時ペーシング	39
	循環器内科 (アブレーション)	EPS
ABL		169
Cryo ABL		0
3D マッピング（Carto3）		84
3D マッピング（Ensite）		86
小児科	S-G	56
	PTA	3
呼吸器内科	S-G	0
放射線科	RFA	5
	SPP	270
補助循環	IABP	32
	PCPS	72
	IMPELLA	12

ペースメーカー部門		
	種 別	件数
新規植込み	PM	63
	ICD	4
	CRT-P	3
	CRT-D	3
	S-ICD	0
	ILR	5
	LLPM	8
電池交換	WCD	1
	PM	25
	ICD	3
	CRT-P	4
	CRT-D	4
その他	S-ICD	0
	LLPM	0
外来	リオペ	3
	循環器内科外来	1,032
	心外外来	1
各種立会い	小児科外来	13
	定期病棟チェック	124
	当日連絡対応	143
	OP	54
	内視鏡	33
	MRI	73
	放射線	13
	エコー調整	10
	リード抜去	9
	遠隔モニタリング定期送信	4,552
自宅緊急呼出件数	19	

その他治療機器対応	
種 別	件数
体温調整装置	21
人工臓腑	27
NO療法	60

機器管理部門	
業務種別	件数
シリンジポンプ点検	7,686
輸液ポンプ点検	14,780
人工呼吸器点検	1,581
経腸輸液ポンプ点検	273
修理件数（部品交換など）	337



手術部門		
種 別	業務内容	件数
自己血回収	血管外科 (AAA)	12
	その他 (整形外科など)	18
心外外回り ME 業務	皮膚組織灌流圧検査	21
	血管内焼灼術	16
ナビゲーション業務	矯正固定術・後方固定術	21
	bio jet	24
ダ・ヴィンチ業務	前立腺全摘	77
	腎部分切除	36
	腎盂形成術	5
	膀胱全摘除	10
	仙骨子宮固定術	5
	幽門側胃切除	7
	胃切除術	10
	食道亜全摘	1
	腓体尾部切除術	21
	腸切除	17
	子宮摘出	28
眼科外回り ME 業務	水晶体再建術	970
	硝子体離断術	170
	緑内障	16
	バックリング	3
レーザー対応	泌尿器科	29
	産婦人科	6
ME 機器管理業務	シリンジポンプ点検	4,415
	輸液ポンプ点検	426
	電気メス点検	39
	フットポンプ	907
	除細動器点検	10
	修理依頼	76
清潔補助業務	整形外科 (鏡視下)	61
	整形外科	372
	消化器外科 (鏡視下)	158
	消化器外科	98
	泌尿器科 (鏡視下)	20
	泌尿器科	162
	産婦人科 (鏡視下)	31
	産婦人科	32
	救急科	2
呼吸器外科	62	

輸血部門	
種 別	件数
末梢血幹細胞採取	33
リンパ球採取	1

内視鏡部門		
	症 例	件数
予定症例	上部内視鏡	157
	上部 EUS	11
	膵 EUS	163
	胆道 EUS	31
	上部 EMR	16
	上部 ESD	202
	ポリペクトミー	1
	上部消化管拡張	68
	胃瘻造設	53
	胃瘻交換	102
	硬化療法	12
	EVL	11
	ERCP	443
	FNA	112
	異物除去術	3
	上部内視鏡止血術	17
	イレウス管	23
	胃ステント留置	10
	大腸内視鏡 (ショートを含む)	431
	大腸ポリペクトミー	33
	大腸 EUS	37
	大腸 EMR	68
	大腸 ESD	40
	下部消化管拡張	6
	小腸内視鏡	41
	下部内視鏡止血術	5
	腹腔鏡	0
	胆道ファイバー	0
	胸腔穿刺 (造影)	0
	カプセル内視鏡 (パテンシー含む)	36
	ブロンコ	141
	検体係	241
	緊急症例	上部内視鏡
硬化療法		2
EVL		1
ERCP		20
異物除去術		2
上部内視鏡止血術		5
イレウス管		5
大腸内視鏡 (ショートを含む)	3	
下部内視鏡止血術	2	

中央材料室部門			
手術室中材における滅菌回数・滅菌個数及び洗浄器使用回数			
種 別			合 計
滅菌	高圧蒸気滅菌	使用回数 (回)	2,752
		滅菌個数 (個)	67,514
	ホルマリン滅菌	使用回数 (回)	242
		滅菌個数 (個)	7,527
	プラズマ滅菌	使用回数 (回)	3,003
		滅菌個数 (個)	12,945
洗浄	自動洗浄器	使用回数 (回)	2,987
	超音波洗浄器	使用回数 (回)	22
	減圧沸騰洗浄器	使用回数 (回)	879
地下中材における滅菌回数・滅菌個数及び洗浄器使用回数			
種 別			合 計
滅菌	高圧蒸気滅菌	使用回数 (回)	2,678
		滅菌個数 (個)	172,029
	ホルマリン滅菌	使用回数 (回)	147
		滅菌個数 (個)	1,833
	プラズマ滅菌	使用回数 (回)	312
		滅菌個数 (個)	3,907
洗浄	自動洗浄器	使用回数 (回)	3,258
	超音波洗浄器	使用回数 (回)	84
	減圧沸騰洗浄器	使用回数 (回)	613
中材業務および泌尿器科関連業務件数			
種 別			合 計
中材機器点検 (件)			5,878
腹腔鏡手術用器械の点検 (件)			994
業者貸出器械の納品・使用前点検 (個)			4,737
鋼製小物の刻印業務 (個)			898
洗浄器関連修理対応件数 (件)			15
滅菌器関連修理対応件数 (件)			9
バックシーラー、RO 装置、その他備品等 (件)			5
鋼製小物修理対応件数 (件)			565
排尿機能検査立会い (件)			99
仙骨神経刺激装置埋込手術立会い (件)			0

人工呼吸器部門		
種 別		件数
人工呼吸器	新規導入立ち合い	205
	回路交換対応	276
NPPV	新規導入立ち合い	93
	回路交換対応	31
NHF	新規導入立ち合い	132
	回路交換対応	15
在宅人工呼吸器	新規導入立ち合い	35
	回路交換対応	34
RTX		399

麻酔補助部門		
診療科	種 別	合 計
消・小・乳外科	予定	495
	緊急	178
脳外科	予定	197
	緊急	87
心外科・呼外科	予定	312
	緊急	73
耳鼻科	予定	222
	緊急	30
泌尿器科	予定	322
	緊急	34
整形外科	予定	238
	緊急	61
産婦人科	予定	360
	緊急	164
口腔外科	予定	105
	緊急	15
形成外科	予定	71
	緊急	2
救急科	予定	79
	緊急	130
眼科	予定	43
	緊急	3
精神科	予定	37
	緊急	1
循環器内科	予定	32
	緊急	3
放射線科	予定	29
	緊急	15
麻酔科	予定	4
	緊急	0

人工心肺業務	
症 例 種 別	件数
予定人工心肺 (成人)	84
緊急人工心肺 (成人)	20
緊急人工心肺待機 (成人)	3
人工心肺予定 (先天性)	38
緊急人工心肺 (先天性)	2
人工心肺待機 (先天性)	2
血小板採取	12
CABG 待機	2
SPY System	39

## (ロ) 中央内視鏡部診療件数 (年度別)

(件)

種 別	年 度	令和元	令和 2	令和 3
上部消化管	胃内視鏡	4,976	4,183	4,852
	EUS	601	525	627
	EMR	23	20	18
	ESD	167	157	228
	ポリペクトミー	3	3	2
	拡張	85	81	78
	胃瘻造設 (交換)	170	164	189
	硬化療法			
	EVL	66	55	49
	ERCP	474	468	488
	FNA	136	134	125
	異物除去	31	28	23
	止血術	147	143	154
	その他	72	78	78
下部消化管	大腸内視鏡	1,655	1,384	1,473
	大腸 EUS	63	43	31
	ポリペクトミー	460	434	583
	大腸 EMR	189	176	191
	大腸 ESD	45	46	41
	拡張	22	14	4
	小腸内視鏡	55	45	60
	止血術	51	34	59
	その他	9	4	5
	特 殊	腹腔鏡	0	0
胆道ファイバー		2	0	4
気管支鏡		252	186	161
胸腔穿刺 (造影)		0	0	0
カプセル内視鏡 (パテンシーカプセル含む)		57	36	48
その他		3	0	0
合 計		9,814	8,441	9,571

## (ハ) 超音波診療件数 (年度別)

(件)

種 別	令和元	令和 2	令和 3	
頸部	一般	3,054	3,043	2,889
	血管検査	688	610	650
乳腺	一般	691	728	774
	造影	16	16	12
腹部	一般	6,264	5,293	5,357
	血管検査	243	203	219
	造影	186	181	207
表在	一般	666	601	602
血管	カラードプラ	—	—	—
	スクリーニング	—	—	—
	四肢血管	2,148	1,764	1,650
小児	一般	359	193	319
	血管検査	6	12	9
合 計	14,321	12,644	12,688	

## (3) 病理解剖件数（年度別）

(件)

科 名						
		平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
循環器内科		12	11	14	7	1
呼吸器・アレルギー・血液内科		8	4	3	1	0
消化器・内分泌代謝内科		19	14	12	9	5
感染制御内科		0	0	1	1	0
脳神経内科		0	1	0	2	2
消化器外科・小児外科・乳腺外科		4	1	0	0	0
脳神経外科		1	0	1	0	0
心臓血管外科		4	4	1	0	1
整形外科 / 四肢外傷センター		1	0	0	0	0
産婦人科	産科	2	1	0	0	0
	婦人科	1	0	0	1	0
小児科		1	0	1	1	1
新生児集中治療部		2	0	0	0	0
精神科		0	0	1	0	0
耳鼻咽喉・頭頸部外科 / めまいセンター		1	0	0	0	0
救急科		0	2	0	1	2
総合診療科		2	1	3	1	0
腎臓内科		—	3	3	3	0
糖尿病・内分泌内科		0	0	0	0	1
計		58	42	40	27	13

## (4) 分娩件数（年度別）

(件)

種別 \ 年度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
正常分娩	478	505	403	262	228
異常分娩	494	505	595	503	500
うち帝王切開	378	351	361	319	316
計	972	1,010	998	765	728

注：平成 22 年度以降メディカルバースセンター（平成 23 年 1 月 11 日開設）での分娩件数を含む。

## (5) 薬剤関係（年度別）

年 度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
薬剤管理指導件数	12,901	11,336	10,266	10,176	11,880
注射薬混合件数（入院）	5,835	5,752	6,674	4,512	4,475
注射薬混合件数（外来）	32,291	39,494	44,270	44,763	48,856
治験件数	97	104	104	107	115
治験症例数	266	241	199	200	214

## 調剤薬処方数（年度別）

区 分		年 度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
種 別							
外	処方枚数		274,088	276,112	272,208	243,045	259,752
			( 1,123)	( 1,132)	( 1,120)	( 1,000)	( 1,073)
来	院外処方枚数		30,256	30,221	30,041	31,800	33,484
			( 124)	( 124)	( 124)	( 130)	( 138)
入 院	処方枚数		238,782	240,727	279,531	254,452	263,968
			( 654)	( 660)	( 766)	( 697)	( 723)
	麻薬内外薬処方枚数		6,451	6,810	6,203	4,879	4,510
			( 18)	( 19)	( 17)	( 13)	( 12)
麻薬注射薬処方枚数		22,615	20,594	32,366	28,122	30,429	
		( 62)	( 56)	( 89)	( 77)	( 83)	
注射薬本数			1,647,127	1,684,700	1,687,651	1,459,862	1,562,736
			( 4,512)	( 4,616)	( 4,624)	( 3,999)	( 4,282)

注：（ ）は 1 日当りの数値

## (6) 栄養管理関係

## (ア) 提供食数（年度別）

種 別		年 度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
普通食	患者食		701,683	709,191	695,620	542,043	539,667
特別食							
その他（検食等）			3,541	3,831	3,964	5,845	7,338
調乳	食 数		37,530	38,877	36,711	32,448	29,765
	本 数		102,263	113,671	106,431	94,971	90,377

## (イ) 栄養指導件数（年度別）

種 別		年 度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
個 人	入 院		1,365	1,496	1,419	1,079	1,239
	外 来		1,714	2,420	2,696	2,597	2,717
合 計			3,079	3,916	4,115	3,676	3,956

## (ウ) NST 介入件数（年度別）

種 別		年 度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
介入のべ			5,525	6,803	7,700	10,317	11,227
回診			606	817	1,007	1,179	1,542

(7) 総合相談窓口、がん相談支援センター、患者・家族支援室の相談実績

(ア) 相談件数（年度別）

1. 相談内容別件数

		令和元年	令和2年	令和3年	
総 数		3,112	3,400	4,415	
総合相談窓口	医療福祉	経済的問題の解決・調整	706	1,069	1,657
		心理・社会的問題の解決・調整	131	170	387
		その他	15	30	52
		計	852	1,269	2,096
	虐待及び虐待防止支援	児童及び妊産婦	1,035	972	950
		障害者虐待	2	0	0
		高齢者虐待	0	1	9
		DV	20	3	1
		その他	3	3	0
		計	1,060	979	960
	HIV	経済的問題の解決・調整	57	149	187
		プライバシー	3	4	15
		心理・社会的問題の解決・調整	13	9	3
		退院支援	1	0	3
		受診・受療援助	1	1	0
		その他	1	8	5
	計	76	171	213	
	難病	難病医療提供に関すること	11	25	116
	がん相談支援センター	がん	診断・治療に関すること	157	128
受診・受療に関すること			50	34	49
療養場所			37	39	36
社会的・経済的問題			197	162	242
身体的な問題			116	82	37
精神的な問題			81	85	42
家族（遺族）の問題			91	56	43
患者会			21	13	5
その他			10	4	5
計			760	603	540
患者・家族支援室	苦情・疑義・争訟	説明・対応	207	193	258
		治療	53	52	45
		費用	18	19	33
		診療体制	11	20	26
		情報関係	18	23	75
		医療事故・過誤	23	31	30
		設備関係	2	2	6
		その他	21	13	17
		計	353	353	490

※相談記録データベースにより、相談記録を作成した件数

2. 簡易な相談等件数

区 分	令和元年	令和2年	令和3年
がんに関する簡易な相談	52	54	59
簡易な相談	2,886	2,494	2,557
窓口における書類処理等	908	828	673
合 計	3,846	3,376	3,289

※簡易な相談等とは、相談記録を作成するまでもない相談や問合せ

3. 相談総件数

	令和元年	令和2年	令和3年
相談総件数	6,958	6,776	7,704

(イ) 相談件数内訳（令和3年度）

1. 診療科別

診療科	がん	医療福祉	虐待	HIV	苦情等	計
循環器内科 腎臓内科	9	608	7	0	47	671
呼吸器・アレルギー・血液内科	80	81	4	0	21	186
消化器・代謝内科	36	117	3	0	31	187
感染制御内科	0	23	1	210	7	241
脳神経内科	0	262	1	1	21	285
消化器外科・小児外科	100	30	1	0	6	137
脳神経外科	19	95	9	0	11	134
心臓血管外科 呼吸器外科	3	128	2	1	8	142
整形外科	1	68	1	0	16	86
歯科口腔外科	22	11	1	0	10	44
産婦人科	34	12	588	0	63	697
眼科	1	12	0	0	14	27
小児科	1	151	105	0	15	272
精神科	5	58	121	0	48	232
皮膚科	5	51	1	0	12	69
泌尿器科	35	125	2	0	11	173
耳鼻咽喉・頭頸部外科	19	16	1	0	7	43
放射線・核医学科	1	1	0	0	4	6
放射線治療科	3	1	0	0	2	6
麻酔科	0	4	0	0	9	13
救急科	0	101	16	0	8	125
総合診療科	1	75	0	0	4	80
形成外科	1	3	0	0	7	11
新生児外来	0	3	28	0	1	32
緩和ケア外来	11	2	0	0	1	14
総合周産期母子医療センター 新生児集中治療部門	0	8	32	0	32	72
リウマチ外来	0	17	0	0	0	17
乳腺センター	64	1	0	0	7	72
糖尿病・内分泌内科	2	44	3	0	18	67
不明・分類対象外*	87	104	33	1	49	274
合計	540	2,212	960	213	490	4,415

\*他施設からの相談を含む

2. 年齢別

19才以下	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代	80才以上	分類対象外	合計
479	442	597	546	572	516	676	391	196	4,415

3. 相談者別

本人	本人と家族	本人と友人	家族	友人・知人	パートナー	医師	看護師	保健師
1,685	103	3	857	6	7	262	138	225
助産師	相談員	行政職員	事務	その他	合計			
247	60	407	100	315	4,415			

4. 相談形態別

対面	電話	その他	合計
2,406	1,784	225	4,415

### 3. 診療収入関係

#### (1) 診療収入額（年度別）

	外 来			入 院			計		
	診療収入 (円)	患者数 (人)	一人平均 (円/人)	診療収入 (円)	患者数 (人)	一人平均 (円/人)	診療収入 (円)	患者数 (人)	
平成29	一般	15,915,235,910	556,740	28,586	21,532,152,773	294,569	73,097	37,447,388,683	851,309
	救急	17,374,522	1,417	12,261	1,702,629,050	14,006	121,564	1,720,003,572	15,423
平成30	一般	17,546,933,474	572,024	30,675	22,392,440,712	297,306	75,318	39,939,374,186	869,330
	救急	19,948,422	1,535	12,996	1,732,303,776	14,212	121,890	1,752,252,198	15,747
令和元	一般	19,643,486,324	573,730	34,238	22,134,529,701	293,767	75,347	41,778,016,025	867,497
	救急	18,392,563	1,357	13,554	1,712,337,002	14,634	117,011	1,730,729,565	15,991
令和2	一般	19,323,708,739	511,584	37,772	18,586,453,437	226,921	81,907	37,910,162,176	738,505
	救急	16,113,837	1,264	12,748	1,512,337,519	11,745	128,764	1,528,451,356	13,009
令和3	一般	20,797,626,705	544,682	38,183	19,244,800,075	222,730	86,404	40,042,426,780	767,412
	救急	22,399,717	1,579	14,186	1,741,214,575	12,908	134,894	1,763,614,292	14,487

注：室料差額は入院に含む。

#### (2) 特別療養環境室（個室等）室料差額収益額（年度別）

種 別	病 棟	病床数 (令和4年4月現在)	料 金 (1日につき)	年度別収益（円）			
				令和元	令和2	令和3	
1人 部屋	特S室	C病棟	3床	32,150円	14,833,750	5,240,450	3,632,950
	特A室	B病棟 E棟産科病棟	22床	22,620円	131,603,870	84,352,590	68,674,320
	特B室	E棟婦人科病棟	5床	15,910円	27,636,550	20,587,540	32,698,790
	S室	A・B・C病棟 E棟小児センター	121床	10,680円	332,437,770	283,521,960	262,183,320
	A室	D病棟	1床	7,850円	28,157,850	620,150	973,400
	B室	D病棟	31床	5,130円	40,271,400	32,606,280	28,656,180
2人 部屋	C室	D病棟	4床	1,980円	1,061,880	704,880	700,920
計					576,003,070	427,633,850	397,519,880



#### 4. 附属病院の主な医療機器設置状況

R4.3.31 現在

備 品 名	設 置 場 所	数 量	取 得 年 月 日
(取得価格 1 億円以上)			
放射線画像情報システム	(中央) 中央放射線部	1 式	R3.10.29
脳機能計測 3T 超電導磁気共鳴撮影装置 (31 番撮影室)	精神医療センター	1 式	R2.1.6
AG-CT 装置 (体幹部・四肢血管撮影装置)	(中央) 中央放射線部	1 式	H30.10.10
心臓血管撮影装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H29.4.26
心臓血管撮影装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H29.3.31
洗浄器・滅菌器	(中央) 中央材料室	1 式	H28.9.30
手術映像記録・配信システム	(中央) 中央手術部	1 式	H28.8.31
高精度放射線治療システム	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.9.27
ハイブリッド手術室血管撮影装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
PET-CT 装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
RALS 位置決め透視装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
放射線治療部門システム	(中央) 中央放射線部	1 式	H29.1.31
頭部血管撮影装置 (23 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.3.31
全身用磁気共鳴診断装置 (18 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.3.18
全身用磁気共鳴診断装置 (19 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H27.11.30
da Vinci Xi サージカルシステム	(中央) 中央手術部	1 式	H27.12.20
医用画像情報システム	経営企画課	1 式	H26.9.29
放射線治療装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H25.11.28
放射線治療装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H25.9.20
全身用磁気共鳴断層撮影装置 (30 番撮影室)	病院本館 (旧救急棟) 1 階	1 式	H21.3.31
医用画像情報システム	(中央) 中央放射線部	1 式	H21.3.31
全身用磁気共鳴断層撮影装置 (20 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H19.7.27
(取得価格 5 千万円以上)			
CT 装置 (17 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	R2.1.6
脳神経外科用顕微鏡装置	(中央) 中央手術部	1 式	H30.12.13
注射薬自動払出システム	薬剤部	1 式	H30.1.18
重症病棟支援システム	NICU	1 式	H29.3.31
受付・採血採尿業務支援システム	(中央) 中央臨床検査部	1 式	H28.8.31
SPECT-CT 装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
核医学検査装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
手術台	(中央) 中央手術部	11	H28.8.29
人工心肺装置	(中央) 中央手術部	1 式	H28.9.30
生体情報モニタシステム	(中央) 中央手術部	16	H28.8.31
生体情報モニタシステム	(中央) 高度救命救急センター	1 式	H28.3.24
全身用 X 線 CT 診断装置	(病) 救急科	1	H26.3.31
放射線治療マネジメントシステム	附属病院関係	1 式	H26.1.29
生化学自動分析システム	附属病院関係	1 式	H25.11.29
バイオハザード対策ユニット	附属病院関係	1 式	H25.11.29
検体搬送システム	附属病院関係	1 式	H25.10.31
CT 装置	附属病院関係	1 式	H25.9.30
生体情報患者集中監視モニタリングシステム	附属病院関係	1 式	H25.3.29
トータルケアベッドリース契約	(中央) 集中治療部	1 式	H24.12.1
泌尿器専用 X 線 TV 装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H24.2.29
CT 装置 (16 番撮影装置)	(中央) 中央放射線部	1 式	H23.3.31
モニタリングシステム (情報管理システム)	E 病棟 4 階	1	H19.3.26

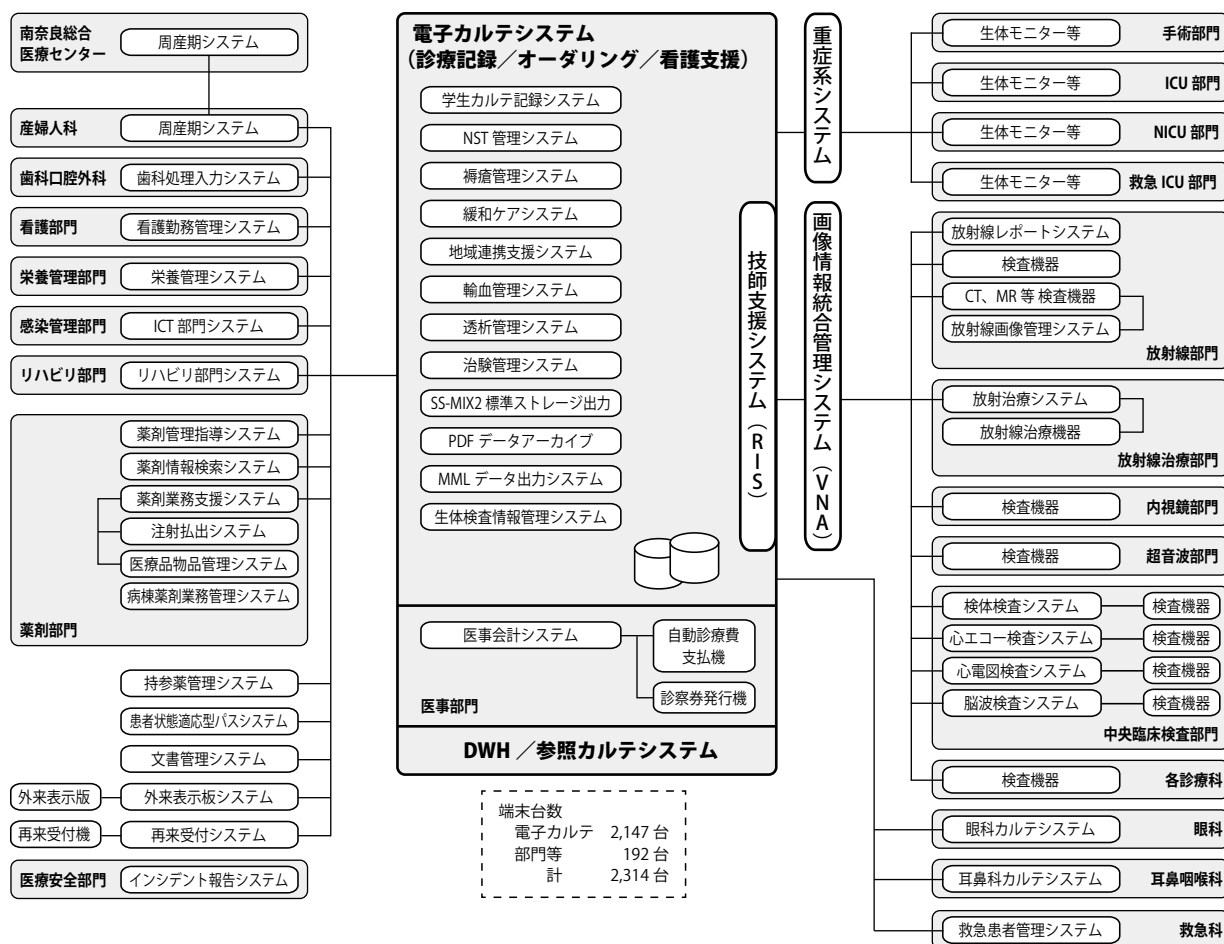
## 5. 総合医療情報システム（電子カルテシステム）

### 沿革

昭和 60 年 2 月	大型コンピュータにより電算業務運用開始
平成 11 年 4 月	オーダーリングシステム（外来系システム）運用開始
平成 13 年 4 月	オーダーリングシステム（入院系システム）運用開始
平成 18 年 12 月	総合医療情報システム運用開始 （富士通：EG-MAIN-EX WebEdition）
平成 19 年 4 月	電子カルテ運用開始
平成 25 年 2 月	総合医療情報システムのハードウェア更新 （サーバ、クライアント、ネットワーク等）
平成 28 年 4 月	南奈良総合医療センターと周産期システムの接続
令和 元年 5 月	総合医療情報システム更新（富士通：EG-MAIN-GX） 画像情報統合管理システム（VNA）運用開始 患者状態適応型パスシステム（PCAPS）運用開始

### 総合医療情報システム全体構成図

R4. 5. 1 現在



# 大学 総合案内

R4.5.1 現在

		工学部棟		工学部センター		附属図書館		看護学棟		看護学棟		看護学棟 (大学院)		総合研究棟	
		大学本部棟		工学部棟		附属図書館		看護学棟		看護学棟		看護学棟 (大学院)		総合研究棟	
3階	<p>財務企画課 調整官室 大和通方医学 兼学センター 大会議室 大会議室 小会議室 更衣室</p>	<p>物理学教室 物理実習室</p>	<p>物理学教室 生物実習室 数学実習室 知能教室 教養第4講義室</p>	<p>視聴覚室 視聴覚PCルーム 自習室 ブラウジングルーム</p>	<p>学生自習室 国試対策室</p>	<p>看護実践・ キャリア支援センター 研修室1 職員組合事務室 IRBセニタリウム リハビリ技局 放射線腫瘍医学 臨床研究センター 研究室 奈良県機器バンク</p>	<p>看聴実践・ キャリア支援センター 研修室1 職員組合事務室 IRBセニタリウム リハビリ技局 放射線腫瘍医学 臨床研究センター 研究室 奈良県機器バンク</p>	<p>病原体・感染制御医学 組織実習室 養生・再生医学 免疫学 RI教官室 剖検資料センター 女性研究者・医師支援センター 小講義室 大学共同研究施設</p>	<p>公衆衛生学 疫学・予防医学 微生物感染症学 未来基礎医学 微生物感染症学・免疫学・ 公衆衛生学・ 疫学・予防医学実習室 県民健康増進支援センター 産学官連携推進センター 国際交流センター 研究推進課 MBT研究所 大学共同研究施設 研究方向上支援センター 医学研究支援センター</p>	<p>生理学第一 生理学第二 薬理学 生化学 生理・薬理実習室 標本室 セミナー室 大学共同研究施設 ViChinx 骨軟部腫瘍制御・機能再生医学</p>	<p>解剖学第一 生化学 分子病理学 生化学実習室 動物施設管理者室 大学共同研究施設 血栓止血先端医学 血栓止血研究センター 血栓止血医薬生化学</p>	<p>第1講義室 (第1) 研究室</p>	<p>第1講義室 (第1) 研究室</p>	<p>RI実験施設</p>	<p>RI実験施設 DNA実験施設</p>
2階	<p>理事長・学長室 副理事長室 理事室 医学部長室 法人企画部長室 監事室 総務広報課 人事課 危機管理室 危機管理室 電話交換室</p>	<p>化学教室 化学実習室 臨床英語教室 哲学教室 保健体育教室 教養第3講義室</p>	<p>受付 整理室 閲覧室 閲覧個室</p>	<p>スキルスラボ 人事課圖書倉庫用 推進係 更衣室</p>	<p>特別会議室1 特別会議室2 会議室3 研修室1 研修室2</p>	<p>スキルスラボ スキルスラボ管理室 更衣室</p>	<p>成人・老生・在宅 看護学実習室 家庭看護実習室 助産学実習室 講義室 (第2～4) 非常勤講師控室</p>	<p>成人・老生・在宅 看護学実習室 家庭看護実習室 助産学実習室 講義室 (第2～4) 非常勤講師控室</p>	<p>看護学第一 看護学第二 看護学第三 看護学第四 看護学第五 看護学第六 看護学第七 看護学第八 看護学第九 看護学第十 看護学第十一 看護学第十二 看護学第十三 看護学第十四 看護学第十五 看護学第十六 看護学第十七 看護学第十八 看護学第十九 看護学第二十 看護学第二十一 看護学第二十二 看護学第二十三 看護学第二十四 看護学第二十五 看護学第二十六 看護学第二十七 看護学第二十八 看護学第二十九 看護学第三十 看護学第三十一 看護学第三十二 看護学第三十三 看護学第三十四 看護学第三十五 看護学第三十六 看護学第三十七 看護学第三十八 看護学第三十九 看護学第四十 看護学第四十一 看護学第四十二 看護学第四十三 看護学第四十四 看護学第四十五 看護学第四十六 看護学第四十七 看護学第四十八 看護学第四十九 看護学第五十 看護学第五十一 看護学第五十二 看護学第五十三 看護学第五十四 看護学第五十五 看護学第五十六 看護学第五十七 看護学第五十八 看護学第五十九 看護学第六十 看護学第六十一 看護学第六十二 看護学第六十三 看護学第六十四 看護学第六十五 看護学第六十六 看護学第六十七 看護学第六十八 看護学第六十九 看護学第七十 看護学第七十一 看護学第七十二 看護学第七十三 看護学第七十四 看護学第七十五 看護学第七十六 看護学第七十七 看護学第七十八 看護学第七十九 看護学第八十 看護学第八十一 看護学第八十二 看護学第八十三 看護学第八十四 看護学第八十五 看護学第八十六 看護学第八十七 看護学第八十八 看護学第八十九 看護学第九十 看護学第九十一 看護学第九十二 看護学第九十三 看護学第九十四 看護学第九十五 看護学第九十六 看護学第九十七 看護学第九十八 看護学第九十九 看護学第一百</p>	<p>成人・老生・在宅 看護学実習室 家庭看護実習室 助産学実習室 講義室 (第2～4) 非常勤講師控室</p>	<p>成人・老生・在宅 看護学実習室 家庭看護実習室 助産学実習室 講義室 (第2～4) 非常勤講師控室</p>	<p>動物実験施設</p>	<p>第2階</p>	<p>動物実験施設</p>	
1階	<p>教育支援課 学生相談室 教育開発センター 危機管理センター 非常勤講師控室 細田研究室 光学実習室 学生ホール 更衣室</p>	<p>教養第1講義室 教養第2講義室 非常勤講師控室 細胞培養室 光学実習室 学生ホール</p>	<p>書庫 (1階) 書庫 (中1階)</p>	<p>健康管理センター 感染症センター 研究室 監査室 臨床病院内分泌内科学</p>	<p>特別会議室1 特別会議室2 会議室3 研修室1 研修室2</p>	<p>スキルスラボ スキルスラボ管理室 更衣室</p>	<p>解剖学第二 法医学 法医解剖室 系統解剖実験室 大学共同研究施設 基礎第1講義室 (第1～3) 基礎第2講義室 学生ホール</p>	<p>解剖学第二 法医学 法医解剖室 系統解剖実験室 大学共同研究施設 基礎第1講義室 (第1～3) 基礎第2講義室 学生ホール</p>	<p>動物実験施設</p>	<p>動物実験施設</p>					
6階															
5階															
4階															
3階															
2階															
1階															
地階															

# 病院 総合案内

R4.5.1 現在

		B 病棟		C 病棟		E 病棟	
8階		A. 病棟・旧救急棟・管理棟・医局棟		(病棟) 呼吸器・アレルギー・血液内科 (中央) 感染症センター	(病棟) 呼吸器・アレルギー・血液内科 (中央) 感染症センター		
7階	医局・研究室	(病棟) 消化器・代謝内科	(病棟) 循環器内科 腎臓内科	(病棟) 小児センター	(病棟) 小児センター		
6階	医局・研究室	(病棟) 消化器外科・小児外科・乳腺外科	(病棟) 心臓血管外科 呼吸器外科、放射線・核医学科	(病棟) 婦人科、メダイカルフーズセンター	(病棟) 婦人科、メダイカルフーズセンター		
5階	(中央) 医療安全推進室、感染症管理室、感染症センター、めまいセンター、総合画像診断センター、先天性心疾患センター 教授室、医局、研究室	(病棟) 脳神経外科	(病棟) 脳神経内科、歯科口腔外科、麻酔科	(中央) 総合周産期母子医療センター 母体・胎児集中治療室 (MEICU) (病棟) 産科	(中央) 総合周産期母子医療センター 母体・胎児集中治療室 (MEICU) (病棟) 産科		
4階	(病棟) 眼科、皮膚科、形成外科、総合診療科、救急科	(病棟) 整形外科	(病棟) 泌尿器科 (中央) 透析部	(中央) 総合周産期母子医療センター 新生児集中治療室 (NICU・GCU)	(中央) 総合周産期母子医療センター 新生児集中治療室 (NICU・GCU)		
3階	(中央) 中央手術部 (管理) 医療パービス課 教授室、医局、研究室、移植細胞培養センター、臨床研究センター	(中央) 病院薬理部、医局、病理診断科 (外来) 周術期管理センター	(中央) 集中治療部 中央手術部	(中央) 中央手術部	(中央) 中央手術部		3階
2階	(外来) 循環器内科・腎臓内科、呼吸器・アレルギー・血液内科、感染制御内科、呼吸器内科、消化器・代謝内科、神経内科、産婦人科、小児科、皮膚科、形成外科、総合診療科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、めまいセンター、新生児・発達、遺伝カウンスリング、糖尿病・内分泌内科 (中央) 輸血部、中央臨床検査部、薬剤部 (調剤室) (管理) 看護部長室、看護部管理室、看護部目的室、病院職務支援室、医療パービス課、看護部管理室、看護部目的室、病院経営対策室 教授室、医局	(中央) 中央臨床検査部、医局 (管理) 食堂	(中央) 中央内視鏡・超音波部、医療情報部、情報推進室、経営企画課、情報推進室、理容室、生命倫理監理室、弘済会、ER 当直室、病院経営部長室	(病棟) 精神科	(中央) 中央臨床検査部 リハビリテーション科	臨床研修センター 臨床研修センター 地域医療学 県立医大臨床研修センター 県立医大臨床研修センター	2階
1階	(外来) 消化器外科・小児外科・乳腺外科、脳神経外科、心臓血管外科・呼吸器外科、先天性心疾患センター、整形外科、泌尿器科、産婦人科、形成外科、形成外科、リンパ浮腫、リウマチセンター、乳腺外科、ペインセンター、セカンドオピニオン (中央) 緩和ケア (調剤室)、中央放射線部、地域医療連携室、入院支援センター (管理) 病院玄関、総合案内窓口、入院受付窓口、卸相談室、守衛室 (防災センター)、救急受付窓口、医療相談室 (総合相談窓口)、コーヒージャパン、コンビニエンスストア、患者・家族支援室 教授室、医局、総合画像センター	(外来) 救急処置室、外来点滴室 (中央) 中央放射線部 高度救命救急センター	(中央) 中央放射線部 高度救命救急センター IVR センター	(外来) 精神科 (管理) 南玄関 教授室、医局、研究室	(外来) 腫瘍内科、外来化学療法室、緩和ケアセンター、アイトレープ検査室 がん細胞支援センター患者サロン(なごみ) (管理) コーヒージャパン	臨床研修センター 救急ワークスペース	1階
地階	技局	(中央) 中央材料室 医療技術センター (管理) 供給センター	(中央) 栄養管理部	(中央) 放射線治療室 放射線治療科	(中央) 放射線治療室 放射線治療科		





---

---

令和4年7月発行

公立大学法人

奈良県立医科大学

〒634-8521 奈良県橿原市四条町840番地

電話 (代)0744-22-3051

FAX 0744-25-7657

<https://www.naramed-u.ac.jp>

編集 法人企画部 総務広報課

---

---